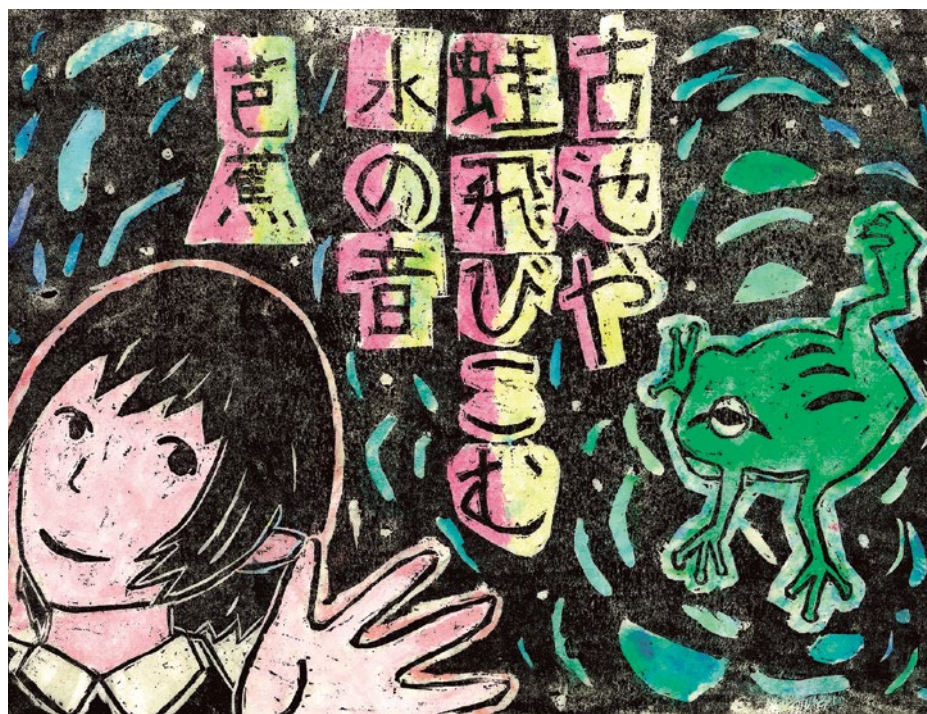


金光学園

やっなみ

2016. 7



245号



高校入学式



中学入学式



中学ゆずり葉の会

平成27年度の「中学ゆずり葉の会」は、例年通り中3から中1・中2への生徒会活動の引継ぎの場として、義務教育修了式後に、ほつま体育館で行われました。

1年生は、3年生も巻き込んだの楽しい寸劇と、きれいな歌声で3年生への感謝の思いを伝えました。

次に2年生は、沖繩風のポップな曲に合わせた楽しいダンスで、会場を盛り上げました。さらに「卒業の唄」の合唱にあわせたハンドクラップのさわやかなパフォーマンスで3年生の門出を祝福しました。

3年生は、中学最後の行事です。短い準備期間の中で、実行委員が中心となり、企画・練習を重ね、自分たちが培った3年間の自主活動・文化活動の総まとめを一致団結して行いました。出し物のテーマは「PRIDE」足跡に咲く花」。深く大地に根をはって、誇り高く、いのちいっぱい自分の花を咲かせたい。そんな未来への決意が、その場にいるすべての人に届くように心を一つに合わせて出し物を行いました。

和太鼓からはじまった全員による集団演舞は、力強く、躍動感あふれるパフォーマンスで観客を惹きつけました。合唱曲は、「友へ旅立ちの時」と「ありがとう」。仲間と過ごした3年間の思い出を歌詞に重ねて、いつまでも変わらぬ友情を誓い、言葉の一つひとつを大切に歌いました。また、未来への希望や決意を表現した花言葉の呼びかけと、ライトをつかった光の

パフォーマンスから、今回の出し物のテーマがはつきりと感じられました。その後の手紙の朗読では、家族や先生に今まで伝えられなかった感謝の思いを伝えました。有志による美しいコーラスや楽しいパフォーマンスも出し物全体を盛り上げました。

中学3年間の集大成と新しい門出にふさわしい、素晴らしい出し物となり、3年生の思いはしっかりと後輩たちに引き継がれました。



皆勤賞

今春、金光学園を卒業し、大学生活を送っている息子がいます。中・高6年間の登校時に家の近くの土手まで上がり、ほぼ毎日息子の姿が見えなくなるまで見送りました。中1の頃、慣れない大きい自転車を手を上がるのが大変で、荷物が重くふらふらしたり、止まったりする日々。その都度、後ろから支え、一緒に上がりました。息子は橋のところで私を振り返り、初めの頃は一旦止まって一生懸命手を振っていました。次第に自転車をこぎながら変わわり、手を振るから手を挙げて合図へと変化していきました。朝から喧嘩で言い合いになると、こちらも見ずにスピードを上げ自転車をこいでいく後ろ姿に、息子の成長を感じ、複雑な気持ちになったことも度々ありました。高3になってから、思うように成績が伸びない、塾で疲れて朝がしんどくなると、「皆勤賞なんかどうでもいい、休みたい」という言葉が何度となく出てきました。それまで、「学校を休みたい」と言ったことがなかった息子を、ただただ見守ることしかできませんでした。本当は皆勤賞を一番意識していたのは息子だったと思います。どうしてもそう言いたくなるほど精神的・肉体的に追い詰められていました。

3月1日、卒業式後の祝宴で、息子を含めて3名の写真を「6年間皆勤賞」としてスライドで映し出していただきました。その中の息子の顔が誇らしげでとても輝いて見え、6年間の頑張りや報われた瞬間でもありました。生まれて間もなく高熱で入院し、家族が3人となり初めての新年を病院で迎えました。成長とともに不安や心配が尽きることがありませんでした。卒業式前日に学園で献血の機会をいただきました。生まれて初めての献血で、人様のお役に立てることが出来るのか心配していました。家に帰って来るなり、「全然平気だった」と自慢げに献血カードを見せてくれました。「次に献血出来るようになったらまたやりたい」と言う息子の姿が、とても頼もしく見えました。このたび、6年間を振り返り、無事に学園へ通うことができたのは、熱心にご指導してくださった先生方、6年間という期間だったからこそ得ることができた友達、仲間の存在がとても大きかったと感じています。この金光学園に通わせていただいたことに心から感謝いたしております。

この春から新天地で頑張っている息子。学園で得た力で、大学生活4年間輝いてほしいと切に願っています。

今、中2の息子は中1で早々に体調を崩してしまい、6年間皆勤賞は狙えなくなりましたが、「学校休みたい」と言うことはなく、充実した学園生活を謳歌しているようです。その息子が「6年間、学園に通えてよかった」と誇らしげに言ってくれたらいいなと今から密かに願っている日々です。自転車通学の息子の姿を見えなくなるまで見守る日々は続いています。その後姿にエールをおくりながら、「今日も一日頑張ろう！」。

(金光学園やつなみ保護者会副会長)

加賀 直美

目次

巻頭言	1
金光学園 中学・高等学校 入学式道(15)	2
学園生の故郷	12
会報	10
活躍する卒業生	16
古沢 幹子	15
自画像	18
やつなみ保護者会のページ	20
会長就任挨拶	22
友愛セールご協力のお願い	23
学園随想	22
活躍おめでとう	24
メタスコイア	26
イギリス短期語学研修	29
春川女子高等学校交流	30
高1入校時合宿	32
中学生になって	40
新入生歓迎会	42
中1入校時合宿	44
中3沖繩修学旅行	46
中2山の学習	44
探究授業報告	51
高3人權講演	56
ある日のホームルーム	58
芸術鑑賞会	60
やつなみ保護者会地区会	62
オープンスクール	65
法人決算の概要	66
保護者会決算・予算	68
生徒会活動	72
平成28年度大学入試結果	82
学園だより	83
教室の窓から	86
編集後記	

金光学園 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から179名が、高校は午後1時30分から210名(留学生1名含む)が、来賓・保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

校長式辞の後、中学は安原隆一君が、高校は加藤優一君がそれぞれ「願いの言葉」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶、来賓を代表して中学は金光教務総長 岡成敏正氏の代理、理教会部長 山本正三氏、高校は金光教務総長 岡成敏正氏の祝辞があり、次に、保護者を代表して中学は三原研一氏、高校は仙石正恵氏の挨拶があった。終わりに、中学は生徒会事務局と音楽部による学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

式辞

校長 金光 道晴



昨日の雨で満開だった桜も、散ってしまっているのではないかと思っておりますが、グラウンド東の桜も金光駅周辺の桜も、皆さんの今日の入学を祝ってくれているかのように、なお見事に咲き誇っています。今日の春のさわやかなお日和の中で、新入生の皆さんをお迎えし、入学式を麗しく挙行できることはたいへん有り難く

嬉しいことでもあります。

ご来賓の皆様には公私ともご多用のところ、とりわけ金光教関係の皆様には、ご大祭の期間中に、また町内小学校の先生方、そしてやつなみ保護者会の皆様には、年度初めの大変お忙しい中を、お練り合わせ、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

保護者の皆様には本日は誠にありがとうございます。大切なお子様を、地元の中学校へ進学してもよいところを、この金光学園へ入学させていただきましたことを、心から御礼申し上げます。

さて179名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはこれから学園生活をスタートされるわけですが、今日からの学園生活では、今までの小学校の時とは、随分違った面があります。例えば通学です。学校の近くから歩いて通学

する人もいますが、多くの人は電車やバスや自転車を使った通学で、最初は大変だと思えます。学校の規模も違うと思います。その広さもさることながら、生徒数も中高合わせると1,200名以上です。先生の数も130名以上で、1,400名をはるかに超える生徒や先生がいます。また、中学校では部活動がありますが、学園では沢山の文化部や運動部が活動しています。入部は学校生活に慣れての5月になってからになります。もう既にどの部に入るかを決め、楽しみにしている人もいるかもしれません。

また、本校は国際化教育を積極的に進



めていますが、昨年度1年間で、外国へ行った人、それも現地の家庭にホームステイした生徒は250名を超え、反対に海外から学園にやってきた外国人の生徒や先生は150名に及んでおり、きつと皆さんも、これから外国の人と接したり、交流したりする機会が度々できていると思います。

行事もさかんです。今月でいえば、来週予定されている生徒会主催の新入生歓迎会では、中2や中3の生徒が、新入生の皆さんを歓迎し、学校紹介や部活動紹介などもあります。

2週間後には1泊2日の入校時合宿も計画されています。慣れるまではなかなか大変かもしれませんが、楽しいことや頑張れることが一杯あります。

皆さんには少しでも早く学校に慣れ、新しい友達をつくり、しっかりと勉強や部活動を行い素晴らしい学園生活を送って欲しいと思います。もちろん皆さん自身が頑張っていかなければならないことばかりですが、是非積極的に取り組んでいってください。そしてこの学園での中学・高校の6年間で大きく成長していったのだと思います。



さて、この入学式後のホームルームで、皆さんには金光教の教祖様のみ教えが書かれている日めくりを記念としてお渡ししますが、明日、9日の日は、「人の身が大事か わが身が大事か 人もわが身もみな人」という言葉が書かれてい

ます。

私がこの学園の生徒であった時の五代校長佐藤一徳先生は、この字を「自分で、長く幅の広い白い布に、毎年大きく書かれ、当時2階建ての木造校舎の軒下から垂らし、いつもみんなが見て大切にす



ように掲げられておられました。

今日の8日の日の日めぐりには、「食物はみな人の命のために天地の神のつくりあたえ給うものぞ」ということが書いてあります。この言葉には「何を飲むにも食べるにも有難くいただく心を忘れないよ」ということがさらに続き、食前訓といって金光学園では食事の前に唱えることばでもあります。皆さんも今後クラスで一緒にお弁当を食べる時や、入校時合宿の食事の時には唱えることになり

ます。毎日の生活の中では、あたりまえでもなくとも思っている食事がいただけることや水が飲めることにも感謝の気持ちを忘れてはいけなさと教えられています。

「人の身もわが身もみな同じ尊い人間で、平等でかけがえないもの」であること、そして「食べ物には人の命の源であり、命を育んでいるもので、神様から与えられた大切なもの」であることが示されています。

そのような精神が元になってきたのが金光学園の合言葉「人をたいせつに自分をたいせつに 物をたいせつに」な



のであります。

皆さんは入学前から何度か、この合言葉を見たり聞いたりしてきたと思います。学園の全ての教室にもこれと同じものが掲げられていますし、正面玄関前の

石碑にも刻まれています。

合言葉とはどんなことばをいうのでしょうか？合言葉というのは仲間が行動の目標や目当てとするモットーで、みんなで努力しあっているという願いの言葉のことです。したがって、生徒の皆さんにだけ、守ってもらおうというものではなく、皆さんも私たち教職員も、保護者の方も、そして卒業生にいたるまで、全ての金光学園に関係する人達が大切にしているもので、これから卒業するまでには何回も耳にすることになります。皆さんも改めてしっかりと心に刻んで、この合言葉を実践し、日々の生活に生かせるよう努力していただきたいと願っています。

終わりに、中学の昇降口の前の石碑に刻まれている「学 徳 体」という四代校長の隅田武彦先生の言葉についてお話を終えたいと思います。これは金光学園の生徒として「(学) 一生懸命勉強をし、(徳) 人のため世のために役立つ立派な人間になり、(体) それをしつかり支える健康な体をつくっていったきたい」という願いが詰まった言葉であります。

これから皆さんは、この石碑を毎日見ながら学園生活を送っていくのですが、友達と仲良くして、是非「学 徳 体」バランスの取れた立派な金光学園の生徒として成長していただこうお祈りして式辞といたします。もう一度「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」

法人理事長挨拶

佐藤 乃武雄



春雨と共に春爛漫のご時節をお迎えし、日本列島桜前線はいち早く到来し、入学式を祝賀するように、鮮やかに満開となりました。まもなく、新芽が吹き出し、新緑となり、新しい生命が蘇る絶好のご時節を迎えます。

このような麗しい天地のお恵みの中に、この度、見事に金光学園中学校入学試験に合格されました生徒の皆様方には、まことにおめでとうございませう。保護者の皆様方と共に、心よりお慶びを申し上げます。また、ご来賓の皆様方には、常より温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先の四代金光様は、「ちちははも こどもとともに うまれたり そだたねばならぬ 子もちはははも」と仰せになっておられます。

ただ今からは、親も子も新鮮に、中学1年生として入学し、共に喜び合い、励まし合い、祈り合う間柄として出発し、中高一貫、学園教育が実りあるものとなり、災難事故や交通事故に遭遇することのないように、また、家庭生活が明るく平穏無事健やかに堅持され、大願とある大学進学への念願が実現されますよう、切にご祈念申し上げます。

ご来賓の皆様方、保護者の皆様方には、益々のご健勝とご繁栄を祈りあげて、入学式のご挨拶とさせていただきます。

私達の願い

中学新入生代表 安原 隆一

春のあたたかさに、桜の花も美しく咲きほころぶ今日、私達179名は、あこがれの金光学園に、入学することができました。私達新入生のためにこのような立派な入学式を行ってください、ありがとうございます。伝統ある金光学園で、学べることを、大変うれしく思っています。

新たな友達との出会い、学校生活に希望と期待で胸がいっぱいです。

中学生としての自覚を持ち、金光学園の合言葉「人をたいせつに」自分をたいせつに 物をたいせつに」をいつも心にとめ、だれにでも優しく、思いやりのある誠実な人に成長していきたいと思いません。

これから、私達は勉強だけでなく、学校行事や部活動にも一生懸命取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが校長先生をはじめ、先生方、先輩のみなさんどうぞご指導よろしく願います。

中1保護者代表挨拶

三原 研一



僭越ではございますが、新入生保護者を代表致しまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、このような盛大な入学式を執り行なって頂き、また先ほどは、心のこもったお言葉まで頂きまして、子供たちはかりではなく我々保護者一同も、大変感激致しております。大変お忙しい中ご出席頂きましたご来賓の皆さまはじめ、理事長先生、校長先生はじめ諸先生方に、厚くお礼を申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの瞳からは、希望に満ち溢れている様子がうかがわれ、保護者の一人として大変うれしく思います。しかし、中には、少々不安をいだいて

を伴わない強さだけでは、どこの国の独裁者の様になってしまいます。逆に、強さを伴わない優しさだけでは、「人をたいせつに」自分をたいせつに 物をたいせつに」と思えたとしても、実際にそ

れを施すことは出来ません。ぜひ、皆さんには、これからの学園生活を通して、強さと優しさを併せ持った人に成長していつて頂きたいと思えます。一先輩として大いに期待しております。頑張ってください。

次に、保護者の皆さま。本日は、誠にありがとうございます。今まで手塩にかけて育ててくれたお子様達の晴れやかな姿を目のあたりにされ、きっと感慨もひとしおではないかと思われれます。今日から子供たちは、成長段階の次のステージに進んでまいります。これから、時には、我々保護者同士、衝突することも、議論しあうこともあるかもしれません。ただ、今日の感動を決して忘れることなく、子供たちの成長をしっかりと見守って参りましょう。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、金光校長先生、佐藤副校長先生始め、諸先生方、今日から、我々の宝物をこの学園にお預けいたします。まだまだ今は、か弱い光しか放つことの出来ない原石たちですが、きっと将来、それぞれが大きく強い光を放ち、この学園にとっても宝物となってくれるであろう原

ている方もおられるのではないのでしょうか？かくいう私も、今を去ること、30数年前、皆さんと同じように、この場所に座っていました。当時の私は、両親の仕事の関係で、中学から親元を離れ祖母の元から、この学園に通わせていただくことになりました。入学式当時、周りには、全く知った顔もなく、ものすごく不安な気持ちでこの場に座っていたことを記憶しています。そんな私でも、学園の合言葉である「人をたいせつに」自分をたいせつに 物をたいせつに」の精神の下、成長させて頂き、今この場所に立たせていただくことができています。ですから、皆さんも、きっと大丈夫です。安心して、これからの学園生活を楽しんで下さい。

私事ですが、私は、学園を卒業後、医学の道を志し、今までそれなりに色々な経験をしてきました。うれしいことばかりではなく、正直辛い思いもたくさん経験しました。その中で、医師としてだけではなく、社会人として生きていく上で、大事なことがあることを再認識致しました。皆さんは何だと思われれますか？それは、強さと優しさの両方を併せ持たなければならぬということです。優しさ



石たちです。これからのご指導のほど、どうぞどうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、私に今日このような機会を与えて頂きました、すべての方々に感謝を申し上げ、簡単ではございますが挨拶に代えさせて頂きます。有難うございました。

願いの言葉

高校新入生代表

加藤 優一

厳しい冬の寒さも過ぎ、春風が心地よく感じられる今日この頃、私たち新入生



209名と留学生1名、合わせて210名は、桜が満開に咲き誇る中、晴れて金光学園高等学校の入学式を迎えられたことに感謝いたします。

私たち新入生はしっかりと将来の夢に向かって仲間と共に、一生懸命努力し、何事にも積極的に取り組み、これから始まる高校生活を有意義なものにしていきたいと思っています。

私は、中学校3年間で「仲間の大切さ」を学びました。一人では越えられない高い壁も、仲間と助け合い、励まし合うことで乗り越えることが出来ました。辛い事が重なり、どん底に突き落とされた時も、立ち直ることが出来たのは、仲間が声を掛けてくれたからです。一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを心に刻み、これからより一層「絆」を深め、充実した3年間を過ごしたいと思います。

私たちは今、大変恵まれた中で生きています。一日一日を無駄にすることなく、感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、本日は私たち新入生のためにこのように盛大な入学式を

挙行していただきありがとうございます。校長先生をはじめ諸先生方、お父さん、お母さんには、これからも厳しく、温かく、私たちをご指導下さいますようお願い申し上げます。お願い申し上げます。

高1保護者代表挨拶

仙石 正恵



新入生の保護者を代表して一言ご挨拶させていただきます。

本日は子どもたちのためにこのような厳肅なる入学式を催して頂き誠にありがとうございます。

先程は校長先生、理事長先生はじめ来賓の皆様には温かいお言葉を頂きましてこと保護者一同心よりお礼申し上げます。

感じております。先生や友達やお世話になつていらっしゃる方々への感謝、物に宿る人の願いや思いへの感謝、今この時を迎えられたのは途切れることなくつながれた命



のりレーのおかげです。自分も人もないながい慈しみの年月を経て生きていることへの感謝、人生の様々な場面で気付きと力を与えてくれるこの合言葉を胸に一日一日を大切に過ごして下さい。

私たち保護者も今日、高校生の親としてのスタートを切りました。子どもたちを応援しバックアップすることはもちろん金光様の教えにありますように「ちははも こどもとともにうまれたり そだたねばならぬ 子どもちははも」の精神で子どもたちと共に歩み成長していきたいと思っております。

最後になりましたが、校長先生はじめ諸先生方にはこれからの3年間、親子共々ご指導賜りますようよろしくお願い申し上げます。私たち保護者も伝統が醸し出すのびやかな空気の中で子どもたちが澁刺と学園生活を送れるよう見守っていききたいと思います。

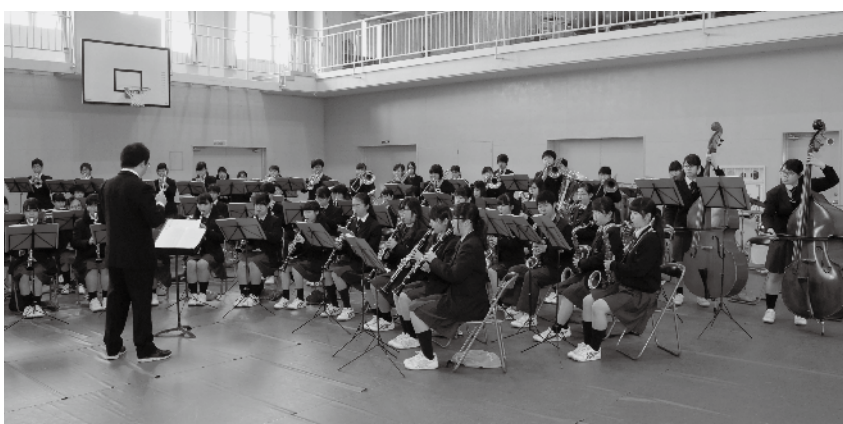
簡単ではございますが、これで挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

す。

今日から子どもたちの高校生活がスタート致しました。これからの3年間子どもたちは自分の将来を思い描き目標にむかって進んでいくことと思います。しかしながら、思い悩むこともあると思います。先生方におかれましては子どもたちが目標に向かって進んで行きますようにご指導頂きますこと心よりお願い申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。9年間の義務教育を終え高校生になった皆さんは自分の意志で自由に行動できる範囲が広がるのと同時にその行動には責任が伴います。このことは一人の人として自立し社会で生きていく準備でもあります。これからの3年間様々な経験を通して自分はどういう人になりたいのか考えてみてください。そして自分の行動や言葉が自分が願う人間像にかなうものか問いかけてみてください。

金光学園には「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という合言葉があります。シンプルな言葉ではありますが、唱えるたびに意味の深さを





道 (15)

金光 道晴

「オーストラリアのラッドフォードカレッジと姉妹校提携」

この度校長として初めて高校の修学旅行（オーストラリア）に团长として行くことになり、6月12日～17日まで68人の生徒と3人の先生と一緒に渡豪しました。本校の高校の修学旅行は、現在オーストラリアコース、シンガポール・マレーシアコース、北海道コースの3コースに分かれて実施しているのですが、私がオーストラリアに行くことになったのは、首都キャンベラにある小中高一貫の学校のラッドフォードカレッジという学校と、新たに姉妹校の協定を結ぶ目的もありました。

実は昨年にオーストラリアから2つの学校が本校に来校し、それぞれ1週間生徒の家にホームステイをして、学校でも様々な交流を行いました。その時ラッドフォードは11名の生徒と2名の先生で訪問され、ちょうど高校の体育会の競技にも一緒に参加し、体育会を盛り上げてくれました。そして、先生も生徒達も金光学園でのホームステイや交流を大変喜んでいただいたのです。

一方、金光学園も春休みのイギリス語学研修をはじめ、韓

した。学園のグラウンドより広い全面芝生のグラウンドが2面もあり、施設や設備も素晴らしく、とても良い環境の中にありました。日本では大学のキャンパスといったイメージです。ところで、キャンベラは私の想像とは随分違った町でした。例えばその1つは、首都なのできつと大都市だろうと思っていたのですが、人口33万人という大自然の残るとても静かな町でした。かつてオーストラリアがイギリスから独立して首都を決める時に、オーストラリア最大の都市シドニー（現在人口460万人）と第2の都市メルボルン（人口360万人）との間に対立が起こり、その対立を解決するために2つの都市の間につくった人口都市がキャンベラだったのです。冗談のような本当の話なのですが、そう言えば空港からラッドフォードに行くまでに見える大きな美しい湖も、人工湖だと言われびっくりしたようなことでした。

学園の修学旅行団が訪れるケアンズは、オーストラリアでは北に位置して、赤道にも近いので、冬でも暖かく、生徒達は世界最古の熱帯雨林をスカイレールの上から見たり、世界最大の珊瑚礁グレートバリアリーフの中に浮かぶグリーン島で泳いだりシュノーケリングを楽しんだりしました。しかし、キャンベラの6月は初冬で、朝晩寒い日には氷点下になると聞いていたので、荷物になりましたがコートを持って行きました。さらに、ケアンズからキャンベラまでは同じ国内を移動するので、私としては岡山から東京へ行くとか、せいぜい北海道や沖縄に行くといった感覚でしたが、何と飛行機を乗り継いで往復で15時間もかかりました。改めて、日本の20倍以上の国の広さを実感したようなことでした。

この度校長として初めて高校の修学旅行（オーストラリア）に团长として行くことになり、6月12日～17日まで68人の生徒と3人の先生と一緒に渡豪しました。本校の高校の修学旅行は、現在オーストラリアコース、シンガポール・マレーシアコース、北海道コースの3コースに分かれて実施しているのですが、私がオーストラリアに行くことになったのは、首都キャンベラにある小中高一貫の学校のラッドフォードカレッジという学校と、新たに姉妹校の協定を結ぶ目的もありました。

国の春川女子高校との姉妹校としての交流、夏休みの仁川英語村での英語研修、修学旅行でのホームステイなど、海外へ挑戦するプログラムを数多く用意しています。しかし、英語圏に姉妹校はなく、新たな協定を考えているところでしたので、この度は正に相思相愛の形で、姉妹校協定を結ぶことができ、誠に有り難く嬉しいことでした。調印した概略は次のようなものです。

- ①まず、金光学園が今年度末（来年）の春休みにラッドフォードを訪問し、ラッドフォードは平成29年秋に金光学園を訪問する。その後も隔年で相互訪問し、交流する。
- ②互いに生徒の家にホームステイをし、交流期間は1週間とする。
- ③引率は教員が行い、人数は25名以内とする。

したがって、早速来春には学園からラッドフォードを訪問することになり、改めて生徒や保護者の方に案内をすることになります。とても良い機会ですから、交流の後、キャンベラに最も近いシドニーなどの観光や研修を数日行うことも考えたいと思います。

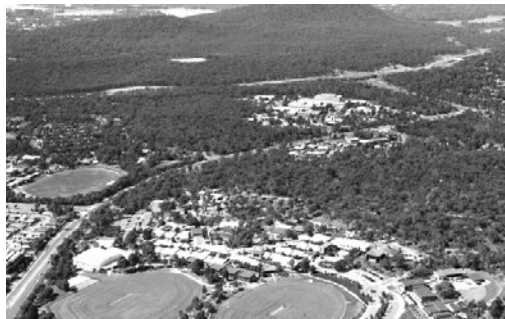
ラッドフォードカレッジは丘の上の広大な敷地に建てられた、とてもきれいな学校で



姉妹校調印を終えて

調印を終えケアンズに帰り、翌朝アサートン高原にファームステイをしていた生徒達を迎えに行きましたが、わずか3泊4日であったにもかかわらず、ホストファミリーと泣きながら別れを惜しむ生徒達の姿に、改めて感謝と感動を覚えました。実は5月に本校を訪問した韓国の姉妹校、春川女子高校との別れの時も互いに同じように別れを惜しむ、5日間ほどの滞在でも、素晴らしい交流ができていたことを実感していたばかりでした。

海外との交流は、言葉も、文化も、歴史や宗教も違う人達との交流ですから、相手のことを理解し、受け入れることなしには成り立ちません。しかし、学園の合言葉「人をたいせつに、自分をたいせつに」の精神をしっかりと持ち、実践できれば、大丈夫だと確信をしています。生徒達には、これから一層国際化・グローバル化する世界に目を向けて、世のお役に立つ人材に成長し、活躍して欲しいと願っているところであります。



ラッドフォードカレッジ全景

「ここから通っています」 学園生の故郷

福山市新市町

3月に小学校を卒業した娘が真新しい制服を着て、金光学園中学校に通いだしたのもつい先日のように思いますが、早いもので衣替えも終わり、季節もすっかり変わっています。

先生方を始め、周囲の方々の暖かいご指導、ご鞭撻のおかげで娘も学校生活にも慣れ、有意義に過ごしており、大変ありがたく感じています。

さてこの度、私達の住んでいる町、広島県福山市新市町を紹介できる機会を頂きましたので、簡単ではありますが、紹介させていただきます。

福山市は広島県東部、岡山県との県境にあり、その中でも新市町は福山市の北西部に位置しています。金光学園からの距離は約40km、移動には車で約1時間、電車では福山駅で福塩線に乗り換える必要があり、乗り換え時間も含めて約1時間30分かかります。

ます。

新市町は内陸にあり、山々に囲まれています。一級河川の芦田川も流れており、自然が豊かで、また古墳もあり、古くから栄えた地域です。

農業では「グリーンアスパラガス」がよく栽培されており、冬の間に大量のたい肥を施すことにより地方が養われ、昼間にじわっと地温が上がリ、夜になっても下がりにくいことで、シャキッとした歯応えと、豊富な水分と甘みを持っていることが新市町産のアスパラガスの特徴です。福山市場を中心に供給されていますので、近くのスーパーで福山産、新市町産アスパラガスを見かける事があるかもしれません。

特産品としては「備後餅」があります。備後餅は伊予餅、久留米餅とともに日本三大餅の一つと言われています。

備後餅は嘉永6年（1853年）竹の皮巻で防染する井桁餅を織ったことに始まりました。その後、輸入の紡績糸を使い商品化されました。当時では唐糸餅、有地餅等多様な呼び方をしていたましたが、明治初年から、備後餅の名で大阪へ出荷が始まりました。染色は天然藍でしたが、1935年からは力織は化学染料を用い、1935年からは力織機を使用するなど、機械化・合理化を進



山との御縁を感じます。

慶安元年（1648年）、初代福山藩主であった水野勝成公により、現在のご本殿（国指定重要文化財）が造替されました。他にも神楽殿（県指定重要文化財）などの建築物が18棟現存しており、境内および周辺の山林は、史跡一宮（桜山慈俊拳兵伝説地）として昭和9年（1934年）に指定されています。

御祭神は備後開拓の神様として、また、開運招福・厄除け・交通安全・長寿の神様として、備後一宮・一宮さんと人々に親しまれ、広くご神威を仰がれています。

主な行事として2月の「節分祭」、6月の「夏越の大祓祭」、11月の「市立大祭」があります。

節分祭では、天下の奇祭「ほら吹き神事」行なわれます。節分祭の神事後、年男・年女による豆撒きが行なわれます。その後たき火を囲んでの「ほら吹き神事」となります。地元のほら吹き保存会のメンバーによるネタ探しは1年かけて行なわれ、参拝された皆さんをホラで楽しませて下さります。

夏越の大祓祭では茅の輪くぐりが実施され、地元の子供達が茅の輪をくぐる光景が見られます。



市立大祭では中世より市が立つお祭りとして知られ、備後一円から、人々がその年の収穫物を持ち寄り、物々交換をしたといわれています。今では、秋の収穫感謝のお祭りとして、武道奉納や郷土芸能の奉納が行われ、神様の御霊を和めておられます。

全国的にはこの時期、出雲の祭りには神様の神様が集まられる為、他の地域には神様がおられなくなり、神無月と呼ばれるようになりますが、このお祭りには神様がお寄りになるという話があり、周辺では神無月を神有月（神在月）と呼ぶ風習が残っています。

め、日本最大の餅生産地となっていきました。農家の普段着、作業衣として多く生産されていきました。化学繊維や流行の変化により需要が減少しています。その為最近では製品の洋装化も取り入れて新製品を開発すると共に、伝統産業として保存され現在に至っています。

また新市町には一宮の神社が吉備津神社、素盞鳴神社と2社もあります。

吉備津神社は岡山の方々にも馴染みのある、岡山市の備中吉備津神社から大同元年（806年）、勧請されたと伝えられており、岡

ます。

素盞鳴神社は通称「天王さん」「祇園さん」と呼ばれ、素盞鳴命を祭神として祀っています。

平安時代中期から備後の夏まつりとして有名な祇園祭が始められたと言われています。祇園祭は、境内や神社付近に屋台が立ち並びますが、何といたってもけんか神輿が有名です。

地元の戸手、新市、中須地区の3地区に別れ、三体の神輿が各々の地区を練り歩きます。祭りの3日間町中に太鼓と鐘の音が鳴り響きます。最終日には神輿をぶつけ合う、けんか神輿が行われ、担ぎ手と参拝者も一つになって大変盛り上がりします。

簡単ではございますが、新市町を紹介させていただきます。

最後になりましたが、今回の機会に改めて周囲を見直してみると意外と改めて発見することに気づかされました。良い機会を頂きありがとうございます。

娘もこれから長い学校生活、いろいろな事を経験し、迷ったり悩んだりしつつ成長していつか欲しいと願っていらっしゃるので皆様方には暖かく見守って頂きたいと思っております。どうぞ宜しくお願いします。

岡山市南区「芳田」

芳田は 岡山市の中心部国道2号線バイパスをはさんだ南北に広がる地域で、また童話『桃太郎』において桃が流れてきた川のモデルとなった笹ヶ瀬川がその地域の南端を流れるところです。近年都市化が進み、住宅地として静かな環境を保ちながら活力ある地域として発展してきています。『芳田』という名前の由来については、池田光政（芳烈）公が生活の中で食糧が一番大切であるということから、この地域一帯を干拓、田を開墾していったことから、芳烈公の『芳』と『田』をとって芳田の地名が生まれたものと伝えられています。

この芳田地区には昭和の歴史を思い出す遺産が残っています。かつて岡山市の大元駅と岡山港駅を結んでいた鉄道路線『岡山臨港鉄道』です。昭和26年に鉄道



運輸事業を開始し、昭和59年に廃止されてしまいました。その跡地は現在『緑道グリーンアヴェニュー』として生まれ変わっているのです。この約2kmの遊歩道には鉄道時代駅であった岡南新保駅跡が残されており、赤茶色のレンガ造りのホーム、手書きで書かれた駅名に昭和レトロを味わえる場所となっています。朝夕は通勤通学、そして散歩やウォーキングと大勢の人達で賑わっており、我が息子のようにはトレニングのランニングコースとしても老若男女が日々汗をかいている風景をよく見かけます。

ところで、我が家がこの住みだした理由は、妻の出身がこの地域であった為です。金光からすると30km以上離れており、普通光光と縁がなさそうに思われます。金光学園という学校の認知度も正直高くなく、ご近所でも通われている方は全くありません。高校進学の時、このような状況でなぜ金光学園を選んだかということ、私父親が、学園の卒業生であったということに影響されています。私の出身は、浅口市寄島町で、中高6年間を学園で過ごし、当時、金光道晴校長先生が監督をされていた野球部で甲子園を目指していました。そんな父親の影響で、息子も野球を小学生から始め、高

校進学時も野球を続けたい、そして甲子園出場という夢を叶えたいと考えていました。父の叶えられなかった夢、そして息子の夢を同時に叶えられるところは、この金光学園しかないと思



い、進学を決めさせていただきました。今、入学し約3か月が過ぎようとしています。私も何度か学園に足を運び、思い出がたまった校舎、そして先生方にお会いでき、懐かしさでいっぱいです。また忘れかけていた学園精神や、入学式の時に戴いた『にちがが』の金光教の教えの深さに感銘を受け、この年になり自分自身を見直す機会を頂きました。

この伝統ある金光学園に、親子共々お世話になり、本当にありがたく思っています。このご縁を大切に、そして夢を叶え、将来へと繋げていって欲しいと願っています。

高1の父 岸本 美津幸

会報

総会 4月30日(土) 1限目、授業参観、2限目、学級会、3・4限目、ほつま体育館において、28年度総会と記念講演会が行われた。総会では、各部からの会務報告の後、27年度会計決算報告がされた。その後、役員改選が行われ、新三役が選任された。(※別表参照)

総会後の記念講演では、講師に松畑照一先生(中国学園大学・中国短期大学学長)が「感謝・感動のワクワク人生を生きる」の演題で、どんな困難もポジティブにとらえ、前向きに生る大切さを楽しく話してくださいました。お話しの中の、心に染み入る歌声も、大変印象的でした。

第1回全役員会・評議員会 5月18日

(水) 役員会開催に先立って食堂の試食会を開き、多くの方が参加され、概ね好評であった。全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年間予定等について説明があった。

評議員会では、各専門部役員決定後、各部長・副部長が選任された。(※別表参照)その後、28年度活動方針、予算案について検討し承認された。

第2回評議員会 6月7日(火) 研修会等の出席者確認、地区会、友愛セールのオープンスクールの協力、各専門部の活動内容の検討等について協議した。

各部 部長・副部長			保護者会三役		
指導部	教養部	庶務部	監事	副会長	会長
溝上正美	井上愛子	坂本喜美子	遠藤かおり	大本幸江	平松晃弘
細井正恵	高田美雲	松本万由美	大島未航子	加賀直美	
部長	副部長			横藤田晋	

諸国会

●5月7日 浅口里庄高P連総会 市健康福祉センター(加賀副会長、佐藤副校長)
●5月25日 備西地区高P連春季総会 県立玉島高校(平松会長、横山教頭)

●6月1日 県青少年育成県民会議総会 国際交流センター(佐藤副校長)
●6月2日 市青少年育成活動協議会金光支部理事会 金光公民館(平松会長、金光校長)
●6月6日 県中高保護者会連合会会長会議 メルパルク(平松会長)

●6月10日 玉島警察署管内子どもを守る母の会総会 玉島警察署(高橋評議員)
●6月21日 県高P連&安全互助会総会 ビュアリテイまきび(平松会長、佐藤副校長)
●6月22日 幼こ小中指導者人権教育研修会 浅口中央公民館(指導部 細井・小田原評議員)
●6月23日 浅口里庄P連母親委員会第1回研修会 市健康福祉センター(大本副会長、遠藤監事)

●6月29日 県広域特別補導協議会笠岡支部総会 笠岡市役所(難波副会長、佐藤副校長)
●7月12日 幼こ少中指導者研修会 ライフパーク倉敷(教養部 真鍋・高田・有木・奥村評議員)
●7月15日 中四国高P連香川大会 香川レグザムホール(大本・加賀・難波・横藤副会長、遠藤・大島監事、佐藤副校長)

●7月16日 社会を明るくする運動浅口推進大会 市健康福祉センター(吉田・横山評議員)

金光学園で教わった 人との関わり方

古沢 幹子 (高36回)



今回やつなみへの寄稿を依頼され、正直何を書けばいいのか迷いました。ただ、今こうして充実した社会人生活を送れているのも金光学園での6年間の学校生活が大きな基礎となっていると思うので、金光学園の思い出と今私がしている仕事のことを少しお話ししたいと思います。

私は家族全員が金光学園卒業という学園一家で育ちましたが、祖父もまた学園の卒

業生です。よって、三世代に渡って学園にお世話になりました。両親が共に学園卒業生、姉も入学、という流れから必然的に小学校6年の時に受験させられました。その時はあまり状況を理解できず、親の指示に従った、という印象です。父親の特訓を受けて無事合格して学園へ通い始めましたが、自転車、バス、電車と乗り継いで毎日通いました。6年間もよく通ったなと思いますが、今思えばその6年間毎日お弁当を作ってくれた母親の方がもっと大変だったと思います。両親には感謝です。

高校生になってから、宗教の時間がありました。金光教の学校だからと思いましたがやはり驚きました。普通の学校には多分ないですよ。何を教えてくれるんだろうと思っていました。正直、何を教わったか細かく覚えていませんが、普通の授業と違って畳の部屋で聞く話は背筋がピンとなりました。特に校長先生のお話は重みがありました。何度も言いますが、細かい話は覚えていません。でもその授業で、人としての心構えやどうあるべきかを宗教の話を通して教わったと感覚で覚えていました。教わったことは、目に見えない「サービス」を提供する会社に長く勤務すること

になる私のその後の社会人生活に大いに役立つたと思っています。

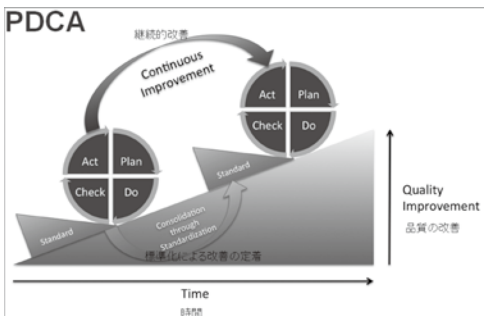
多くの希望を持って社会人になった私は、2度の転職を経て今の会社に入りました。今の会社は100か国以上に事務所がある外資系大手のコンサルティングですが、私が入社したこれも外資の検査業務を主体としていた会社が5年ほど前に今の会社に吸収されました。私が入社した当時の検査業務主体の会社はそれほど大きくなく、私が入った日本法人の事務所にも5人ほどしかいませんでした。しかし、今は東京と大阪に事務所を持ち、社員も60人ほどに増え業界で2番目になるまで成長しました。

私が現在働いている会社は、国際規格であるISOの審査認証機関です。今でもよく耳にするようになりましたが、それでもISOを取得している企業は総企業数2%ほどしかなく、業界によっては全く聞いたことがなく、という声も良く聞きます。ISOは国際標準化機構といい、本部をスイスのジュネーブに置く非政府組織です。ISOとは、どこの国でも通用する共通の標準を作ってグローバルでビジネスをやりやすくしましょう、というのだと考えるとわかりやすいと思います。このISOは品質(9001)、環境

(14001)、労働安全(45001)、食品安全(22000)、情報セキュリティ(27001)、などそれぞれ分野ごとに分かれており、企業はそれぞれの目的に合わせてどの規格を取得するか選ぶことができます。私の会社のような審査機関は、企業が希望する規格の認証を取得するための必要な審査を実施し、認証登録証明書を発行します。

ISOの規格はマネジメントシステムと呼ばれており、各規格それぞれの要求事項がありますが、どの規格にも共通する欠かせない考えがあり、それがPDCAサイクルと呼ばれるもので、下図のように示されます。

PLAN(計画)、DO(実行)、CHECK(評価)、ACT(改善)のサイクルを回していくことで改善につなげ、企業のマネジメントシステムをより高いレベルへ持って行くことができます。このPDCAをいかに向うかによって企業のシステム運用に大きな差が生まれます。このP



DCAサイクルの考え方は決して突飛でも新しいものでもなく気付かないだけでどの企業もやっていることです。特に長く続いている企業はこのPDCAのサイクルが業務と一体となって自然と向うまわっているのがISOだと考えてください。

我々のような審査機関は目に見える製品やモノを扱っているのではなく、このように企業が自社で運用している目に見えない「マネジメントシステム」を扱っており、国際基準であるISOの要求事項と合致しているかを審査を通して確認し、認証していくわけです。

ISOを取得した企業は、取得したことを他社にアピールでき、信頼を与える要因の一つにできます。今後益々海外とのビジネスが増えることを考えると、国際規格であるISOを取得していることで、海外のビジネスパートナーにも安心感を与えることができます。先ほども書きましたが、審査機関の業務は形のある

「モノ」を生み出しているわけではないので、顧客から信用を得て良い関係を長く続けるには、十分な信頼関係を築く必要があります。そのためには、相手の気持ちや立場になって考える、相手を尊重する、相手が必要としている時に必要な対応をする、など人との関わりにおいて基本となることでできていなければいけません。会社が業界で2番目になるまで成長できたのはそうした人とのつながりによって成長してきたからだと思っています。もちろん社員全員がそれぞれの業務を真面目に目標を高くもって取り組んだ結果ですが、私は私なりに人とのつながりを大事にしてきたことで会社の成長に貢献できたと思います。その基礎は金光学園での6年間の学校生活で得た友達や先生との交流、宗教の時間で教わったことで培われてきたと思っています。

もちろん社会に出ても様々なことを教わりましたが、10代の多感な時期に宗教の時間で教えてもらったことは少なくとも私にとっては必要だったように思いますし、今こうして日本中そして世界中の人と強い信頼関係の下で仕事ができるのはその時頭ではなく心で学んだことがあったからだと自信を持って言えます。



水見 英子



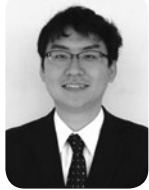
本年度、高校2年の化学基礎を担当する水見英子と申します。金光学園には週に2日、それ以外は岡山大学資源植物科学研究所で非常勤研究員として勤務しています。専門は植物遺伝育種学で、日本人の主食であるイネを始めパンや麺の材料となるコムギを材料にDNAレベルでの研究を行っています。昨年9月までは農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センターに勤務し、品種育成の仕事と並行して、「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」に携わり、東日本震災時に津波で被害が甚大であった宮城県名取市(仙台空港の近く)や東松島市の圃場で栽培試験を行っておりました。科学の力と面白さを、少しでも生徒のみなさんにお伝えできたらと思います。



鍋合 真由美

みなさん、はじめまして。本年度から英語を担当させていただきます。

私自身英語を教科として勉強し面白いと感じることは実はそんなにありません。実際外国人の方と話ができると会話を楽しむ、そんなときに英語を使えることができてよかったです。金光学園は留学制度などグローバル化に力を入れていると思います。そのような機会は他校ではありません。積極的に参加してみてください。英語力はもちろん、自分の視野が広がり、これからの選択の際にきつと力になっていくでしょう。そして英語を好きになってくれたら本業としてうれしく思います。高校生活はこれからの自分の人生への大切な時期だと思います。果敢にいろんなことにチャレンジしてください。



北川 弘樹

今年度より、金光学園に勤務させていただきます。北川弘樹と申します。中学3年団に所属しております。教



小郷 彰人

今年度より金光学園に勤務させていただきます。小郷彰人と申します。教科は国語で、学年は高校2年に所属しております。高校2年の古文を担当するとともに、2年1組と5組の副担任をさせていただきます。また、部活動は陸上部と文芸部を担当しております。授業では、生徒一人ひとりの力を伸ばせ

るよう、クラス・個人に合わせた指導を目指していきたいと思えます。また、「人をたいせつに」自分をたいせつに、物をたいせつにという公言を胸に刻み、生徒と関わってきたいです。若いというのは未熟である反面、生徒と近い考えを持っているという強みもあると考えています。生徒のよき理解者となれるよう努めていきたいと思えますので、どうぞよろしく願います。



日笠 陽介

今年度より金光学園に非常勤講師として勤務させていただきます。日笠陽介と申します。教科は社会科で、中学2年の歴史と高校1年の現代社会を担当しております。また、部活動では高校の硬式野球部に所属しております。大谷寮金光学園学生寮の寮監も担当させていただきます。

私は高校の2年半の間、野球を一生懸命やってきました。しかし、学校というのは部活動だけではありません。「授業」を当然受けなければなりません。さまざまな先生の授業を受けましたが、おもしろく、熱心な、魂のこもった授業をする先生というのは授業時間が短く感じました。私も、そ



小松原 悠希

今年度より金光学園に勤務させていただきます。小松原悠希と申します。高1学年団に所属しており、高校1年と高校2年の地理、探究1の授業を担当しています。また、部活動は少林寺拳法部と書道部を担当しております。

私は金光学園を卒業しており、学ぶ楽しさや何事も前向きにとらえることの大切さを先生方の姿から学びました。これらのことが今では私の生き方の指針となっています。私が教員として生徒たちと出会えるのは私が教員として生徒たちと出会えるのだと思ふと、喜びが込み上げてくると同時に身に引き締まる思いにもなります。生徒の人生に関われるこの職場で、私の教員人生に生徒にも関わっていただいているのだというのを常に心に留めて、教員として、人として、成長していきたいと思えます。どうぞよろしく願います。



志手 彩

私の大好きなミュージカル、RENOに出てくる歌詞の一部であり、私のモットーです。「今日できることは、明日に持ち越してはならない。今日という時間は、今しかないのだから」

私は6年間、この金光学園に通わせていただいております。大切な友人、尊敬する先生方に多く出会えた6年間であり、失敗も数え切れないほど経験した6年間でした。その学園生活で、私が、後悔していないと断言できることがあります。それは、授業で分からないことがあれば、その日のうちに先生に聞きに行き、クリアしておくということ。明日でもいいか、また今度でもいいか、そうして先送りすると、自分がどこでつまづいたのか、何を疑問に思ったのか、わからなくなってしまうからです。毎日のように職員室に通った私は、恩師たちが下さったように、どんな小さな質問にも全力で答えたいと思っています。そのために、私自身も今日できることを明日に持ち越すことなく、日々成長していきます。どうぞよろしく願います。

科は理科で、部活動は天文気象部と科学部を担当しております。私自身、金光学園には中学、高校の6年間にわたってお世話になりました。この6年間を振り返ってみると、勉強や部活動、行事に共に取り組んだ友人、また、そんな私たちを常に支えてくださった先生方との多くの素晴らしい出会いがありました。そうした出会いを通して、たくさん事を学び、大きく成長することができたように感じております。この4月からは、一教員として一生懸命に勉強に励み、また部活動に汗を流している生徒一人ひとりが充実した「学園生活」を送ることができるよう、努めて参りたいと思っております。どうぞ、よろしく願います。

やつなみ保護者会のページ

今回は、指導部・教養部・庶務部の代表の方に、それぞれの部の活動内容を紹介していただきました。

指導部

部長 溝上 正美

指導部は本年も8名で活動をスタートしました。主な活動は、保護者会地区会の開催をすすめることや、学校周辺や登下校中の生徒の補導や指導を定期的に行っています。

地区会は今年度も全地区とも、7月中の開催を設定しています。同じ地区の保護者同士、学年を超えて情報交換ができる貴重な場になっており、学校や生徒達の様子を知ることが出来ます。地区会に参加いただいた先生に相談のついでに、夏休み前の子供達への注意事項などを伺える有意義な会ですので、多くの保護者の皆様にご参加いただきたいと思います。

教養部

部長 井上 愛子

教養部は今年度9名で活動をしていきます。今年度も年3回発行される「やつなみ」

います。

近年、携帯電話の生徒達の使用については、学校と保護者（家庭）の相互理解と相互協力が欠かせない事象になっています。指導部として時代に沿った指導の必要性について意見交換しました。

1年間という短い期間ではありますが、先生方と一緒に子供たちの成長を見守る活動をしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

がら充実した活動にしていけることができればと思います。
どうぞよろしくお願いたします。

庶務部

部長 坂本 喜美子

庶務部は、来たる9月15日のほつま祭友愛セールに向けて、27名で活動をスタートしています。今年も講師の先生による手作り講習会や、友愛セールに出品する手作り作品を作製中!!

この手作り会は、庶務部員の他、保護者の方々のご協力のもと、大人気の金光ベアやマカロン、また裁縫だけでなく、エコラフトやカルトナーージュなど様々なジャンルでバラエティーに富んだ作品



も作製していますので、興味のある方は、金光学園・手作り会のブログを検索してください。



私たち庶務部は友愛セールに向けて6月より週1回のペースで手作り会と、4回の講習会を随時実施しています。ブログを見て、「これなら私にも出来るかも」「前から興味があった」「楽しそう」と思われたら、ぜひ一度参加してみてください。手作りの得意な方、初めての方、時間に制限があっても構いません。私たちと一緒に手作りを楽しみながら、保護者同士の情報交換や新しいママ友も作ってみませんか？

なんだか子ども達と一緒に学園祭の準備をしていると、学生時代に戻ったみたいですよ♡

暑い中の作業ですが庶務部一丸となって生徒達や皆様にステキな思い出になるよう頑張っております。ぜひ、ご支援ご協力よろしくお願いたします。

の保護者ページ作成・研修旅行の企画・各研修会への参加を主な活動として行っております。

「やつなみ」は保護者の皆様も学園の活動を知ることのできるものであり、楽しみにして下さっている方もおられるのではないのでしょうか。原稿依頼をお願いすると思えますが、快く引き受けてくださると助かります。少しでも保護者の皆様に「やつなみ」に関わっていただく機会になればと思っておりますので、ご協力のほど、お願いたします。

研修旅行についても企画を立案中です。よりよい研修になるように皆で検討をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私自身、初めてのやつなみ保護者会の活動ですが、ご縁があつて中学・高校の保護者が一緒に活動する機会なので、皆様と一緒に楽しみな



友愛セールと卒業寄付により 中学全ホームルームクラスに 最新型プロジェクター設置

今年の春休み中に、中学全ホームルーム15教室に最新のプロジェクターが設置された。これは、かねてより各教科から要望が出されていたもので、昨年度の友愛セールの収益と今年3月に高校卒業生の卒業寄付により実現した。

動画、プレゼンテーション、書画カメラを使って教材や資料映像など音声を伴った投影は勿論、映し出した映像に書き込めたり、それをデータとして取り込むなど、多種多様な使用が可能。タブレットと併用して、個々のデータを全員で共有できるなど、アクティブラーニングに活用できると楽しみが広がっています。ご尽力くださった関係者の皆様に感謝いたします。



金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会
会長 平松 晃弘

この度、平成28年度金光学園やつなみ保護者会会長を仰せつかりました平松です。保護者の皆様には当会に対して日頃より多大なるご協力と深いご理解をいただき、改めまして深く御礼申し上げます。歴史と伝統の息づくこの金光学園の保護者会会長という大役を拝受するにあたり、身の引き締まる思いであります。至らない点も多いかと思いますが、ご推薦いただいた方々の期待にお応えできるよう、精一杯務めさせていただきます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

近年、子供たちを取り巻く環境は時代とともに大きく変化、そして進化しており、その最たるものがネット環境の充実といえるでしょう。私たちの子供の頃はとても考えることも出来ませんでした。今では驚くほど簡単にしかも素早くさまざまな情報を得ることが可能になり、他者と交流することもできるようになりました。これらのツールは上手に使えばとても便利なものですが、その一方で有害情報により犯罪に巻き込まれたり、掲示板でのネットいじめが起つたりと、ネット環境が充実する以前の子供の身近にはなかった問題が新たに生じています。これらの問題は他者への思いやりの心や迷惑をかけないという気持ちの低下によって引き起こされている問題で、精神教育の重要性を再認識させられます。

幸いに、我が金光学園には素晴らしい合言葉があります。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」。シンプルな言葉ではありますが、120年の伝統を持つ学園に受け継がれている実に大切な言葉です。そして正に今の時代に最も必要な精神であり、理念です。諸先輩方の残して下さったこの合い言葉が根付いている限り、金光学園の子供たちは感謝の心を忘れない他人を思いやれる素晴らしい人間

へと成長してくれることと信じています。

金光学園が明治27年の創設以来、掲げている教育理念に「学徳体」一体の全人教育があります。これは人間性を一面的な知識・技能にのみ偏らせることなく、全面的、調和的に発展させる教育ということ、年間を通じて勉強だけではなく様々な活動を設け生徒の個性・資質を尊重し伸ばして下さる金光学園らしい教育方針といえます。そのため保護者の皆様には何かと協力をお願いする場面も多いかと思われま。なにとぞ積極的なご協力を、よろしくお願いいたします！

最後になりましたが、世界の偉人の格言を2つ紹介させていただきます。
There is more to life than increasing its speed
速度を上げるばかりが人生ではない。「カンジ」

Without haste but without rest
急がずに、だが休まずに「ゲーテ」

大人の私たちも、ともしれば時間に追われ、その気持ちを子供に押しつけてしまうことがあります。そんな時には偉人達の格言を思い出し心に余裕を持って子供と共に成長していきたいと思えます。

新米会長で至らぬ事も多いと思いますが、保護者の皆様が楽しく充実した活動の出来る1年となりますよう、努力してまいりますので、何卒より一層のご協力をそしてご支援をよろしくお願いいたします。

「友愛セール」ご協力のお願い!

9月11日(日)開催

拝啓 保護者の皆様方におかれましては、日頃よりやつなみ保護者会の活動にご理解また多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年もやつなみ保護者主催の「友愛セール」をほつま祭2日目の9月11日(日)に開催させていただくこととなりました。今年も多くの保護者の皆様のご協力のもと、作製していただいた「金光ベアちゃん」をはじめとする心のこもった手作り作品が多数出品されます。そしてご家庭からご提供いただいた貴重な品々、また同窓生の企業様、近隣の企業様からご協賛いただいたさまざまな品々を販売させていただく予定です。ぜひともたくさんお買い上げいただきますようよろしくお願い申し上げます。

この「友愛セール」で得られました収益金は、子供たちがよりよい環境で学ぶための資金として活用させていただいております。昨年はこの資金で中学校棟の各教室にプロジェクターを設置させていただきました。またこれらのほつま祭へ向けての手作りの作製や講習会などは、保護者同士の絆を深める貴重な時間となっています。保護者の皆様が、子供たちのために一生懸命働く姿を見せることも非常に大切な教育の一環になり、実に意義深いものです。

ぜひともこの友愛セールの趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方のご参加、ご協力をお願い申し上げます。

敬 具

金光学園やつなみ保護者
会長 平松 晃弘

『うた!』

吉永 敬子

「エーデルワイス〜♪エーデルワイス〜」今、中1が歌っている曲である。

この「ワイス」の音が高いしなのだが、まだ大半が声変わりを迎えていない中1。美声を響かせてくれる。私には絶対出せない透き通ったきれいな声。響くと気持ちいい。歌う度にその音だけがどんどん大きくなり、教室いっぱい響いていく。そのうち手の振りがついたり、自然に体が揺れたり・・・歌手になった気分の生徒も出てきて、ちょっとしたミニミニミュージカル。みんな笑顔。中1の最初だからできる授業である。本当に楽しい。

声変わりがだいぶ落ち着いた中3になると、少し本格的な合唱曲にも取り組む。ハモると素敵なのだが、みんなメロディーが歌いたくてたまらない。あるクラスの男子に怒られた。

そこから奮起、とにかく歌を頑張ると決めた。伴奏も必死で練習。2パートを両手で弾いて、残りの1パートをピアノに合わせて歌う練習を何度も繰り返し続けた。覚えるまで何度も。発声のやり方も変えた。背が低いから生徒の表情が見えなくて、それならと思い、ピアノは立って弾くことにした。運動不足の私の足はパンパンに……。少しずつ何かが変わってきた。

もう1つ、私の人生を変えてくれた場所がある。それは部活(コーラス)。学園に来た時、6人だった部員は、今、60人を超える。たくさんのドラマがある。大好きな活動ばかりなのだが、ここでは1つだけ紹介したい。私は老人ホームでの演奏が好きだ。おばあちゃん達は昔の曲をびっくりするくらいよく覚えてる。そう言えば、亡き祖母も認知症になり、私のことも分からなくなっていたけど、何気なく口ずさんだ『夏は来ぬ』と一緒に歌ってくれた。何度も歌った歌は心の底に残っているのかもしれない。老人ホームのおばあちゃん達は私たちの歌を聴いて「さいこー!」って言ってくれたり、「ありがとう」って涙を流してくれ

「何で俺らにここを歌わしてくれんのか!」

と。男子はハモリの部分が多い。

「うんうん気持ちちは分かる!女子と同じ高さで歌うならOK」

と答えたら、本当に器用に男子のパートとソプラノのパートを一瞬で歌い分けた。見事な裏声を使って。完敗。

『うた!』

今、自分にとつて一番身近で、なくてはならないものとなっているが、実は大学を卒業するまでそうではなかった。幼い頃からピアノを習い、音楽は聴くのも演奏するのも大好き。ただ1つ、苦手だったことがある。それは歌うこと。うまく声が出ない。とにかく自分の声が嫌いで、恥ずかしくて出せなかった。いつも顔が真っ赤になっていた。小学生でついたピアノの先生が声楽専門の先生で、せっか

たりする。そんな温かい言葉に、部員が笑顔になり、思わず涙がこぼれたりする瞬間に、またホロリとくる。歌の力つてすごい。世代を超えて繋がることのできる。

他にもサマーコンサートや全国大会や福島での仮設住宅訪問など、部活動(歌)を通して貴重な体験をたくさんさせてもらった。部員と6年間、歌ってきても思うことは、声って変わっていくということ。角がとれて丸く温かい声に、あるいは力強く芯のある声に。たぶん練習だけじゃなくて、いろんなことを経験したからなんだろうなと思う。

歌は体一つでできる。何もいらぬ。そして、声は世界に一つしかない。こんな素晴らしいものってないと思う。大嫌いだっただ歌は生徒たちのおかげで大好きになった。なかなか上達しないし、やっぱりまだ自分の声は好きになれないけれど、もともとどうもくまりたいと思っっている。みんなが、それぞれ素敵な声を響かせてくれるから、私も負けられない。家では3歳の双子の息子たちが、保育園で習った『ひな祭り』を熱唱していた。「〜おだいりさまとおひなさま♪〜ふ

くだからと歌もレッスンしてくれていたのだが、声を出さないから全く上達しなかった。先生をいつも困らせた。ピアノもフルートも平気なのに、なぜか歌はダメだった。当時の先生たちが、今、私がこうやって音楽の先生をやっているのを知ったら、きつとびっくりすると思う。

そんな私に転機が訪れたのは、実は学園に来てから。授業そして部活を通して、歌の魅力を生徒が教えてくれた。

学園に来て、初めて受け持った学年が、ゆずり葉の会で、『Oh Happy Day』を歌った。難しいから無理じゃないかと何度も伝えたけど、実行委員の生徒は譲らない。ついに実行委員の子たち7人は学年全体の前でこの曲を歌い、やりたいとみんなに訴えた。そのパワーはすごかったし、やると決めた生徒たちは、やんちゃな男子にも必死で声をかけ、ぐいぐい引張っていった。実際本番で素敵なゴスペルを聴かせてくれた。生徒の苦労を見てきたのもあるが、中学生の純粋な歌を聴きながら、込み上げてくるものがあった。実は歌を聴いて泣いたことは、今までなかった。自分の中で何かにスイッチが入った瞬間だった。

たりならんでひとやすみ?〜ぞうきんばやし?にふりだいこ?〜きょうはたのしいひなまつり♪」

めちゃくちゃだ。でも2人とも、とっても楽しそう。最高の笑顔で、踊りながら熱唱する。その姿に思わず笑ってしまふ。疲れを忘れる。歌は人の心を動かす何かがある。息子たちのように、何にも考えず、ただただ歌って楽しいって思える瞬間も大切なかもしれない。



活躍おめでとう

第19回全国選抜少林寺拳法大会に出場して

高2 友田 直陽

僕は、3月25、26日に行われた全国大会に出場しました。僕にとって初めての全国大会でもとても緊張していましたが、いままでの練習の成果を十分に発揮する



ことができました。結果は、僅差で敗れてしまいましたが、今後の課題が見つかり、自分にとって良い経験になりました。また次の大会にむけてよりよい演武ができるように、これからも練習に励んでいきたいと思っています。

第26回中国高等学校少林寺拳法選手権大会に出場して

高2 友田 直陽

僕は6月19日に行われた中国大会に出場しました。団体演武は単独演武と違い自分一人だけのものではないので常に練習では全員の動きをそろえることを意識しました。本番では大きなミスもなく男女ともに予選を通過し、男子は4位女子は3位入賞という結果を残すことができました。

1ヶ月後のインターハイに向けて、今回の大会で得た課題を克服し、よりよい演武ができるように頑張ります。



第30回全国東西交流中学生バレーボール大会に出場してみ

3年 川口 大城

僕たちは、3月26日から28日までの3日間で開催された第30回全国東西交流中学生バレーボール大会に2年連続で中国代表として出場しました。初日は、全国から会場に到着したチームから練習ゲームを行い、事前の力試しを行いました。その結果を受けて夕刻に予選リーグの組み合わせがありました。予選リーグは5チームによる総当たり戦です。全国のチームと対戦しましたが、僕たちはいつものプレーが出来ず、予選を3位で通過することになりました。翌3日目、予選リーグを突破したチームによる決勝1次リーグは3チームによる総当たり戦で1位のみが準々決勝へ進める過酷な試合でした。先ず、東京都を代表する南六郷中学校と対戦しましたが、惜しくも敗れてしまいました。続く試合は富山を代表する吉江中学校と対戦し勝利しました。流石に全日本中学校総体の開催県を代表するだけあって素晴らしいチームでした。結果としては、予選敗退に終わりました。この大会に出場してみても、僕たち

精進していきたいと思っています。

第63回中国高等学校卓球選手権大会に出場して

高3 福田 智章

僕は6月17、19日に鳥取県のコカ・コーラウエストスポーツパークで開催された中国高等学校卓球選手権大会に出場した。中国大会には過去の2年間でも出場したが、シングルス、ダブルス、団体の全種目に出場するのは初めてのことです。僕の胸はやる気にながっていた。しかし、初日のダブルスで、緊張のあまり力が出せず、初戦負けを喫してしまった。悔し涙を流すパートナーを見て、僕も悔しさが込み上げてきた。悔しさをバネに2日目の団体では



は全国のレベルの高さを体感することができました。また、僕たちに欠けていることが沢山あることも知ることができました。この第30回全国東西交流中学生バレーボール大会に出場できたのは、僕たちの先輩方が戦績は勿論、中学生としての立派な行動が評価されたことだと大会会長の方から伺い、この経験を無駄にしないよう日々気を引き締めて、中学生として行動しないと駄目だと思おうようになりました。最後に遠方にもかかわらず、



応援に来てくれた保護者の方々や先生、先輩方に感謝の気持ちを忘れずに日々精進したいと思っています。これからも指導、ご声援よろしくお願いします。

高校最後の中国大会

高3 小松原 康平

5月13、15日に、山口県湯田にある維新百年記念公園スポーツセンターで開催された中国大会に出場しました。私たちは、1回戦、鳥根県の安楽高校と対戦しました。セットカウント1-2で敗退し、私たちの力不足により残念な結果で終わりました。私たち、高3は中学1年から6年間ずっと一緒にバレーをしてきた仲間です。辛い事も苦しい事も共に乗り越えてきました。意見がぶつかることもありますが、6年間で育かれた絆はとてもしっかり、私の宝物です。これも中高一貫の金光学園だからこそ手に入れることができたのだと思います。そしてこゝまで私たちをご指導くださった亀山先生をはじめ、諸先生方や先輩方、後輩たち、応援してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。これからの気持ちも忘れず、日々

史上初のベスト8に入賞したが、翌日のシングルスは初戦負けを喫し、課題の方が多く残った大会だった。
僕は大学でも卓球を続ける。この大会で味わった喜びと悔しさを糧に、大学でも頑張っていきたい。

第63回中国高等学校卓球選手権大会に出場して

高3 西岡 彩貴

私達は6月17日から19日までに鳥取県で行われた第63回中国高等学校卓球選手権大会に出場しました。高校生活最後の試合を中国大会という大舞台で終えることができ、とても嬉しく思っています。結果は2対3の接戦で敗れ、1回戦敗退となり、2回戦に進むという目標を達成することができませんでした。2年生は修学旅行終了後、岡山空港からすぐ駆けつけてくれて、メンバー全員の顔を見た時にはとても嬉しくなりました。

この中高6年間は部活動を通じて、チームメイトと団結し、目標に向かって突き進むことの素晴らしさや、日々努力し続けることの大切さを学ぶことができました。基礎から熱心に指導して下さい

た内田先生には感謝の気持ちでいっぱいです。また、アドバイスをして下さった水野先生、山口先生にも感謝しています。私も今後、感謝されるような人になりたいと思います。

第65回全国高等学校スキー大会に出場して

高2 西川 華

私は2月4日から8日に青森県南会津郡大鰐町で行われた第65回全国高等学校スキー大会のスラローム競技に出場しました。この大会が私にとって初めての全国大会だったので、岡山を出発する前からとても緊張していましたが、引率して下さいた佐藤副校長先生が優しいお声掛けを下り、レース本番に向けて良い準備をすることができました。しかし、全国大会独特の雰囲気や、中国地方では経験したことのないバーンの硬さに圧倒され、今までの練習の成果を発揮できずにレースは終了しました。もちろん結果に満足することはできませんが、全国のトップ選手と同じ場で滑れたことは素晴らしい財産になりました。この経験を生かし、今後日々精進していきます。最後にな

りましたが、佐藤副校長先生、大西先生、引率ありがとうございました。

国民体育大会(スキー競技会)に出場して

高2 西川 華

私は2月20日から23日に岩手県八幡平市で行われた第71回国民体育大会2016希望郷いわて国体のジャイアントスラローム競技に出場しました。今年にはインターハイにも出場したので、少しは楽にレースに臨めるかなと思っていましたが、国体にはオリンピックやワールドカップに出場経験のある成年選手が多数出場しており、インターハイと比ではないぐらい緊張しました。また、国体は県代表として出場するので、責任感を強く感じ、冷静さを保つことができませんでした。しかし、レースではインターハイのときよりも力を出すことができ、少し自信がつかえました。その一方で、長距離コースにも耐えるための体力強化や温度調節など課題が明確になりました。来年の国体はいつも練習している長野県白馬村で行われるので、さらに強くなつて上位を目指せるように頑張ります。



瀬戸内倉敷ツーデーマーチ フォトコンテスト

「参加者特別賞」受賞

(倉敷市、朝日新聞、瀬戸内海放送、
全日本写真連盟関西本部主催)
森谷 光子

ツーデーマーチに参加して3年目です。最初の2年は、2日とも20kmコースを歩きながら写真を撮ってコンテストに応募しました。幸運にも2回とも入賞しました。

去年の6月からは40kmコースを歩くことを目標にして毎日早朝の散歩を続けて、写真を撮りながら完歩しました。



今年も「参加者特別賞」を頂き、倉敷市役所で表彰式に出席することができました。

来年のツーデーマーチは第30回の記念大会です。来年も40kmコースを完歩できるように毎日歩こうと思います。

表紙の言葉

延平 茉姫

「古池や 蛙飛びこむ 水の音」

私はこの俳句から、蛙が飛び込んだ音に耳を傾ける様子が浮かんだのでその様子を彫りました。

「蛙飛びこむ 水の音」

というところから、水の波から音が伝わっていく感じを出したかったので波紋を彫りました。また、色をつける時に蛙の近くは蛙に近い緑色にして遠くは水の音なので水色というように色付けしました。

細かい作業が苦手で残す部分も彫ってしまったりして文字が細くなったりしたのが心残りですが、色をつける部分をしっかりと彫れて、色も割と思ったように塗れてよかったです。

この版画を彫って、周りの自然の音に耳を傾けてみようかな、と思いました。

イギリス 短期語学研修

3月19日~4月3日
イギリス・ロンドン郊外

中学3年生と高校1・2年生の生徒16名と引率教員1名(平岡留美)が、16日間のイギリス短期語学研修に参加しました。ロンドン郊外の、ブロックスボルンを中心とした町でホームステイをしながら、授業や現地の学校訪問、ロンドンやケンブリッジ観光など、生徒たちは目を輝かせながら、多彩なプログラムを満喫すると同時に、語学力やコミュニケーション力の重要性など様々なことを学びました。



コミュニケーションの大切さ

高2 望月 詩奈

私が今回この研修に参加しようと思った理由は、将来英語を使った仕事をしたいと思っ
ているため、学校での書くだけの英語の勉強だけではなく、実際に現地に行ってもっと英語力を伸ばしたい、自分の今の英語力を試してみたいと思ったからです。今年が学園のイギリス研修に

参加できる最後のチャンスだったので、参加を決意しました。

イギリスに向けて出発する前から、ホストファミリーの人と会話できるか、自分の言いたいことがきちんと伝わるか、とても不安でした。しかし、ホストファミリーの人は、ゆっくり話してくれたり、紙に書いてくれるなど、皆とても優しく、心配なくイギリスでの英語生活を送るこ



分から話しかけなければならず、最初の1週間程は、自分の言いたいことがなかなか伝わらず、とても大変でした。しかし、最後の日に「あなたの言っていることは分かったよ」と言ってもらえた時は、とても嬉しかったです。

この研修ではとても大切なことを、実際に体験して学ぶことができたので、本当に貴重な体験になりました。これからこのような体験ができる機会があれば、積極的に参加して自分の夢に向かって頑張りたいです。

積極的に動くとは

高1 奥野 佑一

イギリス短期語学研修に行つて、僕は少し変わった感じがする。それは「コミュニケーション」を積極的にすることを学んだことだ。

僕のホストファミリーは、マザー一人だけだったので、ゆつたりと会話する事ができた。例えば、好きな日本のテレビ番組だとか、マザーの姉妹についてとか、いろいろと話した。マザーから英単語を教えてもらい、僕が日本語を教える、という事も每晚した。

「これが、積極的に会話することかあ」と僕は気付いた。今までは「どうしたら積極的に会話できるのか」と思っていたのだが、この研修でそれが分かった。

現地の先生達とも積極的に交流できたと思う。先生は2人いて、どちらとも日本文化について関心があった。だから僕は先生から英語を教わり、僕が日本文化を教える、という感じで会話を進めた。時々、趣味の話もした。このような話をする時、僕は常に楽しみなが話してきた。日本文化を他の国の人に説明するのが好きだからかもしれない。とにかく、楽しかったとしか言えない。

現地校の訪問の時とか、町を散策した時はあまり積極的に会話できなかった。僕が何のことに

聞いたらいいのか、すぐに頭に思い浮かばなかったからだ。しかし、友達が開いている姿を見て、「ああ、こんな感じで聞くのか」と思ってきた。とにかく自分の聞きたいことが頭に思い浮かんだ時にすぐ聞く!という感じなのか



とができました。また、電子辞書の英語での日本紹介や、日本のイギリス旅行冊子などを使って、ファミリーと日本の事について話したり、イギリスの事について教えてもらったり、さらにイギリスと日本の違いについて話し合ったり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

現地の学校ではイギリスの文化やマナー、地理など、日本の授業では習うことができないことをたくさん知ることができました。現地の学校へ通うので、現地の先生や生徒達とたくさん話ができて、日本とイギリスの文化の違いを実際に体験することもできて、本当に貴重な体験になりました。

また、この研修では自分の英語力を伸ばすことはもちろん、コミュニケーションの大切さ、積極性など、他の大切なこともたくさん身に付けることができました。と思います。日本とは文化が違う、日本語も通じないので、全て自

なと思ったのだ。日本に帰った後も、これを実践してみようと心に決めた。

フェアウェルパーティーが終わった後、僕は泣きたくなった。このパーティーの後、日本に帰るので、僕は「物足りない」と思った。「もっとイギリスにいたいけど...」と思うと、涙が出てしまいそうだった。「もっとコミュニケーションを取ったかった」「もっとイギリスの事が知れたかった」そう思った。

ホストマザーや先生達、そして一緒に行った友達と会話をして、たくさん学んだ。やはり積極的に会話をする、コミュニケーションをとる、という事はこれからの世の中を生きる中で、大切である事を学んだ。自分が楽しくなるし、相手も考えている事もよく分かるようになる。それが積極的にコミュニケーションをとることだ、と僕は分かった。

そしてこのイギリス研修は、自分の中で一番の経験となった。ホストマザー、現地の先生方、友達など、係わった人達に感謝したい。

韓国・春川女子高等学校 第7回姉妹校交流

5月26日(木)～31日(火)



2009年に姉妹校縁組を結び、2010年から毎年交互に相手校を訪問してきた韓国・春川女子高等学校との姉妹校交流。第7回目の今年は、5月26日(木)から5泊6日の日程で金光学園に滞在し、15名の生徒と3名の引率の先生方が、学園生活と日本文化を満喫しました。

5月26日(木) 岡山到着

一行を乗せた飛行機は、午後8時過ぎに岡山空港に着陸。出迎えの教職員は到着ロビーで春川女子高校の皆さんを待ちました。大きなスーツケースを持った生徒と先生方が出てくると、日本での滞在にわくわくした春川女子高校の皆さんの素敵な笑顔が目に見え込んで来ました。学園には、午後9時30分ごろに到着。バ

スが学園に到着するやいなや、ホストファミリーの皆さんが待ち切れずに、出迎えてくれました。温かい歓迎の雰囲気にも包まれながら、顔合わせを済ませ、学校代表が簡単な挨拶を交わした後、各家庭へと向かいました。

5月27日(金) 歓迎式・学園生活体験

この日は1日かけて学園生活を体験しました。歓迎式ではホストスチューデントに加えて、中・高の生徒会三役、留学生のナディアさんも参加しました。これから始まる交流に対する大きな期待と少しの不安を胸に、緊張しながらお互いに自己紹介をしました。

2限の体育では卓球で汗を流し、高校1年生と交流。3限の英語の授業では高

5月28日(土) 宮島研修

春川女子高校の皆さんが楽しみにしていた宮島研修。たくさんいる鹿に驚きながら、宮島水族館、厳島神社など宮島を満喫しました。ショッピングやバスの車内でも、春川女子高校の皆さんとホストスチューデントはパートナーと仲良く話をしたりおやつを食べたりして、楽しく過ごしていました。宮島を案内したり、一緒にショッピングや昼食を楽しむことで初日の緊張や不安はすっかり消え、より一層友情を深めることができたように思います。

5月30日(月) 特別授業・倉敷研修・送別会

1限に中学3年2組の音楽の授業に参加し、一緒に歌を歌いました。3年2組の生徒も、春川女子高校の生徒も吉永先生のピアノに合わせて元気よく、爽やかなハーモニーを聞かせてくれました。2限からホストスチューデントとともに倉敷研修に出かけました。倉敷まで電車で行き、歩いて美観地区へ。初夏の暑さを感じながら美観地区を散策しました。お土産を買ったり、ソフトクリームを食べ

たりして楽しみ、買い物だけでなく美観地区の白壁の風情ある景観も満喫しました。アリオ倉敷で昼食を取り、電車の間までショッピングを楽しみました。倉敷研修を終え、学校へ戻り、ホストファミリーの皆さんと教職員代表での送別会を行いました。音楽部吹奏楽団の素晴らしい演奏が送別会に華を添えてくれました。最後に春川女子高校の皆さんとホストスチューデントがそれぞれひと言ずつ感想を語りました。多くの生徒がこの6日間の思い出を胸に、涙ながらに感想を述べ、別れを惜しまました。

5月31日(火) 日本出発 韓国へ

学園を午前7時出発。見送りを希望するホストスチューデントもバスに乗って、岡山空港へ向かいました。空港では、残りの時間を惜しむように話をしたり写真を撮ったりしていました。いよいよ搭乗時刻が迫り、出国審査場に入るときにも、別れるのがつらく、なかなか離れられませんでした。別れを惜しみ、涙、涙で見送りました。見送った後、ホストスチューデントのみなさんが、「次は私が韓国に会いに行く!」と口々に言っていた

校2年1組と3組の生徒と英語を使って交流し、少し緊張がほぐれた様子がうかがえました。6限目は高校生徒会総会に参加し、ステージ上で挨拶をしてくれました。また、春川女子高校からの希望で、今回はそうじも一緒に体験しました。放課後はペンパルとの交流、部活動見学をして、学園生活を楽しんでもらえたように思います。



のが印象的で、この6日間の交流を通して本当の兄弟姉妹のようにお互いを想う関係が築けたように思います。

生徒の感想文より

春川女子高校との交流は私にとって一生、忘れられない思い出になりました。昨年、私は春川にホームステイに行きましたが、今回は受け入れる側で去年以上の経験することができました。以前は全然話すことができなかった韓国語も、今ではたくさん言葉を使えるようになりました。春川女子高校の生徒の皆さんも日本の文化に触れ、すっかり楽しんでもらえたと思います。たった数日間でしたが、私はとても貴重な経験をしました。この交流に参加して本当に良かったと思います。

今回の春川女子高校との交流で受け入れをして、たくさん思い出ができ、春川の生徒との仲がとて深まりました。昨年、春川女子高校に行ったとき楽しかったのと同時に反省点がありました。ホストシスター以外の生徒と仲を深めることができなかったことと積極的になれ

なかったことでした。今年は受け入れをした生徒はもちろん、他の生徒と仲を深めようと心がけ、昨年はあまりしゃべらなかった生徒とも仲良くなることができ、すごくうれしかったです。今回の交流を将来につなげていきたいです。

今回初めての受け入れでとても不安がありました。その分とても楽しみでした。うちに来てくれた生徒の皆さんがとてもいい子で、同じ趣味もあり、仲良くなるには時間がかかりませんでした。言葉が伝わらないことはありましたが、お互い色々な言葉を使ってコミュニケーションもとり、短い時間で仲良くなることを知って、とても驚きました。お互いの国のことも知ることができとてもうれしかったです。視野が広がる貴重な時間でした。

私は今回で3回目の春川女子高校との交流をしました。1年前ホームステイを受け入れた子は日本語がとて上手でした。でも今回受け入れた子は日本語があまりできなくて、英語がとてできると書いてあったので、会話ができるか、仲良くできるか心配でした。でも5泊6日

という短い間でとても仲良くなることができました。今では隣にいない寂しさがありません。今回の交流では「英語にもっと力を入れたい」と思いました。また将来の為に韓国語を今から学ぼうと決心することができ、私にとつてとても良い経験になりました。

今回春川女子高校との交流において学んだことがあります。それはお互いの文化を理解することは本当に大切だということです。たくさん文化の違いや考え方の違いなどに困惑することはありましたが、相手文化などを理解することによって、新しく学べたことがたくさんありました。意識の違いを強く感じさせられ、もつと英語や韓国語を勉強してたくさんの人と関わりたいと、より強く思うようになりました。今回の交流が有意義なものになって本当に良かったです。ありがとうございました。

私は春川女子高校の生徒と交流することは初めてでした。そしてホームステイの受け入れも初めてで、最初は楽しみな部分もありましたが、少し不安もありま

した。しかし、春川女子高校の生徒のみなさんはその不安を吹き飛ばすほどのパワーを持っていました。何にでも興味を持ち、積極的に私たちに話かけてきてくれる様子に感動しました。6日間という短い間でしたが、私たちにとつて、とても濃い時間を過ごすことができました。来年も交流してみたいです。

最後に

こうして韓国・春川女子高校との7回目の姉妹校交流が無事終わりました。ホストファミリーの皆様をはじめ、交流に協力して下さった皆さん、本当にありがとうございました。

この6日はあつという間でしたが、春川女子高校の皆さんにとつても私たちにとつてもたくさん学ばせ、多くのことを経験した、素晴らしい交流となりました。

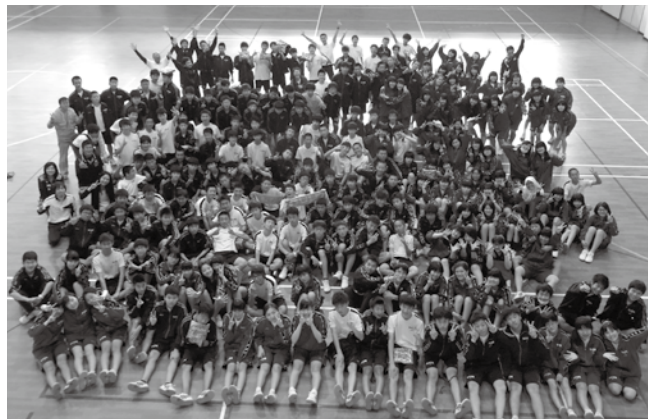
ホストファミリーの皆さん、ペンパルの皆さんはもちろん、歓送迎会や特別授業、研修や部活動などで多くの人が素晴らしい時間を共有しました。文化や言葉の違いがある中でお互いを理解し、思いやり、心を通わせることがいかに素晴らしい



しいことか、この交流を通して改めて実感しました。この交流で経験したこと、学んだこと、すべてが宝物です。来年は私たちが春川女子高校を訪問する年です。この素晴らしい交流がずっと続き、心を通わせる交流になりますように。



高1 入校時合宿



仲間のすばらしさを実感

1組 上川 滉太

入校時合宿。それは金光学園高校に入学して初めての行事だということもありとても楽しみにしていた僕たち。しかし、しおりを渡された時、思わず目を疑った。それは、入校時合宿という名のゼミ7つの学習合宿だったのだ。イメージと違い勉強だらけというショックもあったが、楽しい事も絶対あると思いつつ合宿へ出発した。

合宿地に着くと昼ご飯だったが、とても自由楽時間が長く、勉強のことを忘れるくらい友達といいい時間を過ごしていた。でもゼミの時間はくる。まずはゼミ4つ。ゼミが終わればバーベキュー&入浴タイム。それを励みにゼミを受けていたが、どのゼミも普段の授業とは違った感じで楽しかった。そしてバーベキューはあまり話した事のない人ともたくさん関わったり、肉を争い野菜を譲ったりして、とても楽しく友達とも仲良くなれたこの合宿一番の思い出となった時間だった。

楽しい時間はすぐ経ち、残りの2つのゼミへと向かう。そしてゼミが終わったのは10時頃だった。1日を終えた時、「始

の思い出だ。(まだ初めての行事だからか。)長いようで短い高1を全力で一日を大切に過ごします。

入校時合宿を終えて

2組 安達 しほ

私は当日の朝まで不安しかなかった。なぜなら、勉強ばかりのスケジュールについていけるかどうかということや、新しいクラスでちゃんとやっていけるかという不安が重なっていた。でも私は、自分なりに楽しもうと思った。

合宿が本格的に始まった。ますます不安になってきた。最初の授業は現社だった。授業の内容はおもしろくて、席が近い人と問題を出し合ったりして楽しかったが、どこかまだクラスになじめてないところがあった。でも、時間がたつにつれ、そんなことも忘れて、いろんなことを楽しんでいった。最初はそんな自分が不思議でしかなかったが、とにかくクラスになじめてよかった。

バーベキューやレクリエーションの時も、グループやクラスのみんなはもろんなことみんなが一つになっっているんことがたくさんできた。レクリエーション

めに戻りたい

な」と思うと同時に、明日への期待もあった。

そして寝る

時。でも寝る訳にもいかない。みんなで何をするか考えを練るが、そうする間にみんな寝る。朝起きて荷

物をまとめる時、終わりに近づいていると、ふと感じ何だか悲しくなっていたが、そう感じられるのも今しかないと思いつつ一日楽しんでと改めて思った。ゼミもあつという間に終わり、最大の目玉のレクリエーション。ドッジでは勝ち負け関係ではなくクラスの団結が見えたのが一番嬉しかった。そして総合結果も1位。一番欲しかったアンパンマンおかしを手にしてクラス写真を笑顔でパシャリ。入校時合宿が終わった。

この合宿を通して実感したことは仲間



ンでは、残念な結果だったけど、いろんなことを通して、クラスの団結力は2組が1位だと思った。これからの行事でもこの団結力をみせていきたいと思う。私はこの合宿を通して、たくさんこのとも学んだり、経験することができた。勉強の大切さ、クラスの団結力だ。また高校生活は始まったばかりだが、この合宿で教わったことをこれからの高校生活に活かして、後悔のないように高校3年間がんばりたい。

入校時合宿を終えて

3組 茅野 亜衣子

4月22日と23日の2日間、私たち新高1は広島島の「しまなみビレッジ」で入校時合宿を行った。

今回の合宿の葉を見たときに勉強ばかりの日程表を見て、正直行きたくなくなつた。それと同時に、もう高校生になつたのだという実感がわいてきた。

この合宿を通して学んだことは3つある。1つ目は、集団で行動するための規律を守ることが大切だということだ。中学生のころは先生に注意されることが多かったが、今回は「全員が先生や実行委



こういった行事や日常生活でも感じていることだが、仲間の大切さです。勉強ばかりの合宿だったが、1日目の昼食の後や、部屋に入ってから寝るまでの時間、2日目のレクリエーションなどの時間に友人と交流を深めることができました。初めて同じクラスになった人や、他校から入学してきた人とも一緒になって遊んだりして、とても楽しかったです。これは1人ではできないことです。そんな当たり前のことを感じて改めて仲間の大切さを学ぶことができました。

合宿で学んだことを忘れずに、高校生として自覚をもって行動していきたいです。

距離が縮まった合宿

4組 小坂 紘子

合宿に行く前は、同じクラスの女の子でも、敬語の混ざったぎこちない会話をしていました。そんな状態で始まった合宿。不安でいっぱいでした。

施設に着いて、昼食の後、どうしようか悩んでいたところ、同じクラスの女の子に「鬼ごっこしよう！」と誘われました。正直嬉しかったです。実際、鬼ごっこは



すごく楽しかったです。遠慮しなくていい。本気で楽しむことができました。

バーベキューの時は男女グループが一緒に話したことのない男子ばかり。食べ始めた時は沈黙でした。変な話ですが、他のクラスのある人のおかげで話せるようになりました。同じクラスでも知らなかった子がいたのですが、一応クラス全員を知ることができました。知っただけ

でなく少しですが話をすることもできました。

授業の時間では、順番にクイズに答えていく場面があったのですが、私は答えられる自信がありませんでした。そんな中「大丈夫、いけるー」そう言って励ましてくれる子がいました。その子は男子だったのですが、男子も女子も関係なく接してくれることがとても嬉しかったです。

2日目のレクリエーションでは、やっている人は一生懸命プレーし、見ている人は応援する。自然とそんな風になっているのを見て、クラスが1つにまとまったように感じました。今回の合宿で、どのように勉強したらいいのか、分からなかったものも分かるようになりましたし、友達の間、男女の間の距離を縮めることができました。私達のような他の中学校から来た人達にとってはたくさん友達の作り、仲良くなる良いきっかけだったと思います。

すばらしい友達ができた

5組 奥井 辰太郎

僕は入校時合宿に参加して本当によ

かったと思います。なぜなら、自分のことを気遣い、助けてくれるすばらしい友達が多かったからです。

僕は高校から金光学園に入学したので、友達ができるかどうかとても不安でした。今回の入校時合宿でクラスのみならず親睦を深められたと思います。

まず今回の入校時合宿では、合宿先のしまなみビレッジに到着した後にあったオリエンテーションやゼミ前の机運びなどの小さな事から、今まで喋ったことがない人と交流を楽しむことができました。

また、ゼミではいつもと違う雰囲気です。楽しく有意義な時間になりました。いつもと同じように授業する教科もあれば、クイズをしたり単語帳を配ってこれらの授業について話す授業もあり、これからの学園生活



から学園生活

とと思いました。

バーベキューでは食事係を中心にみんなで協力して、肉を焼いたり、後片付けができました。僕は食べるのも楽しかったけど、みんなと準備や後片付けを協力することも楽しいなと思いました。

合宿最後のレクリエーションでは、クラスで一致団結して雑巾がけレースとドッジボールを頑張れたと思います。ドッジボールでは5組のチームワークの強さで全勝することができました。1位にはなれなかったけどすごく楽しかったです。これからの3年間、学園で頑張っていこうと思える合宿でした。

勉強合宿を終えて

6組 福井 悠人

2日間の勉強合宿を終えて、勉強はもちろん、クラスの絆も深まりました。

今回、私は勉強合宿委員会をやらせてもらい、いろんなことを仕切らせてもらいました。その中で、みんなを仕切ることの難しさ、楽しさ、そして達成感を知ることができました。

はじめは、みんなの事がまだよく分からず仕切り方が分からなかったけど、

やっているうちに自分の指示で動いてくれるようになり、すごくスムーズに全てが決まっていきました。クラス対抗のレクリエーションでは、クラス全員が大いに盛り上がり、2位という結果も出て、クラスの絆が深まったと感じることができた瞬間でした。

今回の本当の目的の勉強面の方もすごく充実してできたと思います。いつもより、10分少ない40分は、すごく短く感じました。高校の勉強の方針も、おおまかに見えてきて勉強への取り組み方もかわりました。その勉強の中でも、いつもと違う歌を歌ったり、ヘキサゴンなどの授業をすることで、いつもの授業では見られないみんなの姿が見れて楽しく、クラスの事がよく分かりました。

このように、今回の勉強合宿をおして、勉強面はもちろん、クラスの絆も深まった、非常に充実した合宿となりました。これからはイベントの時は今回の事をいかし、盛り上げていきたいと思えます。



新たな一歩

1組 西森 翔眞

中学生になってほくは、新たな一歩をふみ出せた気がした。
中学校に入学して一番不安だったのは、クラスの友だちと1年間、仲良くし

ていけるかということだった。ほくは、金光学園からかなり離れているところから通学しており、友だちも、仲のいい人もだれもいなかったのだ。友だちがいないとこれからの行事も、委員も何も楽しくない。そう思い、駅で同じクラスの人に話しかけてみた。

「おはよう」とすると、その人は笑顔で、「おう」と返してくれた。そのとき、ほくは小学生の時はあまり声をかけなかったのに、中学生になって、知らない人に声をかけるといって、とても勇気のいることをしていたのだ。その瞬間、ほくは小学生のころより一歩成長できたんだと感じた。

中学生は、宿題も多いし部活もある。そして、先輩がいる。数多くの出会いや活動がある。その一つひとつを最後まで全力でやり切る集中力とねばり強さをもって、この1年をやりとげたいと思う。金光学園の合言葉にもあるように、友だちと協力し合い、自分も大切に、自分の物も人の物も大切に、勉強、部活、友だち関係を大切にしていきたいと思う。



中学生になって

3組 清水 麻理

わたしは、中学生になり勉強と部活動それぞれ、自分がしたいことをがんばりたいと思います。

勉強では、自分から進んで発表したり、「きつとこうだからこうなるんだ」と自分の意見を持って授業を受けたいです。家庭では、その日習ったことを復習し、分

からない所があれば、その問題を何度も見直したり教科書を見たりして、「だからこうなるのか」と分かるまで考えたいと思います。それでも分からないときは先生や友達に聞き、分かるまでがんばり、きちんと頭に残るような勉強をしたいと思っています。

部活動では、陸上部に入って最初の方はしっかりと体力をつけ、慣れてきたらたくさん試合に出て、それぞれの試合で良い成績を残せるように、日々がんばりたいと思います。また、走る基礎や走り方など先生方や先輩方にしっかりと指導していただきたいと思います。

まだまだ分からないことも多く、どうして良いのか不安になることもありますが、そんな時は先生方や先輩方に教えてもらい、少しずつ覚えていき分かることをどんどん増やしていきたいと思えます。

さらに学園生であることを誇りに思い、文武両



道で、勉強も部活動も日々励みたいと思います。そして、学園生活が有意義なものになるように精進していくことが出来れば良いと思います。

中学生になって

5組 山口 祐紀

楽しい時には笑い、苦しい時には支え合う友達。分からないことや、新しいことを教えてくれる先生方。これから始まる生活を私は頭の中で思い描いています。

そんな私は、中学生になってがんばりたいことが2つあります。1つ目はあいさつです。私は、小学生の時に「あいさつ運動をする委員会に入っていました。汗が出る暑い日も、雪の降る寒い日も、毎朝正門に立ってあいさつをしました。立っているだけでもつらいと感じる日があり、「もうやめよう」と考えたりもしました。それでも、自分

が言った一言と返してくれる人のあいさつで気分が良くなるのでやめられません。これは言葉の魔法なんだと思います。この経験を生かして、相手に届くあいさつを中学生になっても続けていきたいです。2つ目は、予習・復習です。中学生になって、授業が難しくなると聞いたことがあります。そのことを聞いたときに、私は不安でいっぱいでした。しかし、授業が難しくても内容を理解する工夫をすれば大丈夫だと思えば、心が急に軽くなりました。授業で教えてくださったことを振り返り頭に入れ、次の授業では何をするかを少し知っておくようにする工夫をしたいと思います。初めのうちは、予習・復習も難しく感じることがありませんが、こつこつとがんばっていきたいです。

これから通う金光学園での生活でがんばりたいこと、楽しみなことがたくさんあります。そのうちの「あいさつ」と「予習・復習」は特にこの1年間、毎日続けて努力を重ねていきたいです。そして、心に残る毎日を過ごしていきたいと思えます。

新入生歓迎会

新入生歓迎会

1組 橋高 優

私が、新入生歓迎会を受けて感じたことは、大きく分けて2つあります。

1つは、2年生、3年生の先輩方の、1年生への思いについてです。私達が、学園生活に早く馴染めるようにと、学園のルールや行事、部活について、楽しく、分かりやすく教えていただきました。1年生のためを思ってくださいました先輩方の期待に応えられるよう、行事、部活、勉強に、全力で取り組んでいかなければいけないと感じました。

そしてもう1つは、こんなに素晴らしい会を準備してくださった先輩方も、かつては私達と同じ1年生だったのだということ。今の私は、学園について分かっていない部分も多く、自分を管理することで手一杯です。それが、1年、2年経つと自動的に先輩方のように、他人のことも考えて動ける人になるのでしょうか。そうではなく、勉強、部活、人間関係など、



この学園で体験する全てのことに全力で、ぶつかって、失敗して、学んだからこそ、そうなることができるのだと私は感じました。

こうして、感じた2つの事について書いていくと、どちらも、自分のやるべきこと、やらなければいけないことにつながっています。楽しみ、学び、知る、という3つを感じる機会を作ってくださいました先輩方、先生方に感謝し、これからの自分の、成長していく上での糧としていけるように努力していきたいと思えます。

やっぱりすごい先輩達

3組 桑野 友美

「パチパチパチ」という盛大な拍手と、たくさんの人にむかえられた新入生歓迎会。入学して初めての会であったため、こ

の会がとても楽しみだった。

たくさん先輩達がしてくれた部活動紹介や各学年の出し物はどれもすごいと感じた。しかし、静かなイメージがあったが、実際は一発ギャグやかつらをかぶっておどったりしているのを見て、とても楽しかった。そのため、どの部活動も興味深く、どれに入ろうか迷うが私が一番に残ったのは「茶道部」だ。先輩達がみんな仲良く、楽しそうに紹介をしてくれたからだ。私も、この部に入ると決まったらこんな先輩達のようにみんなと仲良く、楽しく部活動をしていきたいと思った。体験入部がますます楽しみになった。

また、今日のこの新入生歓迎会で先輩達をしていた各学年の出し物の歌がみんなそろっていて、それぞれの学年の団結力がよく感じることができた。だから私も179人全員で力を合わせて、先輩達のように色々なところで団結してみんなと絆を深めていきたいと思った。それに先輩達の優しさも感じられた。なぜかというと、私達が花かざりをつけるのにこまっていると、先輩が優しくつけ方を教えてくれたからだ。だから私も、もし近くで困っ

ている人を見かけたら、先輩達のように優しく声をかけてあげたいと思った。

新入生歓迎会でうれしかったこと

5組 高原 月子

新入生歓迎会が16日土曜日に行われ、中学2年と3年の先輩たちがおもしろおかしく部活動紹介や出し物をして入学を



祝ってくれた中、私は部活動紹介が一番印象に残り、うれしかったです。各部に所属している先輩方が、部活動について詳しく説明してくれました。実際に披露してくれたり、キャラクターを紹介したり、作ったものを見せたり、所属している人を紹介してくれたので、とても分かりやすかったです。どんな部活動なのか、どんな人たちがいるのかなどをよく知ることができました。ほかに、劇などでももしろく紹介している部もあり、楽しかったしうれしかったです。

しかし、それよりさらにうれしいことがありました。それはどの部活動でも共通する言葉で、不安がっていた私たちを安心させる言葉です。音楽部吹奏楽団では、「入部したとき楽譜が読めなかった人」を紹介し、楽譜が読める読めない関係なく気軽に入ってきてねという気持ちを感じられました。また、その他の部も「未経験だった人」でも、今ではこんなにうまくなっているよということの説明で、私たちが安心させようという気持ちがかもっていでうれしかったです。

初め私は、学園生活や部活動のことが不安だったけど、この新入生歓迎会のお

かげでとても安心し、うれしかったです。これを機に、充実した学園生活にするために頑張ろうと思いました。



中1 入校時合宿

友情を深められた合宿

2組 三原百萌花

22日、23日を通して入校時合宿がありました。この合宿で、話したこともない人と話してみたり、クラスのみならずとも友情が深まりました。また、私は実行委員でした。実行委員が中心となりみんなをまとめるのはとても難しい事であるとわかりました。私は合宿で、学園歌コンクール、キャンドルサービス、集団ゲームが特に心に残っています。

たくさん練習してのぞんだ学園歌コンクールの予想以上に緊張しました。クラスのみならずとも息を合わせ、出だしの部分で特にながらばりました。その結果、優勝することができました。とてもうれしかったです。キャンドルサービスでは、



私は女神役をしました。最初は正直いやでした。また、不安も多くありました。暗い中歩く私。そしてみんなが囲む中、とても緊張していました。しかし、終わって思うと、こんな大切な役をできて良かったです。一人しかできない女神役。それはとてもすばらしい役なのだと思います。ことを実感しました。

体を動かし、クラスのみならずとも力を合わせないとできない集団ゲームは、とても楽しかったです。みんなで作戦をたてたがうまくいかず、しっぽ取りも5色綱引きも、思ったほど作戦通りにはいきませんでした。しかし、作戦がうまくいかなかったても、作戦を話し合えたことに価値があると思いました。

私は、この合宿でたくさんの友情を深めることができました。実行委員ができて良かったです。

笑顔あふれた入校時合宿

5組 赤沢 梨吏

私は入学時から入校時合宿をとっても楽しみにしていました。当初は入学したばかりで、友達ができるか少し不安でした。合宿できっと友達との友情も深まり、と

活動です。途中で同じグループの男子とはぐれることもあったけど、無事ゴールすることができました。ごみ拾い活動は、町がきれいになり地域のこともよく分かり、とても良い活動だと思います。このようなボランティア活動がまたあれば、ぜひ積極的に参加したいと思います。金光の町を少しでも知ることができ、とても気持ち良かったです。

次に、集団ゲームでは、綱引き、お玉リレー、しっぽ取りゲームをしました。特に綱引きでは、5組の団結力、協力、絆が見えました。初めはみんなで作戦をねり、意見を出しました。当日は、その作戦が良かったのか大成功。見事勝ち抜き、5組のみんなの笑顔と、やりきった満足感でいっぱいでした。とてもうれしくて、とても楽しかった集団ゲームでした。

私がこの入校時合宿で学んだこと、それは、協力、絆、友情、団結力です。2日間でしたが、自分が少し成長したような気がします。本当に楽しかった合宿、まず私の中で入学してからの1つ目の大切な思い出ができました。

最後に、この会を実行してくれた実行



でも楽しい入校時合宿になると思うと胸が高まり、合宿が近づくにつれ、いてもたってもいられませんでした。入学したばかりで初めての行事、1泊2日をみんなと共に過ごすことができるので、私は思い切り楽しもうと思いました。

とても楽しかった合宿、私は今回の合宿で特に心に残っていることが2つあります。それは、町内クリーンオリエンタリングと集団ゲームです。

町内クリーンオリエンタリングは、金光町のことをいち早く知るためにクイズに答えながら町内を回り、ごみを拾う



委員、私たちがいつも守ってくださっている先生方、いつも私たちを限りない愛情で見守ってくれている家族、そしてこの会を成功させた179人のみんなに感謝しています。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願ひします。



中3 沖縄修学旅行



一生の思い出になった修学旅行

1組 小林 礼佳

私は、3泊4日の沖縄修学旅行を通して、たくさんのお話を学ぶことができた。

まず、平和学習では当時の話を聞いた。ガマに入ったりして戦争の恐ろしさというものを改めて感じる事ができました。今では考えられないことが起こり、約70年の月日が経っているとは思えない

くらいのむごさを感じました。生きたいと必死に思っても、逃げ場もない、何もできないという状態は、どんなに苦しくて辛かっただろうと思います。ガマに入ると、真っ暗で奥深くにあり、人間が住んでいたとは思えないし、入口をふさいで生き埋めにしようとしたという話も聞いて、同じ人間がそんなことをしていたとは信じられませんでした。まだ学生なのに戦場へ行き、戦って、訳もなく殺されなければならぬ、あまりにも残酷な人生に私は、言葉を失いました。今



でいて、今までで最高の海でした。グラスボードでは、沖縄ならではの鮮やかな魚たち、サンゴを見る事ができ、良かったです。それから国際通り、美ら海水族館、植物楽園など友達と一緒に行動して、たくさんのお話が出た。笑顔あふれる時間を過ごす事ができてとても楽しかったです。地元の方々は、皆「めんそーれ！」と温かく出迎えてくださって、沖縄の人は良い人ばかりで恵まれているなと思いました。

私たちが生きている、大切な命を粗末にしないように、後世に戦争の悲惨さをしっかり伝えていき、もう二度と戦争のない時代をつくっていく必要があると思いました。そして、青い空の下にある澄み切った海は、想像をはるかに超える美しさでした。泳ぐと冷たくて気持ち良く、透き通っ

ことをたくさん学ぶことができない。命の大切さや、平和の大切さ、沖縄でしか感じられない貴重な体験ができ、そして一生の思い出となりました。この修学旅行で学んだことを日々の学校生活で生かしていき、大切にしたいです。

沖縄の3つの言葉

2組 杉田 愛佳

ずっと楽しみにしていた修学旅行がやっと来ました。お土産をたくさん頼まれて、私達は広島空港から那覇空港へと旅立ちました。

那覇空港へ近づくと、下にはエメラルドグリーンの海が見え、とてもきれいで

熱気があって、広島よりやっばり気温が高いななど感じました。出迎えてくださったバスガイドさんは、とてもかわいくて、歌の上手い方で、「あかねえ」とみんなで呼んですぐに仲良くなれました。その日、「あかねえ」が教えてくださった3つの言葉は、私のお気に入りの言葉になりました。それは「いちやりばちよー」「命どう宝」「ゆいまーる」という言葉です。「いちやりばちよー」は、「出会えば兄弟」とい



う意味で、沖縄の人々はこの心構えがあるからみんな仲が良く、フレンドリーなのかと思います。国際通りで出会ったお店の方も、みんな本当にフレンドリーで、気軽に話しかけてくださった。バスの中から外を見ると、信号待ちしているおばあちゃんが、にっこり笑って手を振ってくれたり、この言葉通りの、沖縄の人々の温かさを実感することができました。

「命どう宝」は、「命こそ宝」という意味です。沖縄県民が大切にしている言葉だそうで、沖縄戦があったことを忘れてはならない、命を大切にしないではいけないという思いがあるのだと思います。最初の2日間で、平和学習をし、その言葉を沖縄の方が大切にされている意味を感じることができました。「ひめゆり資料館」では、実際に体験された方のお話を

映像で見たり聞いたりして、沖縄戦の悲惨さを感じました。ガマの中の暗闇体験のときは、天井からのしずくの落ちる音しか聞こえず、光が全くなくて真っ暗でした。しかし、

「そこが真っ暗で良かった。そうでなければ、何を踏んでいたか、何を触っていたか分からない。見えていなくて良かった。」(当時の体験者は)話されていました。というガイドさんのお話が衝撃的でした。ガマから出るとそこには、普段私達が生活している平和な世界がありました。しかし決してガマの中であつた悲惨な出来事を忘れてはいけないと思います。ガマから出た後、私達は石碑の前で、今学んだ、ガマであつた出来事を忘れずにいよう、平和な世界になりますように、という願いを込めて黙祷しました。

「ゆいまーる」という言葉は、結び回る、お互いを助け合うという意味があります。この言葉のように助け合い、思いやりの心をもって行動すれば、戦争なんて起こらないと思います。沖縄で学んだこの3つの言葉を胸に、平和学習で学んだことを忘れずにいようと思います。

体験する大切さ

3組 末吉 里奈

修学旅行で、なんで勉強しなくちゃいけないの？行く前はそう思っていました。しかし帰る頃には、「もっと戦争について知りたい、学びたい」と思っていました。

平和祈念公園。話には聞いていたけれど想像を超える石の数と名前の量でした。それは地域別に彫られていて、岡山出身の人もいました。これだけ多いのに毎年まだ増え続けていると聞き、驚きました。自分の名前や、友達と同じ名前を見つけてはしゃいでいる人がいたけど、そんな場合じゃないと思いました。

魂魄の塔。ただ石が塔になっているだけ。そう思いました。しかしその下にはたくさんの人が眠っていると思うと、ただの塔には見えませんでした。私たちが作った鶴と平和宣言で、亡くなった人たちが安らかに眠れるといいなと思いました。

ひめゆりの塔。ひめゆり資料館。そこで私は初めて本物のガマを見ました。そのガマは、下に深く、よく見えませんでした。けれど中は真つ暗ということは分

かりました。ひめゆり資料館に入ると明るい外とは雰囲気が変わります。亡くなった人の写真や日記。写真の女の子は全員学生で、私と同じくらいの年に見えました。同じ年の女の子が戦争を体験して亡くなってしまったと思うと、怖くなりました。そして悲しくなりました。まだ、14、5年しか生きていないのに、やりたいう事や知りたい事はたくさんあったのに亡くなってしまったと思うと、本当に悲しくなりました。そして外にあったガマのレプリカを見た時、驚きました。ガマは下に下に伸びていて、平らなところは無く、人が座る場所、寝転ぶ場所は見つかりませんでした。けれど、そのガマは外科病棟として使われていました。その中でケガ人はベットで寝て、ひめゆり学徒は看病のために働きまわっていた。大変という一言では表せられません。

糸数壕。ガマに入るのももちろん初めてで、とても不安でした。入ってみるとやっぱり暗く、すこし怖いと思いました。遺物を見ると、靴、鍋、皿の一部などがあって、実際にここで生活していた人がいたと実感しました。道がボコボコしたり、天井が低いところもあったけど、ひ

めゆりの塔のガマに比べると、住みやすい方だなど思いました。暗闇体験では何も見えなくて、自分が目を開けていることも分からず、たった15秒なのに、とても怖くなりました。夜にここで寝ていた人はどんな気持ちだっただろう。そう思いました。

今回の平和学習で、戦争の悲惨さ、どれだけの人がくるんだかが、自分自身で体験でき、とても貴重な時間となりました。戦争を決して風化させてはいけないと思います。そして絶対に戦争をしてはいけない、その心を持ちながら生きていきたいです。

命の重さについて考える

4組 平松 果奈

沖繩の綺麗な海や水族館、国際通りなど本当に楽しくて修学旅行は最高の思い出となった。しかし私は1日目と2日目に行われた平和学習が忘れられない。平和学習は衝撃の連続であった。平和の礎では、刻まれた戦没者の名前の数に何も言えなかった。

「遺族はたびたびここに来て刻まれた名前に花を手向け、水でなでて、名前を洗っ

ている」

「遺族は名前だけになった夫や子供に会いに来て、話かけている」

という説明が私の心に突き刺さった。遺族はどんな気持ちで名前を洗っているのか。どんなことを話かけているのか。辛すぎて考えたくもなかった。そして刻ま

れた名前のはたの人の名前ではなく、失われた命の数であるということが、あまりの多さに信じられなかった。林先生の講演会では、戦争で亡くなった人はそのまま地面に転がったままにされて、次々と重なる遺体とともに、骨となってゴミのように山積みになっていったと言うのがとても悲しかった。現代では、1人の人が亡くなれば大勢の人が集まって葬儀をしてみんなが泣きながら花を手向ける。故人は最愛の家族や仲間達に見送ってもらえて幸せだ



と思う。しかし当時は最後まで願い続けてきた家族との再会もできず、寂しく一生を終えて、死んだことすら誰にも気づいてもらえず、いつの間にか遺骨の山積みにされていた。

人間が当たり前のようにそんな扱いをされてきたことが悲しすぎる。だから今からでも戦死した人々のことを思い、冥福を祈るべきだと思った。糸数壕では私は「ガマは怖いから入りたくない」と言っていたが「入らせたいだけ」という気持ちをお忘れずにと言われて改めて考え直して入壕に臨んだ。ガマは思った以上に真つ暗で、しんとしていた。負傷者の間で「あの部屋に入れられたら終わりだ」と言われた部屋があつてそこに重症患者が置き去りにされて、うめきながら死んでいた。麻酔など当然あるわけもなく、生身での

施術を行っていた。あまりの痛さに死んだほうが楽だと思っても、家族に会うためだけに手術を受けた。このような様子は映画でも見たが本当に自分が立っているこの場所で行われていたことが信じられなくて、とてつもなく怖かった。まるでうめき声や手術の叫び声が聞こえてくるようであった。しかしこのガマがあつたから助かった命もあるからガマに感謝しながら出口を出た。私はこの平和学習で戦争の恐ろしさを改めて感じて、平和の大切さを学んだ。戦争は二度と起こしてはいけないけれど、この戦争を乗り越えての今があるから、戦没者や戦争に耐えてきた全てのものに感謝しようと思つた。

平和をつくる

5組 久津間 梨花子

私は、3泊4日、沖繩で過ごす中で、人の命の大切さを学び、人というものについて深く考えさせられた。

平和の礎や糸数壕、ひめゆり資料館では、多くの何の罪もない尊い命が無差別になくなった現実を知ることとなった。今も無差別に人を殺す「戦争」は無くな

山の学習 中2



山の学習で体験したこと

1組 梶谷 悠

私は山の学習に対して、前日まで2つの気持ちがあった。1つは、運動が苦手な体力のない私が、大山登山を乗り切れるだろうかという不安だ。そしてもう1つは、普段経験しない活動がたくさんできるという期待だった。この2つの気持ちでいっぱいだったが、心の中で『今まであまり話したことのないクラスの人とずっと話す』という目標を決めた。

なっているかもしれない。けれど、それは今自分が平和である現代に生きているおかげなのだ。だから私は、日々様々なものに感謝し、それらを大切にしていきたいながら人の役に立てる自分を、みんなが安心して暮らせる平和な未来をこの手でつくっていききたい。口に出して言うのは簡単だ。私は、沖縄での経験を糧に夢を現実にしていきたいと思う。まだまだ分からないことはたくさんあるけれど、素晴らしい合言葉を持つ金光学園で、平和な未来をつくる方法を学んでいきたい。



修学旅行短歌コンクール

【第一席】 一組 黒川麻衣子
砂浜に。笑顔の花が。咲き乱れ
踊る水面も。まぶしく光る

【第一席】 五組 江原 雛子
予報雨 金光様に 晴れ願ひ
輝く海に 心躍らす

【第二席】 二組 中村 悠人
平和の世 それを願った 礎の名
自分の胸に 刻まれていく

【第一席】 二組 中塚 桃花
ただ一輪 切なく揺れる ひめゆりが
平和を願ひ 今日も輝く

【第三席】 四組 中塚 萌々
人々の 笑顔奪った 過去を知り
平和を願う 今も未来も

1日目は、にぎやかな1組らしく、行ききのバスの車内は、大盛り上がりだった。そして最も心配だった大山登山がやってきた。どこまでも続く階段を登り、岩を越え、風が吹き荒れる頂上付近を歩いてみると、正直もう止まってしまいたいと思う時もあり、1合がとて長く感じられた。でも頂上にたどり着いた時は、雄大な自然を前に感動した。少し晴れ、光が差した緑の山々はとても美しかった。

涙が出そうになった。
3日目の野外活動は、フラワーアレンジメントを選んでみた。大佐神社で行くと聞いていたので、和風な所なのかなと思っていたら、メルヘンな可愛い感じの部屋だったので驚いた。鏡に造花やリントゴを貼りつけていくのは、普段しないような体験で、心を和ませることができた。
2泊3日の山の学習で、私は大変多くのことを学び、自分自身を見つめ直せた。



想像以上に楽しく、どの日も笑顔が絶えなかった。しかし、自然の厳しさや恐ろしさも知った。今まで自分が山を甘く見ていたのだと改めて知った。キャンプでは、電気がないことの不便さ、いつも快適な場所で寝られることの大切さが身にしみた。そして「もつとみんなと話す」の目標は達成でき、そのことが一番うれしかった。今回反省しないとけない点は山ほどあるが、来年の修学旅行では、時間に遅れて迷惑をかけないこと、一般の方に配慮した行動をとることを心がけたい。この3日間を、私の人生の中でも大切な宝物にすることができて本当に良かった。

自然の厳しさを知った

2組 望月 杏奈

出発の1週間ほど前から、2日目と3日目が雨の予報になっていた。私は前日まで何回も天気予報を見ていたが、いつ見ても雨で、せつかくの山の学習が雨のせいで最悪だと思っていた。

24日の朝、やっぱり空は曇っていた。バスに乗って大山まで行った。バスの中から見えた大山はとても大きかった。私



はこんな大きな山に登れるのかなど、とても心配していた。でも、先輩達は楽勝だと言っていたので、『まあ、登れるかな』と大山を甘く見ていた。出発後、最初はちゃんと整備されている階段だったので、あまり疲れることなく登ることができた。しかし、頂上に近づくにつれて地面が不安定になっていった。その辺りはとてもすべりやすく、何度も転びそうになった。でもその時、同じ班の人が「大丈夫？」と言ってくれたり、手をさしの

べてくれたりして、とても助かったし元気づけられた。『頂上に着いても、曇りだから、澄んだきれいな景色は見られないだろうな』と思っていたが、頂上から見た景色はとてもきれいだった。頂上でクラス写真を撮った時は『がんばって、あきらめずに登ったかいがあったな』と達成感を感じた。全員は登りきれなかったが、その人達の方までがんばれたと思った。

2日目、大佐山キャンプ場に移動した。そして、テントを設営した。私はキャンプをしたことはあったが、テント設営は親の手伝いをするくらいで、自分達だけでテントを立てたことはなかった。でも、ちゃんとできるか不安だった。でも、班の人達と協力してテントを立てることができた。この時、仲間で協力することの大切さを学んだ。その日の夜、キャンプファイヤーがあった。私はエールマスターで、本番の2週間ぐらい前から計画を立てて準備をしていた。最初は正直、少し面倒くさいなと思っていた。でも、キャンプファイヤーの第3部で全員の火がついたのを前から見た時、ここまで頑張ってきて良かったなと思った。私は

エールマスターの出し物で、ゲーム担当だった。ゲームを考えるのは意外に難しく、『全員が楽しめるゲーム』を考えるのに時間がかかった。私たちが考えたゲームは「フラフラプくり」というゲームだった。本番で、みんなそのゲームをやってみると、全員楽しんでくれた。ゲームをしている時のみんなの笑顔を見ると、苦労して良かったなと思った。スタンプをやっている時に雨が降ってきて、『ここで中止になるのかな』と思った。みんながカッパを持ってきて、元の位置に戻る頃には雨は弱まってきてすぐに止んでくれた。これはみんなの思いが集まって、雨を止ませてくれたのだと思った。第3部の最後に183の光がついた時、エールマスターをやりきった達



達成感を味わった。183人が集まって協力すると、何でもできるような気がした。

最終日は野外活動があった。外の活動で中止になったものもいくつかあるが、私はフラワイアアレンジメントだったので活動することができた。楽しかったので、楽しんでよかった。

私が山の学習で一番学んだことは、自然の厳しさだ。晴れの方が楽しかっただろうけれど、雨じゃないとできないこともあったし、天気は自分で決めることのできないから、自然はとても厳しいものだと思った。

どんなことも乗り越えたい

3組 中川 弘渚

私は、4月頃にこの大山登山について知り、足の怪我に不安を感じていた。小学生の頃から足に怪我をしていたのに、怖くてずっと手術ができていなかった。しかし、この大山登山には絶対に参加して頂上を目指したいと思ったので、ずっと避けていた手術をすることに決めた。そして、手術当日、心の準備はしていたのに、名前を呼ばれて処置室に入り「じゃあ、麻酔をします」と言われると、怖く

て1回考え直すことにした。そして、手術をするのをやめようとしたのだが、たくさんの友達や家族が応援してくれていると思い、頑張った。

自分の不安要素がなくなり、『みんなと一緒に山頂を目指せるんだ』と嬉しかったが、心の中では、頂上まで登れるか不安でいっぱいだった。班のみんなで色々計画していくうちに、とても楽しみになっていた。

登山当日、私はとてもうきうきしていた。正直、山登りを甘く見ていた。気楽な気持ちのまま、バスの中では友達と「楽しみなだね」と話していた。けれども、登り始めてすぐに心の中で、『え、こんなに大変なの』と叫んでいた。5合目頃には、リタイアすることばかり考えるほど辛かった。それでも、友達の励ましや先生方の応援のおかげで、なんとか頂上で登ることができた。頂上で見た景色は絶対に忘れないと思う。そのくらい、とても達成感があった。だから、あの時あきらめなくて良かったと改めて感じた。

次の日のキャンプでは、雨が降ったり止んだりだったが、自然を感じて楽しめた。キャンプファイヤーのスタンプでは、

あまり練習していなかったが、クラスのままとまりや協力があって、成功することができた。

この山の学習を終えて、クラス全体の団結力が強まったし、友情も深まったように感じる。最高の思い出となる山登り。大変だったが、家を出る時に「みんなができることは、弘渚もできる」と母に言われたことが頭を何回もよぎり、あきらめないことの大切さと達成感を学んだ。

今後の人生で、もっともっと厳しいことに直面するかもしれないが、この山の学習での経験を思い出して、どんなことも乗り越えていこうと思った。とても良い思い出ができて、とても勉強になった。

山の学習のすばらしさ

4組 萬木 萌日

今回の山の学習を通してたくさんの思い出を作ることができた。その思い出の1つは、大山登山だ。大山に行くバスの中で友達と会話をしている途中、大きな山を見つけた。私は、その山が大山だと知り、あの山に登れるだろうかと心が不安と期待でいっぱいになった。現地に着き、歩いてみると思ったより段差は高

かったが、道は整備されていたので歩きやすかった。また、大山の植物などを肌で感じる事ができた。7合目の辺りで、がけが地層になっていてことを発見した。その地層は断層の色が違い、初めて直接見たので目に焼き付いた。道のりは思っていたより楽だったが、まだかまだかと、大山の頂上までの距離を感じた。しかし、自らあきらめることはなく、風にあおられながらも頂上へ登ることができた。頂上からの景色はとても美しく、山や町の風景など辺り一面に広がるようであった。私は、生まれて初めて登山を行ったので、とてもよい経験になったと思う。

思い出の2つ目は野外活動だ。私はロッククライミングに挑戦した。それは、私がテレビで見たものとは違い、自然の岩を使った活動であったので驚いた。命綱もなく、素手で登るものであった。実際に体験してみると、雨が降っていたのでとても滑りやすく、難しい活動であった。きつちりと足を置く踏み台もなかった。最初の方は簡単にこなすことができた。しかし、途中からは何度くり返してもなかなか成功しない。私は負けず嫌い



切さだ。3日間を通して、自分の力だけで何かを行うことはあまりなかった。たくさんの人々への感謝の気持ちを忘れないことが大切だと思う。

2つ目は、自然の中で暮らす体験だ。この体験を通して、今、私たちが暮らしている生活がとても便利で恵まれていることに気づけた。だから、毎日感謝の気持ちを忘れずに暮らしたい。

山の学習を終えて

5組 塚本 千紘

バスの窓から見える大山は、想像していたより大きく、本当に登れるか不安になった。でも、最初からあきらめていたら無理だと思い、『絶対に登れる』と思うことにした。バスから降りて、一本一石運動の募金贈呈式を終え、いよいよ登山が始まった。最初から階段があって、遠くの方まで続いていたけれど、みんなと話しながら登ると楽しく、全然辛くなかった。しかし、それも最初のうちだけで、『余裕、余裕』と言っていた人も、五合目を過ぎると、すごく辛そうな顔をして

いた。私も辛かったが、リタイアは絶対したくなくて頑張った。8合目を過ぎ、

『あと2合なら絶対登れる』と思い、さらに頑張って階段を登っていると、右足に「ピキッ」と強烈な痛みがはしった。私は、まだ大丈夫と思い、もう一步階段を上があった。すると、またしても右足に「ピキッ」と強い痛みがはしった。今度はその前よりも強い痛みで、私は思わず、足を抱えて座り込んでしまった。後ろにいた友達がすぐに先生を呼んでくれたが、とても歩ける状態ではなかった。私は、『せつかく8合目まで来たのに』と思いつながら、あきらめかけていた。すると、後ろから同じクラスの友達が登ってきて、『大丈夫か？絶対に登ってこいよ！5組魂見せるよ！』と言って励ましてくれた。私はこの言葉を聞いて、何が何でも登ると心に決めた。他のクラスのみんなも「大丈夫？」と声をかけてくれて、本当にうれしかった。ガイドさんと先生が、マッサージュや水分補給をしてくれたおかげで歩けるまで回復し、私は、頂上に到達することができた。初日のこの大山登山で、仲間の大切さと自然の大切さを学べた。

2日目のキャンプファイヤーやスタンプは、直前の曲変更に合わせて、振り付

けや並ぶ時の隊形などたくさんの変更があり、どうなることかと思ったが、5組のみんなの対応力で成功することができた。残念ながら、星空観測は出来なかつたが、その代わり、5組の団結力が今まで一番見えたような気がした。

3日目の野外体験では、可愛く鏡を飾ることができた。最後に突然、インスタクターの方へのお礼の言葉を依頼されたが、自分なりの素直な感想が言えてよかったと思う。

この3日間、学年とクラスの団結は深まったが、クラスの課題が見えた。周りを見ることが欠落している点。また、自然の厳しさ、仲間の大切さなど、多くのことを教えてくれた今回の山の学習は、本当に最高だった。自然に教えてもらった改善点と伸ばしていきたい点を見つめ、これからも頑張りたい。

探究

授業報告



中3探究

○パターンブロック

読解力、表現力、チームワークの育成を目的にグループで得点を競いました。いろいろなパターンに組まれたブロックを、友達に文章で伝え、それをもとにブロックを組み立てていく内容です。他教科とは異なる内容に新鮮さを覚えたようです。

○ストロー斜塔

発想力、発表力、チームワークを育成することを目的に、ストロー40本を使い斜塔を組み立て、最高100gまでのおもりに耐えられるかを競いま



す。生徒たちは、チームで話し合いながら、柔軟な発想力で様々な斜塔を製作し、コンセプトを発表しあいました。

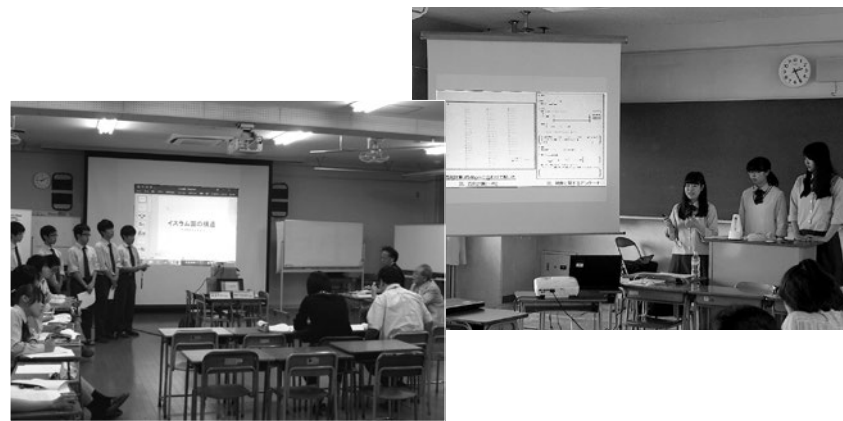
○探究講演会

K. I. T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「決める力と伝える力の鍛え方」を教わりました。緊急状況において、何を捨捨選択するのか、どのように優先順位を決めるのかという考え方を学ぶことができました。

高1探究

○プレゼミ活動

3つのグループに分かれ、「新興国・発展途上国との多文化共生をめざして」というテーマに関する研究内容の探索、「地域（地方）のグローバル化にむけて私たちができること」というテーマに関する



研究内容の探索、理系プレゼミでは生物「土壌動物の観察、ヒトの脳の働き、ニワトリの脳の解剖」、化学「ビタミンCの量を調べよう!」、数学「ハノイの塔」の実習をそれぞれ順番に取り組みました。

高2探究

○探究講演会

K. I. T虎ノ門大学院の三谷宏治先生をお招きして、「発想力」について教わりました。

「今までに教えてもらっている知識、常識にとらわれると、新たに発想することをしなくなる」とや「日本人は座って悩む習慣がある、まず動くことから始めよう」といったお話をしてくださいました。また、紙コップのような身近なものにも多くの工夫されている点に気付かされ、物の形には必ず理由と歴史的な背景があることもわかりました。

○探究Ⅱ

文系ゼミは昨年度に引き続き、教育制度ゼミ・グローバル経済ゼミ・岡山再発見ゼミ・NIPPON QUESTヤミ・



Anime&Cartoonsゼミの5つのゼミで、それぞれで分担しながら研究を進めました。ゼミによっては、校外へ出張して専門家の貴重なアドバイスを頂いたようです。理系ゼミも昨年度に引き続き、化学ゼミ・情報ゼミ・天文ゼミ・物理ゼミ・化学ゼミ・生物ゼミ・スポーツ科学ゼミの7つのゼミで、グループ研究または個人



研究に取り組みました。理系ゼミは6月1日(水)に、文系ゼミは6月2日(木)に中間発表会を行い、多くの大学の先生方などからアドバイスを頂きました。今後は、これらのアドバイスをさらに研究・調査を進めていきます。

高3人権講演
「見えないから見えたもの」
前岡山盲学校 竹内 昌彦先生

1組 藤原 南

今日の竹内さんの講演を聞き、確実に私の人生観が変わった気がします。これからは今日の竹内さんの言葉を思い出し、逃げなければ、きつと明るい未来が待っているということを自分に言いたいです。命がどれだけ尊いものかということも知りました。ここに生まれたことは本当に奇跡で、自分の命をもっと大切にしようと思いました。私が今悩んでいることは、本当にちっぽけなことだと思いました。こんなことに屈することなく、自分をしっかり持って生きていこうと思いました。竹内さんに負けないくらい大きくてかっこいい大人になりたいです。

2組 中西 桃香

私は今日のお話を聞いて障がい者の方に対する見る目が変わりました。慣れれば私たちと同じように生活していくこと



ができるというのを聞いて、これから障がい者の方に対してどのように接していくか考えるようになりました。

竹内先生の目が見えなくなったりとき、先生のお母さんは泣きわめいたそうですが、それは親というものが誰よりも子どもの幸せを願っているものだからだと思います。竹内先生の最後のお願いに「人に『ありがとう』と言われる経験をたくさんすること」というのがありました。何が起るかわからないこの大きな世界で、悔いのない生活を精一杯送っていきたいと思います。この話は一生自分の中で響いていくと思います。

3組 黒田 優良

竹内先生のお話では、人生で絶望はしたとおっしゃっていましたが、何かを諦

から始めてみようと思った。私が竹内先生のお話を聞いて学んだことは3つあります。1つ目は「親を大切にする」ということです。一番近くで見守られ懸命に育ててもらっていることがどんなに幸せなのかを、改めて思い直すことができました。2つ目は、「自分の命を大切にする」ということです。自分一人ではないということを忘れずに、前に進んでいこうと思います。3つ目は、「毎日強く生きる」ということです。私は大きな怪我をして、当たり前にしていたことができなくなる辛さを感じました。しかし、竹内先生のお話を聞いて、どんなに辛いことがあっても、逃げずに頑張っていこうと思いました。

6組 遠山 智子

私は将来、学校の先生になるという夢があります。「子ども達の心は真っ白です。その子ども達をどのような方向に持っていけるかは、周りの環境とその担任の先生にかかっています」というお話を聞いて、私は子ども達を良い方向に導いていくことのできる先生になりたいと思いました。

4組 中見 順平

めようとは一度もしていないということ、それから何かあったときはまず行動で示すべきだとありました。困難に立ち向かうことによって自分を、誰かを幸せにすることができるというなら、ぜひともそれに向かっていたいと思います。

人にはそれぞれの役割があるといいです。健康な体で産んでくれた両親に感謝しつつ、これから自分が生きて行く意義を見つけていこうと思いました。僕は将来、理学療法士になりたい。理学療法士は仕事柄、竹内さんのように盲目であるうえに、体が動かない人へのリハビリをすることもある。僕は今までリハビリとは患者さんの体が動くか動かないかを左右する、いわば患者さんの人生を背負うことになる責任の重い職業だと思っていた。もちろん、それは間違っていないが、患者さんにも患者さんが生きてきた、描いてきた生き方があるということを全く意識していなかった。それは、僕が患者さんを動くようにしたいと思う気持ちが強すぎて、患者さんが描いてき

7組 磯崎 真理子

竹内先生の負けん気の強さはすごいな、と思いました。失明されて、勉強や進路のこともたくさん悩まれて、自分したい事ができないという状況でも見方を変えられたことに驚かされました。いつもたくさんの人に支えられて生きていると心のどこかで思っていたけど、自分ではその恩を返せていないということにも気づかされました。もっと日頃から、伝えられるときにちゃんと伝えて、いつも支えられているように、私も他の人を支えられたらいいなと思います。

現在の世界ではだいたい支援が進んでいるといっても、やっぱり一人ひとりの意識が一番重要なんじゃないかなと改めて感じました。だから、

今後、障がいのことを正しく理解して、自ら進んで手伝った、行動したりできる人が少しでも増えるように、今日聞いた話をたくさんの人に伝えていきたいと思っています。



た生き方を全く意識していなかったからだ。竹内さんの話を聞いて、体が不自由な人にもしっかりとした人生の絵図があるということを知り、教えられた。今回の講演で自分の将来のためだけでなく、人としても大きく成長することができた。

5組 中島 佑太郎

自分が今、五体満足で目も見えて耳も聞こえて普通に生活できている喜び、幸せを最大限に感じた。私たちは何でも制限なく求める。一度満足を覚えてもすぐに忘れて、もつともつと欲が尽きない。でも、竹内さんは「人生で一番うれいのは、人として一番大切なのは、誰かの役に立って誰かに感謝されること」とおっしゃった。自分はハツとした。いつも自分のことだけを考えて、私利私欲のために行動していないか。周りの人間に優しくできているか。

周りの人を大切にして好かれる人は、まず家族に対しても優しい。自分はそこからできていない。でも一番身近な家族を大切に思いやるのができたら自然と人は寄ってくるのではないかな。まず家族。弟のことをもっと大事に思いやるころ

ある日のホームルーム



中学1年2組

4月11日(月)の3、4時間目に、中学1年生の学級開きがありました。場所は各担任が選び、1組は木綿崎山、2組は記念講堂、3組は小体育館、4組は柔道場、5組はほつま体育館でそれぞれ行われました。そして今回、長谷川亜矢先生担任の1年2組の様子を拝見させていただきます。

まだ入学して3日しか経っていない子どもたち、やはり初めはみんな静かな様子でした。まず、長谷川先生から中学生としての心構えや担任の思いなどの話があり、みんな先生の方を向いてしっかりと話を聞いていました。次に、クラスの親ほくを深める第一歩としてお互いの名前を覚える名前ビンゴゲームを行ないました。まず、真ん中に自分の名前を書き、その後他の生徒1人ずつとお互いが

自己紹介しあい、相手の名前を自分の用紙に書いてもらうというレクレーションでした。初めは1対1でお互い自己紹介しあうことに恥ずかしさが見られました。時間が経つにつれてだんだん打ち解けあい、「あと、誰とやっていないかなあ」と言いながら、積極的に話しかける生徒も多くみられました。中には照れがあり、最後まで自分から声をかけられない生徒もいましたが、長谷川先生がサポートしながら、なんとか全員24名の名前を書く(マスを埋める)ことができました。その後マスが埋まった用紙を用いて行われたビンゴゲームは、とても盛り上がりました。

ビンゴゲームが終わったら次は仲間づくりゲームです。「男2女3人組」とか、「同じ誕生日の人」などと指示を出し、



時間に間に合わなかった人がみんなの前に出て自己紹介し自分を覚えてもらうものでした。前に出た生徒は、自己紹介画を持って自己紹介を行ったので、その人の個性も垣間見えました。自己紹介画とは、4つ切りの画用紙に、自己プロフィールに加えて、絵を描いたり写真を貼ったものとして生徒たちが自分で作ったもので



す。どれも工夫を凝らした素敵なものに仕上がっていました。

楽しかった時間もいよいよ終わりを迎えるようでした。学級開きの最後は、男女6人のグループを6つ作り、各グループからリーダーを選出。リーダーが中心になって好きな数字をグループごとに選んでもらいました。これがクラスの第1期班編成です。席決めや班新聞など、これから班で行っていくべきことを指示したあと、円になってリーダーから自己紹介を始めました。これは、友達の名前を再確認するいい機会だったと思います。次の人は「○○の隣の○○です。」と続けていき、6人目の人は「○○の隣の○○の隣の…」と5人の名前を覚えてくなくてはいけなくなり、笑い声と名前を教え合う声とが入り混じる和やかな雰囲気です。学級開きは幕を閉じました。

長谷川先生は、「2組は元気で、けじめをつけることができるクラス」だとおっしゃっていました。その後のアンケートを見ると、生徒も担任と同じ気持ちで共有していました。

今日の学級開きは生徒にとって、とても有意義なものになったと思います。今

日の様子を見てみると、確かに2組は元気もあるけどはじめもつけられる良いクラスだと思いました。しかし、中学校生活は始まったばかりだし、中学校1年生も始まったばかりです。この先困難があっても、お互い助け合いながらこの1年を過ごしてほしいと思います。

長谷川先生のクラス運営の上手さを目の当たりにした今日は、「2組の船出」にふさわしい一日でした。



あせをかくほど

中1 櫻田 愛羅

この芸術鑑賞を見ての感想は、すべての曲がきれいで、演奏していた人たちがみんなあせをかいてびっくりにしていました。私たちのために一生けん命演奏していて、とても感動しました。自分は音楽の時間などでそんなにあせを聞いたことありません。しかし、見ていると、何度も楽譜をめくって、長い曲をたくさん練習しているのを感じました。指揮をしている人も、一曲が終わると、タオルであせをふいていました。このようならば、楽しい曲をたくさん聞くことができてもうれしいです。私を知っている曲も演奏していましたが、あらためていい曲だなと思いました。

そして、もうひとつは、私が知らない楽器をたくさん見て、こんな楽器もある

んだなと感じました。今回の芸術鑑賞はとても心に残りました。また、このような機会があるときは、ぜひ聞いてみたいと思いました。

自分だけの特別な物語

中2 瀬崎 萌々子

この度はお忙しい中、大阪市音ウインドオーケストラのみなさんが金光学園中学・高等学校に来てくださり、とても感謝しています。

私は音楽をじっくり鑑賞しないので、このような体験ができることはとてもありがたいことだと思っています。迫力ある曲やしっとりとした曲など、様々な曲があつて素敵でしたが、中でも良かった曲は、曲名は忘れましたが、目をつむって耳を澄まして聴くと想像力が働き、自分だけの特別な物語を作ることができるの



だと気付きました。曲には本と同じように、想像力があるからこそ、音楽を聴くことで落ち着くことができる実感しました。金光学園の音楽部吹奏楽団の人たちも、今まで一生懸命練習してきたからこそ最後の演奏をきれいな音色で飾ることができたのだと思います。私もこれから、音楽についてゆっくり考えてみたいと思います。

プロの力を知った

中3 服部 直樹

今日は、大阪市音ウインドオーケストラの演奏を聞いて、そして共演させて頂いて、本当にプロはすごいなと思いました。普段は学校の中での演奏で、プロの方と共演することはめったにない中で演奏は、貴重なものとなりました。最初のチューニングからとても素敵な音色で、美しいハーモニーがとても印象的でした。トロンボーンのスロもあり、見ている飽きることはない演奏で、芸術鑑賞にピッタリだと思いました。

プロの方がどういう練習をしているのか、練習日程はどういうものなのかが気になりました。私達も少ない時間の中で、



どれだけ集中してポイントを押さえた練習をするかが、技術向上に関係してくるのだと思いました。

今日は本当にいろいろなことを芸術鑑賞で学びました。この経験を今後の多くのことで活かしていきたいです。

本当の「音楽」

高1 細川 未希

今日の鑑賞会では、改めて音楽の素晴らしさ、表現というものの奥深さを味

わった。

指揮者の気迫、なめらかな演奏、力強い演奏。それらによって、喜び、悲しみ、楽しさといった感情の全てが、音楽という媒体で表現され、伝えられる。まさに、音楽という一つの世界の住人になったような感覚だった。

演奏の途中、何度「これらが全て、この場で生み出されているなんて、信じられない」と思ったことだろう。しかし、目の前で演奏されているのは、紛れもなく本当の「音楽」なのだ、身を持って感じられた。

今回の鑑賞会は、心から楽しみ、芸術により親しみを持つことができた。これを忘れず、普段の生活でも、表現することの大切さ、素晴らしさを味わっていたと思う。

僕を勇気づけた演奏

高2 伊藤 祐輝

今日の演奏を聴いて、とても上手だと思いました。今まで僕はプロのオーケストラの演奏を聴いたことがないので、今日聴くことができて本当によかったです。

平成28年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以东	7/ 9 (土) 14:00～16:00	岡山県生涯教育センター ミーティング室1・2・3 (情報創作棟2F)	小畑 成田 吉森 岡崎
2	倉敷第1	7/ 2 (土) 18:30～20:30	ライフパーク倉敷	垣内 妹尾 塚田 小郷
3	倉敷第2	6/25 (土) 14:00～16:00	倉敷市民会館第4会議室	佐藤副校長 原田 山本幸 内田 天野
4	倉敷第3	7/16 (土) 14:00～16:00	倉敷市民会館第3会議室	佐藤副校長 守分 小橋 中村歩 土井
5	玉島東	7/ 3 (日) 10:00～12:00	玉島市民交流センター	幸裕 水岡 梶 亀田
6	玉島西 黒崎	7/ 3 (日) 10:00～12:00	玉島市民交流センター 第3会議室	岡辺 平田 東山
7	富田 長尾 船穂 真備	7/16 (土) 19:00～21:00	玉島市民交流センター 第4会議室	服部 平川
8	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7/16 (土) 13:30～15:30	ほつま記念ホール (中ホール)	小野 有馬 鳥越
9	大 谷	7/ 7 (木) 19:00～21:00	大谷消防機庫 2F	山下 佐藤径
10	須恵 佐方	7/ 2 (土) 19:00～20:30	佐方コミュニティハウス	定金 松田
11	鴨 方	7/ 1 (金) 19:00～20:30	浅口市中央公民館大講 義室	新谷 奥野 高田
12	六条院	7/ 8 (金) 19:00～21:00	浅口市中央公民館第3和室	吉永 水野
13	寄 島	7/ 5 (火) 19:00～20:30	浅口市ふれあい交流館 サンパレア	藤原 園田
14	里 庄	7/16 (土) 17:00～18:30	里庄町図書館	山本澄 幸相夕 高司
15	笠岡東	7/16 (土) 19:00～20:30	サンライフ笠岡第1研 修室	藤井 村山
16	笠岡西	7/ 8 (金) 19:00～21:00	笠岡中央ふれあい会館	平岡 亀山
17	笠岡北	7/ 7 (木) 19:00～21:00	北川公民館	長谷川 森下 平賀
18	井 原	7/ 2 (土) 18:30～20:30	アクティブライフ井原	中村耕 久繁 志手
19	福山第一	7/ 8 (金) 19:00～21:00	福山市生涯学習プラザ (ローズコム内)	坂口 籠崎 瀬戸
20	福山第二	7/ 9 (土) 19:00～21:00	福山市市民参画センター	金光校長 田中 石田 久保田 小松原
21	福山第三	7/16 (土) 19:00～21:00	福山市人権交流センター	友田 細川 北川
22	福山第四A	7/ 2 (土) 19:00～21:00	緑丘公民館	谷野 岡田 佐藤洋 滝澤
23	福山第四B	7/18 (月) 10:00～12:30	緑丘公民館	西山 内村 土谷
24	福山第五	7/ 3 (日) 13:30～15:30	福山北部市民センター (第1学習室)	安田 久野 角南
25	松 永	7/ 3 (日) 9:30～11:30	松永公民館第1会議室 (西部市民センター内)	山路 戸田
26	尾道・三原以西	7/15 (金) 19:00～21:00	テアトロ・シェルネ	中島 大西
27	止 宿	7/ネットにより個別に相談	個別に相談	石井 井上



もし、僕が楽器を演奏するとしたら、サクスカトロンボーンがしたいです。今日の演奏のソロを見て、聴いて、とてもかっこいいと思いました。ブラスバンドのみんなもとても楽しそうに演奏していて、何とにか羨ましかったです。コーラスで言ったらどの団体と一緒に歌うことになるのだろうと考えて、誰であろうかと絶対に楽しいし、一生心に残ると思いました。

ターウォーズの曲が映画館で聴くような臨場感があり、とても楽しめました。他の曲も全てCDで聴くような音楽でした。司会の方も心をつかむような感じで面白かったです。今までの芸術鑑賞の中で一番心に残りました。聴いていると明日からも頑張っていこうという気持ちになりました。この気持ちを忘れずにこれからも何事も頑張ろうと思います。

かけがえのない体験に感謝
高3 田邊 純菜

最初の音合わせの時点から鳥肌がたつほどきれいな音色でした。5月で引退した身なので、このすごくきれいな音合わせを是非、現役の後輩たちに吸収してもらって、今後に生かしてほしいなと思いました。

音合わせでこんなにすごいので、やはり演奏となると本当に最初から最後まで鳥肌ものでした。特に『スペイン』という曲は私の大好きな曲だったので、本当に嬉しかったです。生演奏を聴くことで、私も現役のときに吹きたかった、と悔しい気持ちになりました。最後の『玉島』という曲は、私たちの楽団もすごく好き



な曲だったので、一緒に演奏することができて本当に良かったです。音合わせを一切してなくて、ぶっつけ本番だったので、こんなに良い演奏をさせてもらったのは、やはり楽団の方々の素晴らしいフォローと指揮の方のおかげだ、とても感謝しています。こうして合奏をさせてもらえることは一生に一度しかない体験だったので、この機会を与えてくれた金光学園に感謝します。改めて音楽っていいなと思いました。

【学校・入試説明会】

月 日	会 場	内容及び時間帯	申込
5月28日(出)	倉敷 ライフパーク	学校説明会 (14:00～16:00)	不要
6月 4日(出)	福山 県民文化センター		
6月11日(出)	岡山 ピュアリティまきび		
6月18日(出)	井原 地場産業振興センター		
6月18日(出)	金光学園 (授業公開)	授業公開 (8:45～ 自由参観) 学校説明会 (10:00～12:00)	不要
7月24日(日)	金光学園	オープンスクール PART I 「一日入学」 下記参照	必要
9月17日(出)	倉敷 ライフパーク	入試説明会 (14:00～16:00) (個別相談会)	不要
9月24日(出)	井原 地場産業振興センター		
10月 1日(出)	福山 県民文化センター		
10月 8日(出)	岡山 ピュアリティまきび		
10月22日(出)	金光学園 ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター-福山	中学入試模擬テスト (9:00～12:30) 中学入試説明会 (13:30～15:00) 個別相談会 (13:30～15:00)	必要 不要 不要
11月 3日(木)	金光学園 ※地域会場 (模擬テストのみ) 岡山国際交流センター、県民文化センター-福山	高校入試模擬テスト (9:00～12:45) 高校入試説明会 (13:30～15:00) 個別相談会 (13:30～15:00)	必要 不要 不要
11月12日(出)	金光学園	入試相談会 (14:00～16:00)	不要

【オープンスクール PART I・II・III】

対象	行 事	日 時	場 所	内 容	申込
小中	PART I 一日入学	7月24日(日) 8:40～12:00	金光学園	授業体験 学校説明会 探究クラス研究発表 部活動体験	必要
小中	PART II 文化祭見学	9月10・11日(土・日) 10:00～14:00	金光学園	見学とスタンプラリー 個別相談会	不要
小	PART III 中学体育会見学	10月1日(土) ※雨天順延 9:00～15:00	金光学園 グラウンド	参加種目もあります	不要

詳細は金光学園ホームページをご覧ください。

H29(2017)年度の中・高校募集用の「学校案内」ができています。自由に配布できるように用意しています。ご協力いただける方は、ご連絡ください。

HPにも掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.konkougakuen.net>



以上 よろしくお願いたします。

日時 平成28年7月24日(日) 8:40～12:00

場所 金光学園中学・高等学校

対象 小学校5・6年生と保護者の方

中学1・2・3年生と保護者の方

※4歳から小学4年生まで参加できるコーナーもあります。

内容 授業体験 (小学生・中学生)

学校説明会

探究クラス研究発表会 (中学生・小中保護者)

部活動体験 その他

*一日入学スケジュール

	小学生対象	4歳～小4対象	中学生対象
8:40～	受付 (ほつま体育館下)		
9:10～9:20	オープニングセレモニー (ほつま体育館)		
9:20～9:40	オリエンテーション		
9:55～10:45	楽しい授業体験 (保護者対象) 探究クラス研究発表	学校説明会① (保護者対象) 探究クラス研究発表 チャレンジコーナー キッズプレイコーナー	授業体験 (生徒・保護者対象) 探究クラス研究発表 学校説明会① (生徒・保護者対象) 探究クラス研究発表
11:00～12:00	部活動体験 チャレンジ	学校説明会② (保護者対象) 探究クラス研究発表	部活動体験 学校説明会② (生徒・保護者対象) 探究クラス研究発表
12:00～	個別相談コーナー (希望者のみ) 食堂体験 (希望者のみ、当日食堂を利用できます)		

【授業体験】 9:55～10:45

小 学 生 対 象	教科	内 容「タイトル」	対 象
	A	国語	大公開! 読書感想文伝 ～これであなかも読感マスター～
B	社会	オリンピックを知ろう! ～アテネからリオまで～	小5～6年
C	数学	数学は「数案」だ!	小5～6年
D	理科	物が浮くしくみを探れ!	小5～6年
E	英語	Let's have fun in English.	小5～6年
F	技術	パソコンで作ろう ～楽しい暑中見舞い!～	小5～6年
G	美術	マスキングテープで作るポストカード	小5～6年
H	体育	Let's play teeball!	小5～6年
I	チャレンジコーナー	楽しい工作にチャレンジ (途中退場できます)	小1～4年
J	キッズプレイコーナー	みんなで楽しく遊びましょう (途中退場できます) (お絵かきやふうせん遊びなどで、楽しく遊びます。)	4歳～小2年

*教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第②希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

中 学 生 対 象	K	国語	心に響く恋文 ～文豪に極意を学ぶ～	中 学 生
	L	地 歴	本能寺の変 どこが変? ～歴史の真相を探る～	
	M	数 学	種も仕掛けもある数字マジック	
	N	生 物	光る生物のナゾを追え!	
	O	化 学	化学マジック 色が変わる謎の液体 ～振動反応と時計反応～	
	P	英 語	English broadens our world.	

【部活動体験】

11:00～12:00

①新聞部 ②天文気象部 ③生物部 (小学生のみ) ④電気科学部 (小学生のみ) ⑤書道部 (小学生のみ) ⑥茶道部 ⑦音楽部吹奏楽団 ⑧音楽部コーラス ⑨放送部 ⑩科学部 (小学生のみ) ⑪美術部 ⑫ラグビー部 (中学生のみ) ⑬ソフトテニス部 ⑭卓球部 ⑮野球部 ⑯サッカー部 (小学生のみ) ⑰柔道部 ⑱剣道部 ⑲バスケットボール部 ⑳バレーボール部 ㉑少林寺拳法部 ㉒ダンス部 (小学生のみ) ㉓陸上競技部
*小学5・6年生と中学生が対象です。
*運動部は運動ができる服装でお越しください。(例:野球は長ズボン)～授業後の着替え場所はあります。
*道具類=野球部は帽子・グローブ、スバイク、ユニフォームもあればご持参ください。
*用具類=野球部は帽子・グローブ、スバイク、ユニフォームもあればご持参ください。
*テニス・卓球はラケット、サッカーはスパイク、剣道は剣道具等をお持ちでしたらご持参ください。
*書道は道具一式・紙をご持参ください。
*屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また、上記以外の部活動は都合により出来ません。

オープンスクールPART I
一日入学のお知らせ

平成27年度 収支決算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 会費	5,031,600	5,029,500	2,100	月額 P@300、T@400
2 繰越金	1,782,217	1,782,217	0	
3 寄付金	20,000	20,000	0	大祭直会
4 雑収入	140,000	154,815	△ 14,815	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合計	6,973,817	6,986,532	△ 12,715	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 指導部費	605,000	534,664	70,336	
A 地区会費	400,000	331,664	68,336	27 地区
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	0	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,470,000	3,360,113	109,887	
A 機関誌費	2,750,000	2,727,280	22,720	やつなみ242号～244号
B 教養費	720,000	632,833	87,167	
(1) 研修費	360,000	283,573	76,427	総会講演・研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	244,260	10,740	教養シリーズ
(3) 講習会費	105,000	105,000	0	やつなみサークル補助
3 庶務部費	2,335,400	2,082,679	252,721	
A 負担金	450,000	391,955	58,045	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	275,400	275,400	0	学園名簿
C 慶弔費	500,000	595,184	△ 95,184	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	210,000	151,530	58,470	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	150,000	71,310	78,690	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	150,000	89,236	60,764	諸消耗品代等
G 特別委員会費	500,000	441,690	58,310	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	100,000	66,374	33,626	文化祭プログラム、ポスター、他
4 予備費	563,417	0	563,417	
合計	6,973,817	5,977,456	996,361	

1. 一般会計

収入総額	6,986,532円
支出総額	5,977,456円
差引剰余金	1,009,076円

◎剰余金処分 一般会計剰余金 1,009,076円は、次年度一般会計に繰り越す。

II. 特別会計

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 特別会費	10,407,600	10,402,700	4,900	月額 P@700
2 繰越金	0	0	0	
3 雑収入	0	0	0	
合計	10,407,600	10,402,700	4,900	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 教育後援費	10,407,600	9,327,526	1,080,074	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助等

平成27年度決算の概要

学校法人金光学園

平成27年度の決算が、5月30日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。
学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

資金収支計算書

収入の部 支出の部 (単位:千円)

科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	555,037	人件費支出	915,036
手数料収入	5,638	教育研究経費支出	94,012
寄付金収入	54,737	管理経費支出	46,403
補助金収入	418,170	借入金等利息支出	3,514
資産運用収入	4,979	借入金等返済支出	359,980
事業収入	1,640	施設関係支出	472,571
雑収入	46,278	設備関係支出	18,950
借入金等収入	637,400	資産運用支出	43,121
前受金収入	46,720	その他の支出	48,861
その他の収入	380,218	資金支出調整勘定	△8,572
資金収入調整勘定	△169,390	次年度繰越支払資金	51,873
前年度繰越支払資金	64,322		
収入の部合計	2,045,749	支出の部合計	2,045,749

消費収支計算書

消費収入の部 消費支出の部 (単位:千円)

科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	555,037	人件費	913,716
手数料	5,638	教育研究経費	160,050
寄付金	54,826	管理経費	48,582
補助金	418,170	借入金等利息	3,514
資産運用収入	4,979	資産処分差額	35,262
事業収入	1,640		
雑収入	46,278	消費支出の部合計	1,161,124
帰属収入合計	1,086,568	当年度消費支出超過額	△135,568
基本金組入額合計	△61,012	前年度繰越消費支出超過額	△1,472,695
消費収入の部合計	1,025,556	翌年度繰越消費支出超過額	△1,608,263

貸借対照表

平成28年3月31日

資産の部 負債の部 (単位:千円)

科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	2,333,409	固定負債	575,574
有形固定資産	2,232,190	流動負債	273,296
その他の固定資産	101,219	負債の部合計	848,870
流動資産	218,245	基本金の部合計	3,311,048
資産の部合計	2,551,654	消費収支差額の部	
		科目	本年度末
		翌年度繰越消費支出超過額	△1,608,263
		消費収支差額の部合計	△1,608,263
		科目	本年度末
		負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	2,551,655

平成28年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位:円)

科目	H28予算額	H27予算額	H27決算額	摘要
1 会費	5,614,800	5,031,600	5,029,500	月額 P@350、T@400
2 繰越金	1,009,076	1,782,217	1,782,217	
3 寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4 雑収入	140,000	140,000	154,815	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合計	6,783,876	6,973,817	6,986,532	

支出の部

科目	H28予算額	H27予算額	H27決算額	摘要
1 指導部費	605,000	605,000	534,664	
A 地区会費	400,000	400,000	331,664	27地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	200,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,450,000	3,470,000	3,360,113	
A 機関誌費	2,750,000	2,750,000	2,727,280	やつなみ245号～247号
B 教養費	700,000	720,000	632,833	
(1) 研修費	340,000	360,000	283,573	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	255,000	255,000	244,260	教養シリーズ
(3) 講習会費	105,000	105,000	105,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	2,265,400	2,335,400	2,082,679	
A 負担金	430,000	450,000	391,955	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	275,400	275,400	275,400	学園名簿
C 慶弔費	500,000	500,000	595,184	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	210,000	210,000	151,530	総会、評議員会、役員会、食堂試食
E 旅費	150,000	150,000	71,310	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	150,000	150,000	89,236	諸消耗品代等
G 特別委員会費	450,000	500,000	441,690	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	100,000	100,000	66,374	文化祭プログラム・ポスター、他
4 予備費	463,476	563,417	0	
合計	6,783,876	6,973,817	5,977,456	

II. 特別会計

収入の部 (単位:円)

科目	H28予算額	H27予算額	H27決算額	摘要
1 特別会費	9,375,600	10,407,600	10,402,700	月額 @650
2 繰越金	1,075,174	0	0	
3 雑収入	0	0	0	
合計	10,450,774	10,407,600	10,402,700	

支出の部

科目	H28予算額	H27予算額	H27決算額	摘要
1 教育後援費	10,450,774	10,407,600	9,327,526	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、等

III. 事業積立会計

収入の部 (単位:円)

科目	H28予算額	H27予算額	H27決算額	摘要
1 積立金	0	0	0	
2 繰越金	0	0	0	
合計	0	0	0	

《教育後援費の内訳》

※日本スポーツ振興センター共済掛金	1,257,470円
※高校図書室コインコピー機リース料	12,312円
※私学ボランティア基金会費	13,350円
※私学ボランティア基金特別会費	10,000円
※高P連賠償責任補償制度加入掛金	371,700円
※メールメイトシステム利用料(H28年度分)	136,080円
※中学男子バレーボール部全国大会出場御祝	100,000円
※7/16高校野球応援バス代	101,200円
※生徒会派遣費補助	4,825,414円
※H26年度生徒会派遣費補助不足分返金	2,500,000円
	9,327,526円

2. 特別会計

収入総額	10,402,700円
支出総額	9,327,526円
差引剰余金	1,075,174円

◎剰余金処分 特別会計剰余金 1,075,174円は、次年度特別会計に繰り越す。

III. 事業積立会計

収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 積立金	0	0	0	
2 繰越金	0	0	0	
合計	0	0	0	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1 事業費	0	0	0	

2. 特別会計

収入総額	0円
支出総額	0円
差引剰余金	0円

◎剰余金処分 事業積立会計剰余金 0円は、次年度事業積立会計に繰り越す。

生徒会活動

《中学生徒会》

4月16日に新入生歓迎会をほつま体育館で開催した。1年は新入生あいさつと呼びかけで元気に入学後の決意を示した。2年は劇と歌でエールを1年生に送った。3年は行事を紹介する演出で歓迎、最後に『みんながみんな英雄』を歌った。恒例の部活動紹介では各部の工夫を凝らした勧誘に1年生は楽しみながら関心を寄せていた。

5月9・10日の一日入部では、1年生は各部を回り、多くの者が入部し、元気に活動している。5月は委員会活動や部活動委員会が開始し、今年度の活動方針や予算を作成した。事務局では総会に向けてクラス討議資料を作成し、評議員会に提出した。

各クラスで活発な討議が行われ、それを基に各種委員会でも論議された。また、ほつま祭や体育会の実行委員会が発足さ

れた。

6月7日には生徒会総会が開かれた。今年度のスローガンは『心輝葉全』進め学園、輝け学園。『心輝葉全』は全て全力で取り組み、その取り組みの中で楽しさを見つける。このことを繰り返すことで、私たちの心が輝くことを目標にしました。『進め学園、輝け学園』では一人ひとりの気持ちの勢いを大切に成長していきたいという思いです」と会長の近藤さんから説明され、基本方針と共に承認された。今年度の活動計画・予算・昨年度の決算が説明の後に承認された。準備・運営など評議員や事務局の動きは頼もしかった。

委員会でも積極的な活動を始めた。評議員会では障害者の福祉活動へ支援のため「愛の募金」に取り組んだ。保健委員会は健康観察簿の取り組みや虫歯予防ポスターの作成、生活委員会では服装指導と挨拶運動に取り組み、図書委員会では本の紹介の通信発行や読書の呼びかけなどを行った。学習委員会では、全校漢字テストを第1回は6月13日に実施され、平均点98・1点の1年2組が第1位になった。

6月15日に夏季球技大会が行われた。みんな元気に声を掛け合い、それぞれのコートで熱戦を繰り広げた。総合優勝は、1年は2組と5組、2年は4組、3年は3組が勝ち取った。クラスの団結や親睦も深まり、楽しく充実した一日となった。

《高校生徒会》

4月16日(土)、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年1組の植田七葉子さんが、副会長に2年1組の中田美菜子さん、2年6組の岡本樹生くんがそれぞれ承認された。4月19日(火)には、晴天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、ティールールの4種目でそれぞれ熱戦が繰り広げられ、3年4組、2年5組が総合優勝を果たした。4月30日(土)、中高三役・事務局合同交流会を実施した。中高の枠を越え、生徒会活動の中心を担う執行部として親睦を深めた。

5月27日(金)、第1回生徒会総会が行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、舞台上で発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者

会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

《新聞部》

新入部員が入り、中学6名、高校6名の合計12名で活動している。4月に新任の先生紹介号、6月に教育実習生紹介号を発行した。

《天文気象部》

新入部員が入り部員32名で活動している。今年度も毎週金曜日を中心に活動している。夜間観測できれいな天体写真を撮るために、望遠鏡やカメラの使い方などを練習している。

4月、夜間観測を行い、木屋の観測や写真撮影を行った。高校生の新入部員にとっては初めての観測であったが、望遠鏡の基本操作やカメラの使い方学んだ。

6月の夜間観測は、天候不順のため中止になったが、OBで国立天文台職員の中田博文氏に來校していただき、望遠鏡の講習会を行った。

《茶道部》

3月20日(日)に玉島市民交流センター

で玉島高校茶道部と合同で「交流ひな茶会」を行った。玉島高校との生徒と一緒にお茶席をもつことで、よい交流もできた。3月26日(土)には、浅口市ふれあい交流館サンパレアで行われた浅口市総合文化祭で、お茶席に参加し、お点前やお運びなどさせてもらった。4月24日(日)に後菜園で行われた茶西茶会では、お運びや受付、水屋の手伝いなどさせてもらった。どのお茶会でも、緊張しながらも日頃の練習の成果を発揮した。5月には9人の中1新入部員が加わり、熱心に活動している。

《中・高書道部》

中学9名、高校11名で活動している。第32回成田山全国競書大会では中3坂口小枝が特選を受賞。高1中塚心愛、富田瑞貴、長田麻依、鬼塚明希、中3塚本瑠菜、中1大野美貴が金剛賞受賞。

《音楽部吹奏楽団》

3月1日(火)卒業式にて「若き人よ」[ZARD]コレクション」を演奏した。4月8日(金)入学式にて「ロマネスク」[You Raise Me Up]「教会の窓辺」[GUTS]「金光学園歌」を演奏した。4月17日(日)たんぼはまつりにて「キャンディーズコ

レクション」[I Only Care About You]「栄光の架橋」[空より高く]を演奏した。5月3日(火)第44回定期演奏会で「ハリウッド万歳」[ザ・ウィンド・ライズ]「歌劇「トゥーランドット」より」[THEME FROM JAG]「つばき雲」[GUTS]「Get Away」[I Only Care About You]「列車戦隊トッキュウジャー」[おジャ魔女カーニバル]「キャンディーズコレクション」[群青]「乾杯」[かっぱれ佐武多&かっぱれFUNK]「宝島」[勝利への賛歌]を演奏した。5月30日(月)に春川女子高等学校の來校を歓迎し「ハピネス」[宝島]「I Only Care About You」を演奏した。6月11日(土)の金光ミュージックフェスタにて「海の声」[I Only Care About You]「翼をくだろ」[SORAN&アフリカンシンフォニー]「神人の栄光」を演奏した。6月12日(日)は教団独立記念式において「今日今日で一心にたのめ」[SORAN&アフリカンシンフォニー]「神人の栄光」を演奏した。6月19日(日)第40回バンドフェスティバルでは「海の声」[翼をくだろ]を演奏し、「高吹連の歌」を合唱した。

《音楽部コーラス》

2月11日(木)に第23回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストが倉敷芸術館で開催された。ジュニアの部に女声2団体と混声1団体、高校の部に女声、男声、混声でそれぞれ1団体ずつ出場した。ジュニアの部では銀賞と2団体が銅賞、高校の部では女声が「てんでんてまりうた」を歌い金賞を受賞、混声が銀賞、男声が銅賞であった。

3月1日(水)に行われた高校卒業式の第2部祝宴の出演。卒業生と共に最後の合唱「あなた」を歌い上げた。

3月13日(日)に卒部式を行い、卒業生と最後のイベントを楽しむことができた。

3月28日(月)に福山市の特別養護老人ホーム幸楽園さんに訪問演奏をさせて頂いた。懐メロなどを披露したり、一緒に歌ったり手遊びをするなどとても楽しい時間を過ごすことができた。

3月30日(水)に合唱講習会が倉敷公民館で行われた。岡山城東高校合唱部指揮者の森野先生による指導で「G♯」を他の学校と練習し、とても良い刺激を受けた。途中、学生指揮者は音楽家の井村正貴先生から指揮法指導を受けることも

でき、とても充実していた。

4月17日(日)にたんぼぼまつりが金光公民館で開催された。午前中は福祉に関する映画を鑑賞。午後からステージ発表であった。【曲目】「マイバード」「愛を叫べ」「365日の紙飛行機」「G♯」

5月28日(土)に保護者会を開催し、サマーコンサートのことを中心に話し合いをし、保護者同士の情報交換を行うことができた。

6月4日(土)に岡山県高等学校合唱祭が高梁総合文化会館で開催された。午前中は合唱講習会で、春に引き続き岡山城東高校の森野先生の指導で合同曲「G♯」の練習をした。午後から合唱祭本番があり、人数が多い少ないなど様々な事情があるなか、がんばっているたくさんの方の学校の演奏を聴くことができたことはとてもよかった。【曲目】「レイダース・マーチ」「愛を叫べ」「わせねでや」

《文芸部》

新入部員6名(2年生3名、1年生3名)を迎え、総勢14名で今年度の活動をスタートした。4月には月例集「春風ふわり」、5月には「幻想夜話」を制作し、全体で批評会を実施した。

《写真部》

新入部員5名を迎え、意欲的に活動している。6月11日(土)岡山県高校写真協議会主催の技術講習会に3名が参加した。写真に関する基本から実践まで指導いただき、大変有意義な時間を過ごすことができた。

《中放送部》

1年生4人に加え、現在10名で活動している。4月16日(土)に新入生歓迎会の司会を行った。6月15日(水)の球技大会で開閉式の司会を行った。6月18日(土)に第33会NHK杯全国中学校放送コンテスト岡山県予選会が岡山市立中央公民館で開催され、アナウンス部門に中3黒川麻衣子・中塚桃花が、朗読部門に中3内村彩乃・塚本陽依吏が出場した。黒川は県予選を突破し、全国予選に出場する。

《高放送部》

1年生1人に加え、現在5名で活動している。6月12日(日)に第63回岡山県高等学校放送コンテスト兼第63回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選の決勝大会が就実高等学校で開催された。高校2年植田七菜子がアナウンス部門へ、

高校1年岡本圭織が朗読部門へ出場した。

《囲碁将棋》

5月5日(木)、山陽新聞本社において開催された、第46回岡山県高等学校将棋選手権大会男子個人戦Aグループにおいて、原田理司が第5位に入賞した。有富大智も同じAグループ、山田譲は男子Bグループに参加しました。

《軽音楽部》

部員は現在22名。活動形態は週1回各バンドで技術向上に取り組み、ほつま祭での発表に向けて練習中。

《美術部》

1年生が2名入部し、全員で5名の人数で頑張っている。ほつま祭は「モバイル」動く立体に挑戦し制作することになった。現在はモチーフを考え、アイデアスケッチを仕上げている。

《高美術部》

1年生部員が4名、2年生部員が2名入部し、3年生5名を合わせて11名の部員で活動している。高校生美術コンクールが6月4日(土)に倉敷芸術科学大学で開催され、7名の部員が参加した。

《高陸上競技部》

『岡山県高校総合体育大会』眞田剛寛

が400mで優勝、眞田明日香が砲丸投で4位、清水美沙が5000m競歩で5位、三宅悠希が400mハードルで6位、粟井凱耶・平本晋太郎・眞田剛寛・大原健太郎が400mリレーで7位、宮口真帆・田邊詩歩・藤井美帆・三宅悠希が400mリレーで7位、山下朋紀が8種競技で7位、谷野光琉が三段跳で8位に入賞した。以上の結果から眞田剛寛・眞田明日香・三宅悠希が中国大会に出場する。

《高ラグビー部》

4月9日(土)、23日(土)に行われた中国高等学校ラグビーフットボール大会岡山県予選会に、岡山朝日との合同チームで参加した。1回戦は水島緑地福田公園で合同C(高松農業、鴨方、林野)と対戦し、48-14で勝利した。2回戦は美作ラグビー場で合同B(岡山一宮、津山高専)と対戦し、40-26で勝利した。4月29日(金)、水島緑地福田公園で備中支部総体7人制の部に参加した。倉敷工業に5-21で敗れ、玉島に7-41で敗れた。5月4(水)、5日(木)には美作ラグビー場で行われる強化練習会に参加し、技術・体力の向上に努めた。6月

4日(土)、5日(日)には岡山県総合体育大会15人制の部が、11日(土)には同7人制の部が開催された。15人制の部はCブロックに参加し、1回戦は合同B(津山高専、林野)に12-19で敗れるも、2回戦で合同A(岡山一宮、鴨方)に32-10で勝利した。7人制の部は1回戦で高松農業に36-12で勝利、2回戦で津山高専に33-14で勝利したが、3回戦で岡山工業に7-29で敗れ、ベスト4という結果であった。3年生はこの大会を最後に引退した。

《中男子ソフトテニス部》

16名の新入部員を迎え、計40名で今年度の活動がスタートした。6月11日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた備西支部大会に4ペアが出場し、竹内・倉田ペアが3回戦、中塚・田中ペア、吉田・小田原ペア、佐藤・五藤ペアが2回戦でそれぞれ敗退した。備南西地区大会のシードは第8シードに決定した。

《中女子ソフトテニス部》

7名の新入部員を迎え、計20名で今年度の活動がスタートした。6月11日に笠岡総合スポーツ公園テニ

スコートで行われた、備西支部大会に4ペアが出場し、津田・安部ペアがベスト4、佐々木・藤井ペアがベスト8となり備南西地区大会(個人戦)のシード権を獲得した。

《高男子ソフトテニス部》

4月16日(土) 17日(日)、岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれた。4ペアが出場したうち、黒川・石原組が準々決勝まで進みベスト8に入賞し、地区推薦として県予選会出場を確定させた。

4月29日(金・祝)には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(個人)の備西地区予選会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。7ペアが出場したが、県予選会出場枠の10組には入ることができなかった。4月30日(土)には同じく笠岡総合スポーツ公園テニスコートにて備西地区高等学校対抗ソフトテニス大会がおこなわれた。各校のAチームが出場する1部トーナメントでは2回戦で笠岡高校に3対0で勝利し準決勝に進出したが、笠岡工業高校に1対2で敗れ第3位となった。また各校

Bチームが出場した2部トーナメントでも第3位という結果に終わった。

そして6月4日(土)、全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(団体)の岡山県予選会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれたが、1回戦で新見高校に1対2で敗れ、初戦で敗退することになった。続いて11日(土)12日(日)に同大会(個人)の岡山県予選会が備前テニスセンターでおこなわれた。地区推薦として出場した黒川・石原組は4回戦で東岡山工業高校1番手に2-4で敗れてインターハイ出場まであと一歩届かなかったが、ベスト16となり20年ぶりの中国大会出場を決めた。

《中卓球部》

3月21日に笠岡市卓球選手権大会(団体の部)に参加した。男子団体では予選リーグを全勝し、決勝トーナメント1回戦で新芳クラブに1-3で敗れた。

4月3日に井原チェリカップに参加した。男子団体では決勝トーナメント1回戦で井原Aに勝ち、準々決勝でMTC鳥取に敗れたがベスト8に入った。

4月17日に笠岡市卓球選手権大会(個人の部)に参加した。男子個人では原田

(中3)がベスト32であった。

5月1日に福山オープン卓球選手権大会に参加した。男子個人では山形(中3)がベスト8、新谷(中3)と原田がベスト16に入った。

5月3日に岡山近府県卓球選手権大会に参加した。男子団体では予選リーグ2位で2部トーナメントに進み、1回戦で敗退した。

6月11、12日に備西支部合同練習会に出場した。男子団体では7勝0敗で優勝した。男子個人では原田と山形がベスト4、川内(中3)と新谷と瀬良(中3)と湯原(中3)の4名がベスト16に入った。女子個人では東(中3)が準優勝した。

《高校卓球部》

3月13日に岡山県団体総合卓球選手権大会に出場した。男子団体では予選リーグでOKTに2-3、岡山商科大学に3-2、総社西中に3-0で2部トーナメントに進み、教友会に2-3で敗れた。女子団体では岡山親善会に3-2、山陽女子中Bに0-3、美作に3-1で2部トーナメントに進み、岡山商科大学に0-3で敗れた。

3月21日に笠岡市卓球選手権大会(団

体の部)に参加した。男子団体では予選リーグで全勝し、決勝トーナメント1回戦でみたくクラブに2-3で敗れた。女子団体では予選リーグで全勝し、決勝トーナメント1回戦で妹尾中に3-1で勝ち、準決勝で倉敷青陵に3-0で勝ち、決勝で洞林寺クラブに2-3で敗れたが準優勝した。

3月29-31日に大阪高校オープン大会に参加した。男子団体では予選リーグで高田樟誠(静岡)に3-1、富山商業に3-1、星翔(大阪)に3-2、奈良朱雀(奈良)に3-0、和歌山商業に3-2で勝ち、1位リーグで金沢学院東(石川)に0-3、金光大阪に1-3、龍谷大平安(京都)に1-3、鳥取敬愛に1-3、れいめい(鹿児島)に0-3、尽誠学園(香川)に0-3、関商工(岐阜)に1-3、大阪桐蔭に0-3、高田(三重)に2-3、前原(沖縄)に1-3で敗れ、66校中11位であった。女子団体では予選リーグで相可(三重)に3-1、金沢学院東(石川)に0-3、近江(滋賀)に0-3、帝塚山(奈良)に3-0、コザ(沖縄)に3-2で3位リーグに進み、昇陽(大阪)に3-2、三田学園(兵庫)に2

1-3、平田(鳥根)に3-1、松徳学院(鳥根)に0-3、高松商業(香川)に3-2、粉河(和歌山)に3-1、北越(新潟)に1-3であった。

4月3日に井原チェリカップに参加した。男子団体ではAチームが準決勝で鳥取敬愛Aに敗れたがベスト4に入った。Bチーム、Cチームもベスト8に入った。女子団体では準決勝で山陽女子に敗れたがベスト4に入った。

4月17日に笠岡市卓球選手権大会(個人の部)に参加した。男子個人では福田(高3)がベスト32であった。女子個人では東(高2)がベスト8、西岡(高3)と内山(高2)がベスト16、中務(高2)と藤澤(高2)がベスト32であった。

4月30日、5月1日に岡山近府県卓球選手権大会に参加した。男子団体では予選リーグで中国北京チームCに3-2で勝ち、都城商業(宮崎)に0-3で敗れた。女子団体では伊予農業B(愛媛)に3-1で勝ち、山陽女子Bに0-3で敗れ、姫路商業(兵庫)に0-3で敗れた。

5月3、4日、28、29日に全国・中国高校卓球選手権大会岡山県予選会に出場した。男子シングルスでは福田が12位に

なり、中国大会出場を決めた。また、木下(高3)がベスト32、唐川(高2)がベスト64に入った。女子シングルスでは難波もなみ(高3)と藤澤がベスト32、内山と中務がベスト64に入った。男子ダブルスでは木下・福田組が7位になり、中国大会出場を決めた。また、唐川・升本(高1)組がベスト32、奥村(高3)・吉岡(高3)組がベスト64に入った。女子ダブルスでは西岡・内山組がベスト16、難波楓(高3)・中務組と難波もなみ・藤澤組と西原(高2)・東組がベスト32に入った。

6月4、5日に岡山県高校総体に出場した。男子団体では2回戦で玉野商業に3-0、3回戦で岡山芳泉に3-1、4回戦で玉野光南に3-1で勝ち、決勝リーグで関西に1-3、倉敷工業に0-3で敗れ、津山高専に3-2で勝ち、3位に入賞し中国大会出場を決めた。女子団体では2回戦で倉敷商業に3-0、3回戦で勝山に3-0、4回戦で美作に3-0で勝ち、決勝リーグで就実に0-3、山陽女子に0-3で敗れ、興陽に3-1で勝ち、3位に入賞し中国大会出場を決めた。

6月17～19日に中国高校卓球選手権大会に出場した。男子団体では1回戦で早稲(山口)に3-2で勝ち、2回戦で近大福山(広島)に3-2で勝ち、準々決勝で明誠(島根)に0-3で敗れたがベスト8に入った。女子団体では1回戦で松江商業(島根)に2-3で敗れた。男子ダブルスでは木下・福田組が出場し、1回戦で近大福山(広島)に0-3で敗退した。男子シングルスでは福田が出場し、1回戦で野田学園(山口)に0-3で敗退した。

《中サッカー部》

3月21日に真備東中学校で行われた、U14ユース1位リーグの結果です。
VS寄島 0対0(引き分け)・VS鴨方 1対5(負け)・VS真備東 1対2(負け)
5月3日に多津美中学校で行われた、倉敷招待の結果です。
VS多津美 3対1(勝利)・VS操山 5対0(勝利)・VS北陵 3対5(負け)
5月4日に玉島の森で行われた、倉敷招待の結果です。VS野の池 1対3(負け)・VS高松 1対2(負け)・VS玉島東 2対1(勝利)
6月11日・12日に寄島三ツ山スポーツ

公園で行われた、支部大会の結果です。
VS金光 2対0(勝利)・VS金浦 1対2(負け)・VS笠岡東 2対0(勝利)・VS寄島 0対0(引き分け)となり、3位通過となりました。

《高サッカー部》

3月13日、社会人チームと練習試合(25分×6本)をした。(2-1・1-0・0-0・1-0・0-0・2-0・3-1)という結果だった。
3月19日～21日、第6回浅口カップが行われた。交流戦で、対神辺旭B(0-2)、対鷺羽B(0-1)、対神辺旭A(2-1)。カップ戦では、対津山B(2-0)、対槻の木A(0-1)、対今治西(0-3)。対下関商業(3-0)、対八幡浜工業(0-2)。
3月30日・31日、美作で最高の環境の下、合宿をさせて頂いた。2日間トレーニングマッチを通したサッカー漬けの合宿であった。対津山東A(1-2)、対津山東B(0-6)、対津山商業(2-0)。対林野A(1-4)、対林野B(1-3)、対勝山A(1-1)、対勝山B(2-3)。
5月1日、県総体備中地区予選で水島工業と対戦し、(0-2)。緊張感を

持って、3年生をはじめ全員サッカーで闘ったが、惜しくも県大会出場を逃した。高田宮杯U-18サッカーリーグ2016OKAYAMAチャレンジリーグは以下のような結果となっている。5月4日、対玉野商業(3-1)。5日、対高梁(5-0)。5月7日・8日に行われた備中支部総体備西大会では、一次リーグで、対笠岡商業(3-0)、対玉島商業(2-0)。1位トーナメントで、対おかやま山陽(0-2)、対井原(1-0)。全体順位は3位となり、表彰を受けた。数年ぶりである。高3はこの大会をもって引退となった。

《中学野球部》

4月29日、5月1日、3日にどんぐり球場などで行われた第11回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦は井原中学校に7-0で勝利し、2回戦は新吉中学校に7-1で勝利した。準決勝は高屋中学校に3-2で勝利し、決勝戦は4-0で金光中学校を下し、2年ぶり3度目の優勝を果たした。
6月11日、12日にどんぐり球場などで行われたシード決め大会では、1回戦7-2で金光中学校に勝利した。シード決

定戦では、7-0で新吉中学校を下してシードを獲得した。

《高野球部》

24名の新人部員を迎え、計83名で今年度の活動がスタートした。4月23日より行われた、春季岡山県高等学校野球大会では2回戦から登場したが、玉野光南高校に3対5で敗れ夏の大会のシード権を取ることができなかった。

《中柔道部》

5月9・10日の校内入部体験が行われ、中学1年坂田迅・趙壮済・廣井徳敏・蓮野誠一郎・藤木裕太が入部した。

《高柔道部》

3月24日に広島県で行われた西日本錬成大会・3月26日27日に愛媛県で行われた国体強化錬成大会にそれぞれ参加し、他県の選手と団体試合を中心に練習を行った。3月28日～3月30日に奈良県で行われた名門校近県柔道親善大会に戸田勝己が岡山県チームとして参加した。

4月20日21日に岡山武道館で行われた中国高等学校柔道大会岡山県予選会において、男子団体1回戦で学芸館高校に1対4で敗れた。個人戦で高2戸田勝己は60kg級で第6位、高1十倉は2回戦敗退、

高1虫明・橘高は1回戦敗退であった。

6月1日2日におこなわれた岡山県高校総合体育大会に出場し、男子団体は1回戦で笠岡商業高校に3対1で勝利し、2回戦で玉野光南高校に0対5で敗れた。個人戦では高2戸田勝己が60kg級で第3位となった。高1虫明は2回戦敗退、高1十倉、橘高、高3江草は1回戦敗退であった。
《中・高柔道部》
3月20日には愛媛県今治市で行われた強化練習会、5月4・5日に香川県立武道館で行われた春季合同練習会にそれぞれ参加し練習を行った。

《中剣道部》

段級審査会が3月27日(日)、総社武道館で開催され、小寺大起(当時1年)が初段に合格。

6月12日(日)、児島武道館で開催され、新谷理駆(2年)が二段に合格。

《高剣道部》

国体予選会が4月17日(日)、県総合体育館で開催され、平川龍之介(2年)、日名啓介(1年)が2回戦、池田弦輝(1年)が1回戦敗退であった。
中国大会予選会が4月30日(土)～5

月1日(日)、和気町総合体育館で開催され、平川、日名が1回戦、池田が2回戦敗退。

備中支部大会が5月7日(土)、県立倉敷商業高校体育館で開催され、男子団体試合は1回戦シード、2回戦は青陵高校に0対5で負け。敗者復活戦は倉敷南高校に0対5で敗れた。

県高校総体剣道競技が6月4日(土)～5日(日)、川崎学園総合体育館で開催され、平川、池田が共に1回戦敗退であった。

《中男子バスケットボール部》

5月3・4日に、笠岡市民体育センターにおいて、県内外男子12チームで、『第2回やつなみCUP』を行った。初日は、福山中央中に勝利するも、倉敷福田中・浜田第二中に敗れ、6チーム中3位で2日目の順位トーナメントへ入る。2日目は、和庄中に敗れ、桜が丘中に勝利し、大会を終えた。2日間で多くのチームと対戦し、良い経験を積むことができた。

6月に行われた支部大会では、5チーム総当たりのハーフゲームを行い、全勝することができ、地区大会の第1シードを得ることができた。

《中女子バスケットボール部》

5月3・4日に、『第2回やつなみCUP』が行われた。1日目、福山明の星中に12―62金光学園中で勝利し、福山城南中に31―21金光学園で敗れ、3・4位トーナメントへ。2日目、3・4位決勝トーナメント初戦玉島北中に48―50金光学園中で勝利し、再び福山城南中と対戦。51―42で敗退した。

6月11日に行われた支部大会では、第1シードに入っていたため、準決勝から参戦。準決勝、矢掛中6―24金光学園中で勝利し、決勝では、笠岡東中に14―34で勝利し、地区大会でのシード権を獲得することができた。

《高男子バスケットボール部》

4月9日、10日に行われた春季大会備中区予選会において、1回戦はシード。2回戦は、倉敷天城高校に54―51で勝ったが、3回戦、岡山龍谷高校に64―73で敗退した。5月7日―8日に行われたインターハイ予選備中区予選会において、1回戦はシード。2回戦、玉島高校に55―49、3回戦、高梁高校に47―46で勝ち、県大会出場を決めた。6月11日に行われた第55回岡山県高等学校総合

育大会バスケットボール競技の部において、1回戦津山東高校と対戦し、76―43で敗退した。3年生が今大会で現役引退となったが、ジップアリーナで試合ができ、良い締めくくりとなった。保護者活動として、6月19日に卒部会兼保護者会総会を開催した。

《高女子バスケットボール部》

4月10日、16日、17日に行われた、春季優勝大会備中区予選会に参加した。1回戦、倉敷鷲羽高校に62―51、2回戦笠岡商業に81―63で勝ち、ブロック決勝で、倉敷商業に66―41で敗退した。県大会出場をかけた3位決定戦で倉敷古城池と対戦し、76―65で敗退した。

5月8日に行われた、県総体備中区予選会に参加した。前大会の結果からシードで参加し、ブロック決勝で総社南に57―47で勝ち、県大会出場を決めた。6月11日に行われた県総体岡山予選会に参加し、1回戦岡山芳泉に72―62で敗退した。

《中男子バレーボール部》

中学男子バレーボール部は新入部員7名を加えて、21名で日々の活動が始まった。6月11日土曜日には鴨方中学校を会

場に、備西支部夏季総体が行われ、順調に1位で通過した。

《中女子バレーボール部》

6月11・12日に行われた夏季支部大会では、結果は3戦全敗であったが、力を出しきり、接戦であったため、7月に行われる地区大会につながる内容であった。

《高男子バレーボール部》

新入部員9人に加え、今年度は17人でスタートした。4月に行われた春季県大会では準決勝で岡山龍谷にストレートで勝利し、決勝戦で岡山東商業に1―2で負け、準優勝になった。備西大会では4年連続で優勝した。そして、6月にはインターハイ予選があり、3回戦、岡山芳泉、準々決勝、高梁日新、準決勝、津山工業にストレートで勝利。決勝戦、岡山東商業に0―2で負け、2年連続準優勝で終わった。

《高女子バレーボール部》

4月30日に行われた備西地区総体へ出場した。結果は敗戦であったが、3年生を中心に、メンバー全員が一九となって戦った試合であった。

《中少林寺拳法部》

6月5日に行われた第9回岡山県中学

生少林寺拳法大会に出場した。男子単独演武の部では、中2難波拓也、都築駿一が決勝に進出し、難波が県6位に入った。

女子単独演武の部では、中3米村咲南、近藤瑞浦、中2塩谷明美、難波朋楓が決勝に進出し、近藤が県5位に入った。女子団体演武の部に中3近藤、米村、中2の高橋、塩谷、能勢、難波の6名が出場し、1位になった。女子団体演武は、8月13日14日に開催される、第10回全国中学生大会の出場権を得た。

《高少林寺拳法部》

6月5日に行われた第55回岡山県総合体育大会に出場した。男子単独演武の部では、高2友田直陽、高1佐藤謙成が決勝に進出した。男子団体演武の部に高2友田・山中・佐藤秀・河村、高1の佐藤謙・谷の6名が出場し、2位に入賞した。女子団体演武の部では、高1の紺藤、池田芽、池田朱・徳毛・森藤・松下の6名が出場し、2位に入賞した。6月18―19日に山口県で行われた第26回中国高等学校少林寺拳法選手権大会に男女の団体演武が出場し、男子は4位、女子は3位に入賞した。

《水泳部》

6月5日(日)、児島マリンプールで開

催された第44回岡山県高等学校水泳競技大会において、高2佐藤大紀君が男子100m背泳ぎで、第3位(タイム1分2秒76)で入賞した。6月26日(日)児島マリンプールで開催された第68回中国5県対抗水泳競技大会シンクロナイズドにおいて、中3佐藤成望さんが、デュエット競技・ソロ競技で第3位入賞した。

《相撲部》

5月28日(土)に行われた、平成28年度岡山県中学校体育連盟相撲部強化練習会に中3森永慶之が参加した。本練習会は8月5日―7日に行われる全国都道府県中学生相撲選手権大会(岡山県相撲連盟強化合宿)の選考を兼ねており、強化指定選手として本大会に参加することが決定した。

《木綿崎ボランティア部》

部員14名(さらに有志の中学生2名)で活動。「浅口市たんぼほまつり」、浅口社会福祉協議会主催の「赤い羽根街頭募金」、「竹内昌彦先生映画『見えないから見たもの』上映スタッフ」、「福島ひまわりプロジェクト」に参加。

《花道同好会》

毎週水曜日に宗教教室で兼信先生の指

導の下、熱心に稽古している。

《歴史研究同好会》

春休み中に各自でフィールドワークを行い、ほつま祭に向けて企画を考えている。

《数学同好会》

新中学1年生1名が入部し、毎週月曜日に活動している。現在は、通常の数学に対する研究の他、7月18日に鴨方で開催される科学の祭典に向けての準備を進めている。

《家庭科同好会》

4月、男子生徒1名が入部。活動日は土曜日の放課後。ひとつめの作品として、キルティング製のバッグを完成させた。

《バドミントン同好会》

新入部員3名を迎え、毎週火曜日に和気あいあいと活動している。

平成28年度大学入試結果

合格者数(現浪合計)
平成28年4月現在

国立大学	合計	43
(内) 医学部医学科	合計	3
宇都宮(1) 東京工業(1)		
大阪(3) 神戸(2)		
鳥取(1) 島根(1)		
岡山(14) 広島(4)		
山口(4) 香川(6)		
愛媛(3) 高知(1)		
九州(1) 長崎(1)		
公立大学	合計	12
横浜市立(1) 大阪府立(1)		
兵庫県立(1) 奈良県立(1)		
公立鳥取環境(1) 島根県立(1)		
岡山県立(1) 尾道市立(1)		
県立広島(1) 愛媛医療技術(1)		
北九州市立(1) 長崎県立(1)		
私立大学	合計	457
(内) 医学部医学科	合計	1
酪農学園(2) 流通経済(1)		
立命館(32) 龍谷(11)		
獨協(1) 聖徳(1)		
東京歯(1) 青山学院(1)		
亜細亜(2) 北里(1)		
慶應(2) 工学院(1)		
國學院(2) 駒澤(2)		
芝浦工業(1) 成蹊(1)		
成城(1) 専修(1)		
大東文化(2) 多摩美術(1)		
中央(3) 帝京(7)		
東海(4) 東京農業(3)		
東京薬科(1) 東京理科(2)		
日本(8) 日本獣医生命(1)		
文化学園(1) 法政(1)		
明治(6) 明治学院(7)		
立教(2) 早稲田(3)		
麻布(2) 関東学院(1)		
東京工芸(3) 横浜薬科(1)		
金沢工業(8) 愛知工業(1)		
中京(2) 名城(1)		
鈴鹿医療科学(2) 大谷(2)		
京都外国語(1) 京都学園(1)		
京都産業(24) 京都女子(4)		
京都橘(2) 京都光華女子(1)		
同志社(12) 同志社女子(2)		
イトルズ(1) 佛教(11)		
大阪学院(1) 大阪芸術(1)		
大阪工業(2) 大阪産業(1)		
大阪体育(1) 大阪薬科(1)		
関西(14) 関西外国語(1)		
近畿(38) 摂南(2)		
桃山学院(4) 大阪総合保育(1)		
大阪府医療(1) 関西学院(13)		
甲南(2) 甲南女子(4)		
神戸学院(7) 神戸芸術工科(1)		
神戸女学院(3) 神戸女子(1)		
神戸薬科(3) 姫路獨協(2)		
流通科学(4) 関西福祉(1)		
神戸山手(1) 宝塚医療(1)		
奈良(1) 岡山商科(1)		
岡山理科(7) 川崎医科(1)		
川崎医療福祉(22) 吉備国際(6)		
倉敷芸術科学(1) くまもと作陽(3)		
山陽学園(2) 就実(17)		
いよっぴん(12) 広島経済(3)		
広島工業(2) 広島修道(9)		
広島女学院(2) 広島文教女子(2)		
福山(14) 福山平成(10)		
安田女子(10) 広島国際(11)		
山口東京理科(2) 四国(1)		
徳島文理(4) 九州共立(1)		
九州産業(1) 福岡(1)		
日本文理(1) 立命館大学(1)		
私立短期大学	合計	3
東京農大短大部(1)		
就実短大(1)		
香川短大(1)		
専修・専門学校等	合計	6
日本菓子専門(1)		
ホスピタリティ・ツーリズム専門(1)		
朝日医療大学校(1)		
インターナショナル岡山歯科衛生専門(1)		
岡山歯科理工専門(1)		
岡山自動車大学校(1)		
海外	合計	2
Tate English Language Centre(1)		
Centennial College(1)		
就職	合計	1
海上保安学校(1)		

学園だより

出校日・大祭奉仕 4月5日、在校生は出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。また、中2はこれに先立ち、本部祭場の清掃奉仕を行った。イギリスへの海外研修参加者が3日無事に帰金し、本部参拝を行った。

入学式 4月8日、中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ179名、210名(留学生含む)の新生が希望に胸を膨らませて入学した。

留学生 AFS留学生として、インドネシアからナディア・ヒアさんが来校した。高校1年に1年間滞在する。

始業式 4月9日、中高合同で1学期始業式がほつま体育館で行われ、新任教員紹介の後、校長式辞、在校生を代表して高3の岩崎真矢くんから歓迎の言葉、また新入生の挨拶がそれぞれあった。

◇**新入生代表挨拶**(中1 渡邊 文奈)
春、あたらしい息吹がみなぎる今日。私

たちは、中学校179名、高等学校210名は、青天のもと、伝統の1ページに加わりました。

私は、この学校で、いろいろなことに挑戦します。今がその一歩です。前を向いて、臆せず、少しずつ努力を重ね、自分の進む道を探求します。「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の合言葉を胸に、校長先生をはじめ、先生、先輩方のご指導を、仰ぎながら、新入生一同、切磋琢磨し、金光学園生としての品格を備えていきます。どうぞよろしくお願いたします。

新入生本部参拝 4月12日、晴天に恵まれ中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮った。

◇**お届け**(高1 土肥 愛実)
4月8日、中学校新入生179名、高等学校新入生209名と留学生1名、合計389名は多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事入学させて頂くことができました。どうぞ皆様にお礼を申し上げて下さい。

私たちは自らの意志で、勉学やスポーツに励むことを目的として金光学園に進



◇教主金光様のおことば

皆さん、おめでとうございます。今日も明日もあさっても、皆、今月今日になります。どうぞ『お世話になるすべてに礼をいう心』をもって、今を大切に、今申されました願いに沿って勉強を進められ、おかげを頂かれますよう、祈ってやみません。

なんでも相談室 毎週水曜日は午前10時から午後4時まで教育相談室・相談室で開設され、教育相談委員がカウンセリング・助言・支援を行っている。

街頭交通指導 4月5日から16日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

検尿 4月12・13日に検尿を実施した。**総合健康診断** 中学は4月20日に、高校は21日に、身体測定と内科・歯科・視力・聴力（3年）の検診が行われた。

沖繩修学旅行 4月22～25日、中3は沖繩を訪れた。金光教那覇教会の林先生の講和や平和集会、折り鶴献納などを通じて平和について考えると同時に沖繩の歴史や自然についても学習した。

学習合宿 4月22・23日、高1は広島

の方途を学び、親睦も深めた。

入校時合宿 4月22・23日、中1が校内で行い、金光教玉水教会控所に宿泊した。学園歌コンクール、町内クリンオリエンテーリングや夜の集い（集団ゲーム・キャンドルサービス）などを通じ、親睦を深め、集団生活の規律を学んだ。

また、新倉敷自動車学校の先生に交通安全教室を実施していただき、交通マナーや交通法規についても学んだ。

心電図 4月27日に中1を、4月28日に高1を対象に実施した。

胸部X線撮影 4月28日、高1を対象に実施した。

やつなみ保護者会総会 4月30日、1限に授業参観、2限に学級会、3・4限に総会と講演が行われた。講演は、中国学園大学・中国短期大学学長の松畑照一先生の「感謝・感動のワクワク人生」を生きたる！であった。

人権講演 5月2日、高3は元県立岡山盲学校教頭の竹内昌彦先生から「見えないから見えたもの」という演題で講演を聞き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

高1は5月6日に、あだ名いじめ・携帯トラブルについてのアンケートをとり、その結果を通信にまとめ、27日にはそれをもとに、今何ができるかをクラスで話し合った。

避難訓練 5月6日、避難訓練の予定だったが、雨のため中止となった。

探究講演会 5月9日、中3・高1探究クラス・保護者を対象に、山口虎ノ門大学院の三谷宏治先生に講演をしていただいた。

教育相談保護者会 5月21日、安原こずえ先生を講師に迎え「子どもの心を理解しよう」という演題で話をうかがい教職員・保護者との交流が行われた。

教育実習 5月23日から6月18日までの期間、卒業生10名が2週間ないし3週間の実習を行った。

山の学習 5月24～26日、中2は第49回山の学習（大山登山・キャンプ）を行った。雨による中断・中止も経験しながら1日目は大山登山、2日目はキャンプファイヤー、3日目は野外活動を行い、充実した3日間を過ごした。大山の山頂では強風に吹かれながらもきれいな雲海も楽しめた。初夏の大自然を満喫した。

眼科検診 6月9日に中1と中3、10日に高1と高3を対象に実施した。

中3進路学習 6月10日に進路課長の藤井幹久教諭から進路についての話を聞いた。

音楽奉仕 6月12日、教団独立記念式において音楽部が音楽奉仕を行った。

高2修学旅行 6月13日～17日にシンガポール・マレーシア班は現地学生との交流やホームステイを体験し、12日～17日にオーストラリア班は南半球のクイーンズランド州のアサートンでファームステイなどを体験し、13日～17日に北海道班は北の大地の自然や文化・歴史にふれた。（各行文は次号に掲載）

探究Ⅱ中間発表 高2「探究Ⅱ」の各ゼミと科学系部活動で行っている研究に対して、6月1日（理系）、2日（文系）の中間発表を午後から行った。それぞれ大学の先生にお越しいただき、今後の進め方について指導・助言をいただいた。

高3読書会 6月17日、希望の本別に12のグループに分かれて、お互いの意見を交換した。

学校説明会 6月18日、金光学園の受験希望者と保護者を対象とした学校説明

人権教育

中1は5月6日に、あだ名いじめ・携帯トラブルについてのアンケートをとり、その結果を通信にまとめ、27日にはそれをもとに、今何ができるかをクラスで話し合った。

避難訓練 5月6日、避難訓練の予定だったが、雨のため中止となった。

探究講演会 5月9日、中3・高1探究クラス・保護者を対象に、山口虎ノ門大学院の三谷宏治先生に講演をしていただいた。

教育相談保護者会 5月21日、安原こずえ先生を講師に迎え「子どもの心を理解しよう」という演題で話をうかがい教職員・保護者との交流が行われた。

教育実習 5月23日から6月18日までの期間、卒業生10名が2週間ないし3週間の実習を行った。

山の学習 5月24～26日、中2は第49回山の学習（大山登山・キャンプ）を行った。雨による中断・中止も経験しながら1日目は大山登山、2日目はキャンプファイヤー、3日目は野外活動を行い、充実した3日間を過ごした。大山の山頂では強風に吹かれながらもきれいな雲海も楽しめた。初夏の大自然を満喫した。

会を行い、午前中に高2（修学旅行後の家庭学習日）を除く、全学年の授業を公開した。

大学説明会 6月24日、岡山大学・広島大学から教職員の方に来て頂き、高1を対象に大学の概要・学部学科や入試制度の説明をして頂き、相談にも乗って頂いた。

進路委員会 6月30日と7月1日、高3学年団は学力の現状分析と今後の指導方針を検討した。

英語検定試験実施 7月10日（日）第1回の英語検定2次試験が本校の中学棟を利用して実施された。

高3 1学期終業式 7月16日、3年生は120大講義室で1学期終業式を行った。

お慶び 山下真儀先生には4月14日に次男のご誕生、角南佑典先生には4月21日に結婚、奥野公子先生には、4月24日に結婚、友田勝己先生には4月26日に長男のご誕生、お慶び申し上げます。

お悔やみ 橘泰正先生の御岳父には5月3日に、森下美穂先生の御母堂には6月17日に逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

芸術鑑賞

5月31日、Osaka Shion Wind Orchestra に来校していただき、今年度は音楽を鑑賞した。音楽部ブラスバンドも最後に共演し、記憶に残るすばらしい演奏会となった。

性教育 中3は5月10日と17日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。また、中2の生徒と保護者は6月16日に、ウイメンズクリニックの上村茂仁先生から「恋をしてもしなくても、ぜひみんなに聞いてほしい話」という演題で講演を聴いた。17日にビデオを観て性感染症・妊娠・避妊について学習した。

教科担当者会議 中学校において、日頃の授業の様子や中間テストの結果についての情報が交換され、個々のすぐれた点や改めたい点が指摘検討された。高校（1・2年）では、学力向上の目的で、スタディサポート分析会を行っている。

塾対象学校説明会 6月8日、塾の先生を対象に学校説明会を行い、金光学園の学習や行事、部活動などについての現状を詳しく説明した。また、午前中には全学年・全クラスの授業を公開した。

耳鼻科検診 6月9日に中1、10日に高1を対象に実施した。

教室の窓から

「学び」の原点とは

6歳のアユム君は甘いものが大好きだ。最近のお気に入りにはハチミツで、できればたくさん食べたい。目の前にある透明の壁には、自分の指よりも小さな穴が空いている。その穴のすぐ後ろにたつぷりのハチミツが入った容器がくっついてるのだ。自分の口を穴に近づけても絶対にハチミツは食べられない。どうすればいいのだろうか？

アユム君の正体は、京都大学の霊長類研究所の天才チンパンジー「アイ」の息子である。アイはハチミツを食べるために細長い針金のようなものを使って穴に通し、そこからハチミツをからめとって食べている。アユム君はアイがどうやってハチミツを食べているのかひたすらじっと見ている。お母さんの隣では別の大人のチンパンジーが針金よりも太めのゴムチューブを使ってハチミツをからめとって食べている。針金よりもたくさんハチミツをからめとれそうだが、穴に通すのが難しそうだ。アユム君は、2匹の大人の仕事をひたすらじっと見ている。

やがてアユム君は針金やゴムチューブを手にとってみる。実はアユム君の周りには、

お母さん達がハチミツを食べる以前から様々な道具が足下に転がっている状況だった。そこから大人が使っている2種類の道具を選んで手にとってみたのだった。道具を選んでも、それをどう使うのか分からない。だからまた大人の仕事を観察する。

穴に道具を入れてみる。上手い、かない。時にはかんしゃくも起こす。でもあきらめきれずにチャレンジする。針金で成功してもそこで終わらず、ゴムチューブにもチャレンジしてみる。あらゆる可能性を追求して、よりよい道具を選びたいのだ。

このことを知った時、学びの原点はここにあると思った。「見る」「やる」を繰り返す。失敗してもあきらめない。一つの結果で満足せず、その他の可能性も追求する。チンパンジーと人間で、レベルは違えど「よりよい存在であること」を目指そうとする「学び」の姿勢は変わらないのだ。

人の学びの基本の場所である教室ではどうだろうか。教科担当として、担任として生徒の皆さんにとってのよい「お手本」になれているかどうか、常に自問自答の日々である。そして生徒の皆さんにも伝えたいのが、「お手本」は大人だけとは限らない。友達、先輩、時には後輩、兄弟姉妹に家族など。広い視野としなやかさを持って、人との出会いを大切に過ごしていってほしい。

編集後記

今号も様々な立場の人から多くの嬉しい便りが届きました。

新たな仲間が中学・高校1年生に加わり、学園の新しい1ページが開かれました。勇気をもって友達に声をかけ、友達の輪が広まった新入生。僅か数日で、以前は話せなかった韓国語を数多く身につけられた国際交流。人生の指針を学んだ母校で新たなスタートを切った新人教師。親子で同じ夢を見、遠距離通学を始めた高校生など。一読していただけたら、幸いです。

一つひとつの記事には数多くの出会いがあり、そこには学園らしい伝統を感じることが出来ると思います。245号の完成に際して、多くの皆様にお礼を感じつつ、ここに筆を置かせていただきます。

平成28年7月8日印刷
7月16日発行

編集者

金光学園やつなみ保護者会
やつなみ編集部

印刷所

倉敷市船穂町船穂二〇九五―一一
玉島活版所

発行所

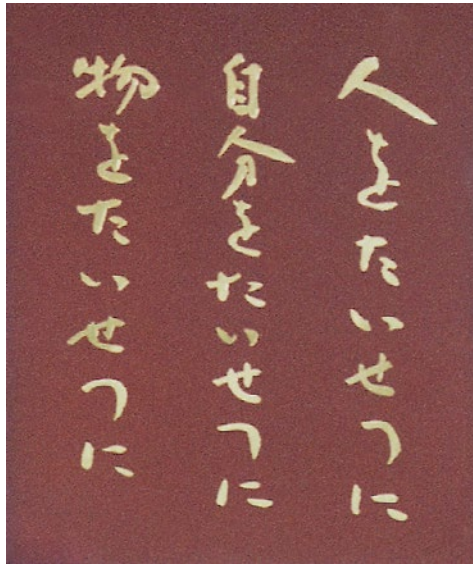
浅口市金光町占見新田一三五〇
金光学園内
金光学園やつなみ保護者会



中3 沖繩 修学旅行



中2 山の学習



◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

.....
◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<http://www.konkougakuen.net>

E-mail info@konkougakuen.net